

2022 年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関する
アンケート調査
【調査結果報告書】

2023 年 6 月

西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部

「就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査」については、本文中「就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査」と略称表記（以下同様）

目次

第1章 卒業生アンケート	1
1. 調査の概要	1
【調査結果の見方】	1
2. 調査結果	2
〔1〕 回答者について	2
〔2〕 現在の仕事について	3
〔3〕 転職の状況について	12
〔4〕 未就業の状況について	16
〔5〕 仕事についての感想（自由意見）	19
〔6〕 大学・短大で受けた教育について	25
① 達成度と必要性（全体）	25
② 達成度と必要性（学科別）	27
③ 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）	31
④ 仕事をする上で重要だと思う事	37
〔7〕 大学時代で有意義だった授業	39
〔8〕 更であればよかった授業の具体案	43
〔9〕 大学の講義以外で希望する支援・経験	46
〔10〕 大学に対する意見・要望（自由意見）	49
3. 調査結果のまとめ	51
第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート	55
1. 調査の概要	55
【調査結果の見方】	55
2. 調査結果	56
〔1〕 回答者について	56
〔2〕 仕事に必要な能力	57
① 必要性和達成度（全体）	57
② 必要性和達成度（学科別）	59
③ 採用の際に重要視する能力	63
〔3〕 事業所の概要	65
〔4〕 学生に希望する資格や検定	68
〔5〕 大学生の人間形成に必要な支援	70
〔6〕 採用について	72
〔7〕 大学に対する意見・要望（自由意見）	77
3. 調査結果のまとめ	80
第3章 調査票	82

第1章 卒業生アンケート

1. 調査の概要

調査対象者	2020年3月卒業生
調査方法	郵送配布・回収、Web、FAX回収
回収数	142人
調査時期	2022年12月14日～2023年3月14日
回収率	下表の通り

	依頼卒業生数	回答人数			回収率
		合計	郵送	WEB	
看護学科	106	33	11	22	31.1%(34.1%)
福祉学科	69	24	1	23	34.8%(42.2%)
栄養学科	90	24	4	20	26.7%(17.2%)
英語学科	40	19	0	19	47.5%(75.8%)
観光文化学科	50	21	0	21	42.0%(39.1%)
助産別科	16	4	1	3	25.0%(31.3%)
全体	371	125	17	108	33.7%(36.5%)

()内は前年度回収率

	依頼卒業生数	回答人数			回収率
		合計	郵送	WEB	
保育科	76	17	17	0	22.4%(24.7%)
全体	76	17	17	0	22.4%(24.7%)

()内は前年度回収率

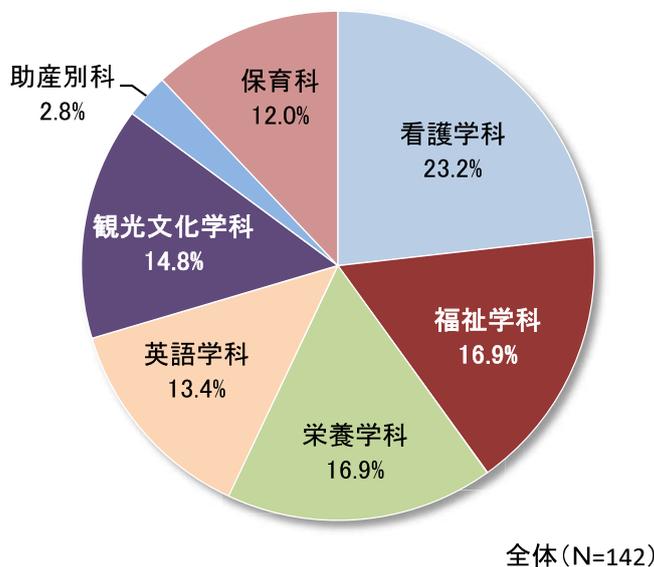
【調査結果の見方】

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。
- 報告書中の図表では一部、回答のなかった項目を省略している。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。なお、調査票は大学・短期大学部ともに同様の調査票を使用しているため、大学用の調査票を添付するものとし、短期大学部用の調査票の添付は省略する。

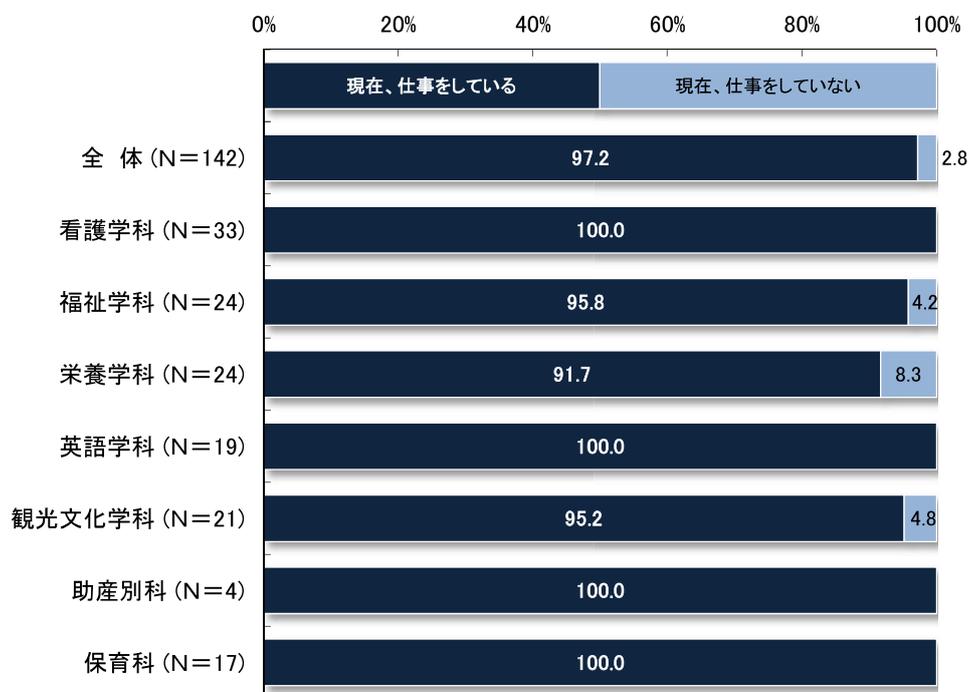
2. 調査結果

〔1〕 回答者について

【卒業した学科】



【現在の状況】



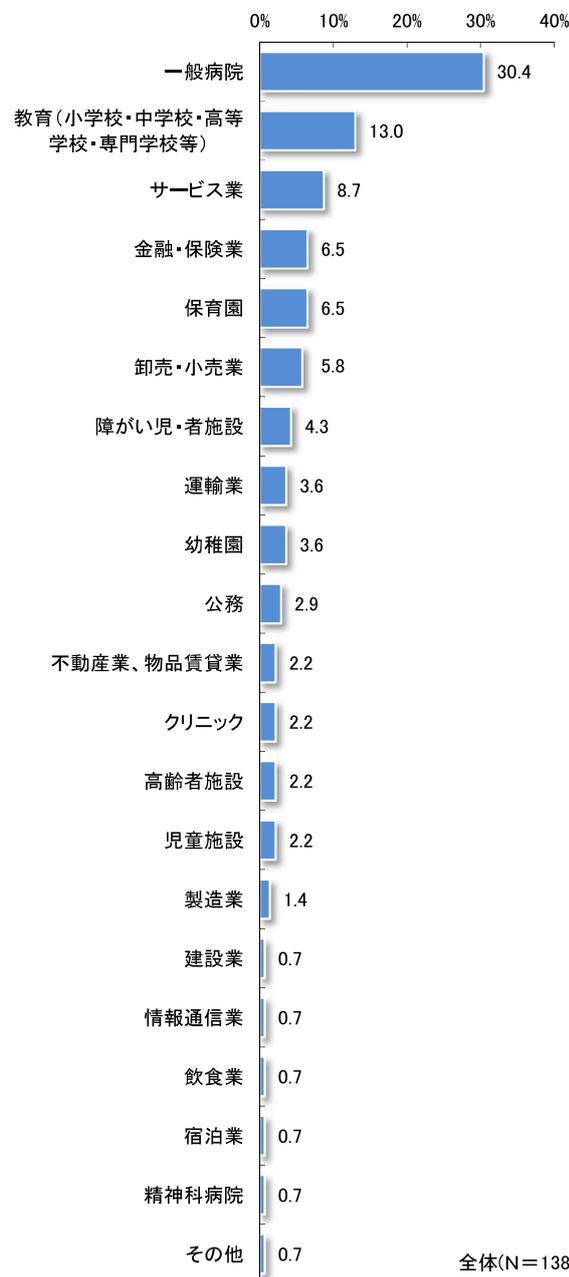
〔2〕現在の仕事について

問 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
(1つ選択)

現在の勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」(30.4%)が最も多く、次いで「教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)」(13.0%)、「サービス業」(8.7%)、となっている。

学科別にみると、看護学科、栄養学科、助産別科は「一般病院」(看護学科：84.8%、栄養学科：22.7%、助産別科：75.0%)、福祉学科、英語学科は「教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)」(福祉学科：30.4%、英語学科：31.6%)、観光文化学科は「サービス業」(35.0%)、保育科は「障がい児・者施設」、「保育園」、「幼稚園」(いずれも29.4%)の割合が大学全体に比べて高く、学科によって勤務先の主たる業種が異なることがうかがえる。

【業種】



【業種・職種区分表】

A業種	
1	農業
2	林業
3	漁業
4	鉱業、採石業、砂利採取業
5	建設業
6	製造業
7	電気・ガス・熱供給・水道業
8	情報通信業
9	運輸業
10	卸売・小売業
11	金融・保険業
12	不動産業、物品賃貸業
13	飲食業
14	宿泊業
15	一般病院
16	精神科病院
17	クリニック
18	高齢者施設
19	障がい児・者施設
20	児童施設
21	保育園
22	教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)
23	幼稚園
24	学習支援業
25	サービス業
26	公務
27	その他()

全体(N=138)

※回答のなかった項目は省略

第1章 卒業生アンケート

【学科別 業種 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	一般病院	高等教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)	サービス業	金融・保険業	保育園	卸売・小売業	障がい児・者施設	運輸業	幼稚園	公務	不動産業、物品賃貸業
全体	138	30.4	13.0	8.7	6.5	6.5	5.8	4.3	3.6	3.6	2.9	2.2
看護学科	33	84.8	9.1	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-
福祉学科	23	17.4	30.4	4.3	4.3	13.0	-	4.3	-	-	-	-
栄養学科	22	22.7	9.1	13.6	4.5	4.5	18.2	-	-	-	4.5	4.5
英語学科	19	5.3	31.6	-	21.1	-	15.8	-	10.5	-	5.3	5.3
観光文化学科	20	5.0	-	35.0	15.0	-	5.0	-	15.0	-	-	5.0
助産別科	4	75.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	17	-	-	-	-	29.4	-	29.4	-	29.4	5.9	-

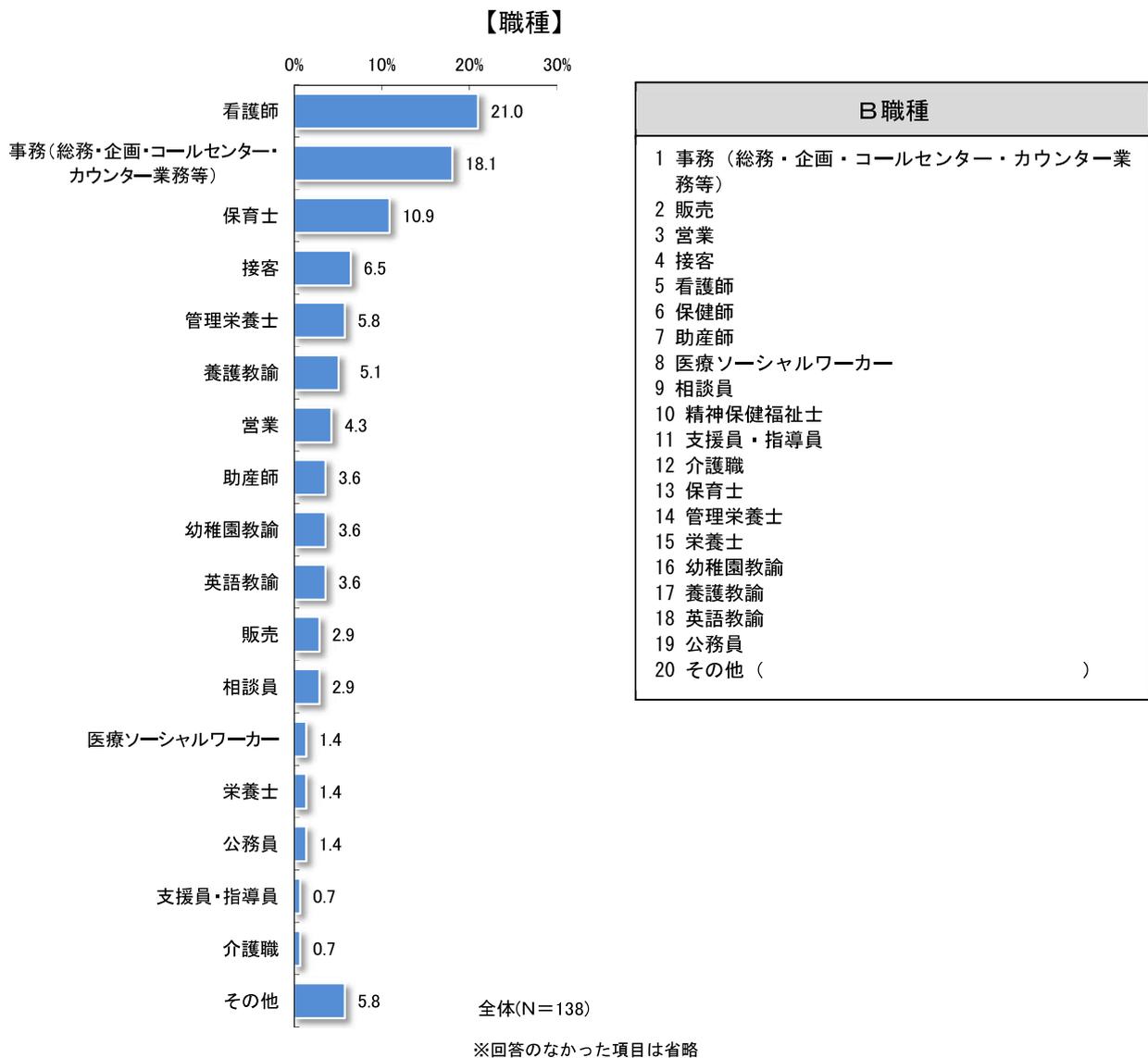
【学科別 業種 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	クリニック	高齢者施設	児童施設	製造業	建設業	情報通信業	飲食業	宿泊業	精神科病院	その他
全体	138	2.2	2.2	2.2	1.4	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
看護学科	33	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉学科	23	-	4.3	13.0	-	-	-	4.3	-	-	4.3
栄養学科	22	4.5	4.5	-	4.5	-	-	-	-	4.5	-
英語学科	19	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-	-
観光文化学科	20	5.0	5.0	-	-	-	5.0	-	5.0	-	-
助産別科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	17	-	-	-	5.9	-	-	-	-	-	-

問 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

現在の勤務先で携わっている主たる職種は、大学全体では「看護師」(21.0%)が最も多く、次いで「事務(総務・企画・コールセンター・カウンター業務等)」(18.1%)、「保育士」(10.9%)、「接客」(6.5%)となっている。

学科別にみると、看護学科は「看護師」(84.8%)、福祉学科は「相談員」、「保育士」、「養護教諭」(いずれも17.4%)、栄養学科は「管理栄養士」(36.4%)、英語学科、観光文化学科は「事務(総務・企画・コールセンター・カウンター業務等)」(英語学科:42.1%、観光文化学科:45.0%)、助産別科は「助産師」(75.0%)、保育科は「保育士」(64.7%)や「幼稚園教諭」(29.4%)の割合が大学全体に比べて高く、学科によって勤務先で携わっている主たる職種が異なることがうかがえる。



【学科別 職種 (1/2)】 (%)

	全 体	看護師	事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）	保育士	接客	管理栄養士	養護教諭	営業	助産師	幼稚園教諭
全体	138	21.0	18.1	10.9	6.5	5.8	5.1	4.3	3.6	3.6
看護学科	33	84.8	-	-	-	-	9.1	-	6.1	-
福祉学科	23	4.3	8.7	17.4	4.3	-	17.4	-	-	-
栄養学科	22	-	22.7	-	-	36.4	-	9.1	-	-
英語学科	19	-	42.1	-	10.5	-	-	10.5	-	-
観光文化学科	20	-	45.0	-	30.0	-	-	10.0	-	-
助産別科	4	-	-	-	-	-	-	-	75.0	-
保育科	17	-	5.9	64.7	-	-	-	-	-	29.4

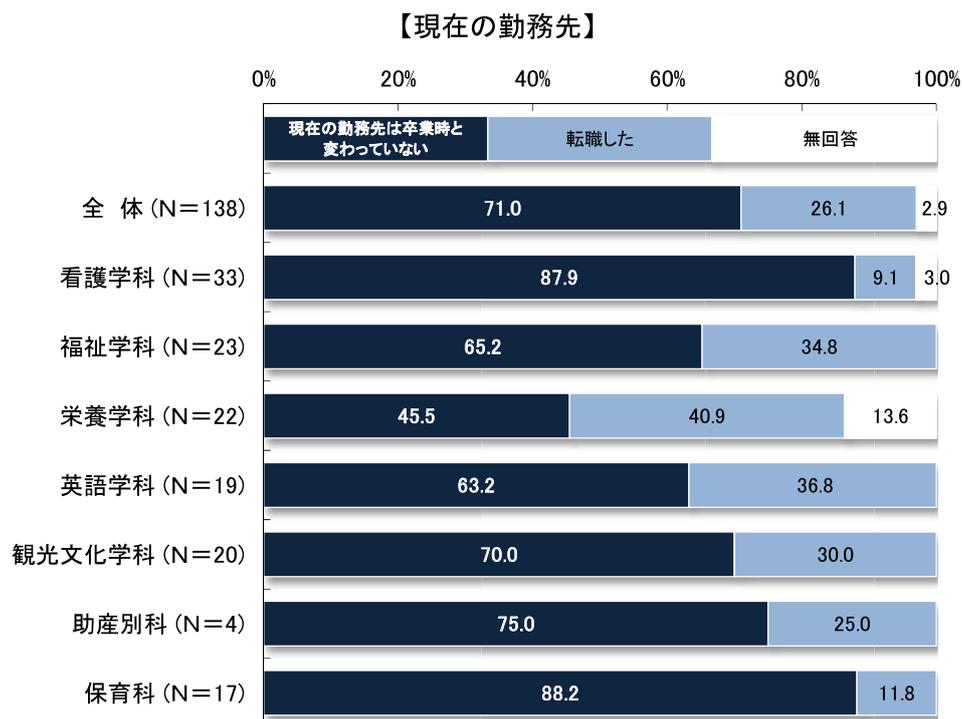
【学科別 職種 (2/2)】 (%)

	全 体	英語教諭	販売	相談員	医療ソーシャルワーカー	栄養士	公務員	支援員・指導員	介護職	その他
全体	138	3.6	2.9	2.9	1.4	1.4	1.4	0.7	0.7	5.8
看護学科	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉学科	23	-	-	17.4	8.7	-	4.3	4.3	-	13.0
栄養学科	22	-	4.5	-	-	9.1	-	-	-	18.2
英語学科	19	26.3	5.3	-	-	-	5.3	-	-	-
観光文化学科	20	-	10.0	-	-	-	-	-	5.0	-
助産別科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
保育科	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 現在の勤務先について○をつけてください。(1つ選択)

現在の勤務先は、大学全体では「現在の勤務先は卒業時と変わっていない」の割合が71.0%を占め、「転職した」とする人は26.1%となっている。

学科別に現在の勤務先をみると、少数の学科もあるため、傾向をみる程度にとどめるが、栄養学科(40.9%)、英語学科(36.8%)では「転職した」の割合が他の学科に比べ高い傾向にある。



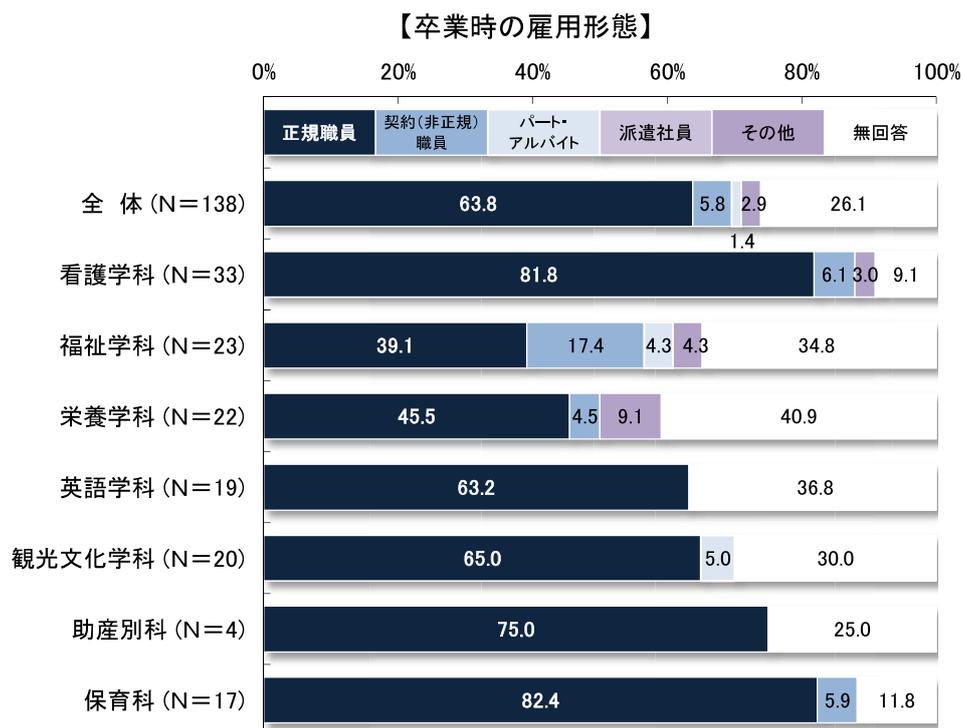
第1章 卒業生アンケート

問 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

卒業時の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が63.8%を占め、次いで「契約(非正規)職員」の割合が5.8%となっている。

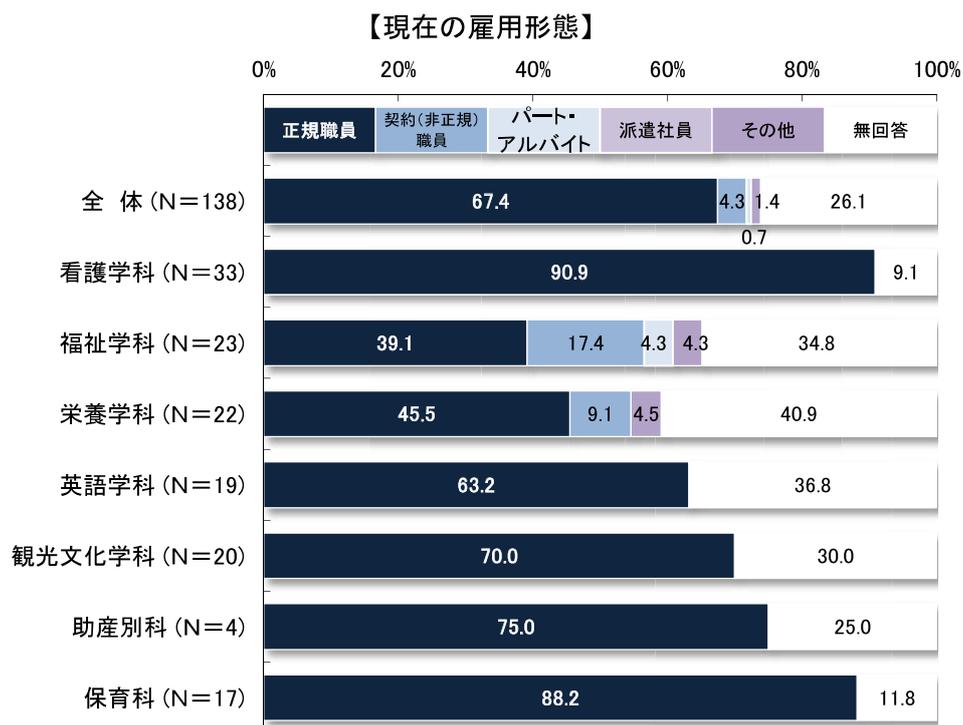
学科別の卒業時の雇用形態をみると、「正規職員」の割合は、看護学科、保育学科で8割以上と高いのに対し、福祉学科、栄養学科では4割程度となっており低い。



②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

現在の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が67.4%と卒業時よりも正規職員の割合が増え、「契約(非正規)職員」(4.3%)などの非正規雇用は減っている。

学科別の現在の雇用形態をみると、福祉学科、栄養学科、英語学科、助産別科では「正規職員」の割合は変わっていないが、看護学科、観光文化学科、保育科は卒業時から高くなっている。

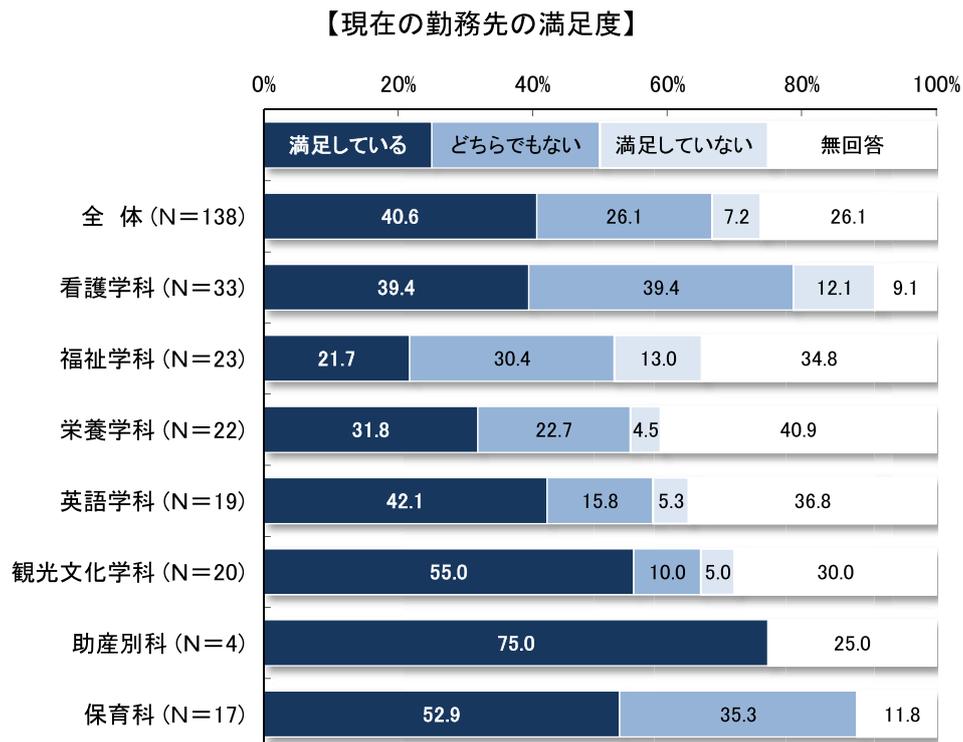


第1章 卒業生アンケート

問 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。

現在の勤務先の満足度は、大学全体では「満足している」(40.6%)が最も多くなっている。

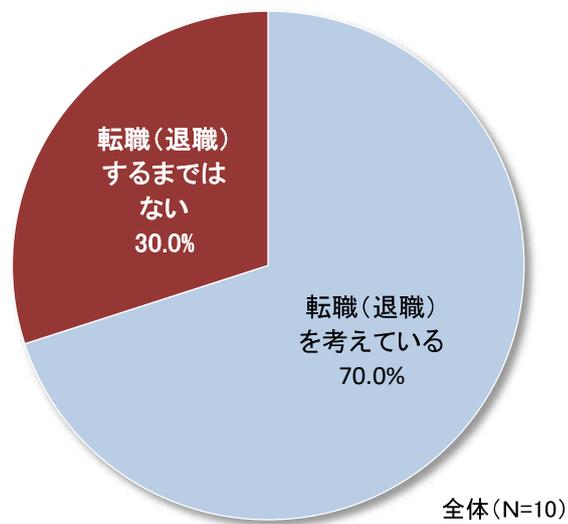
学科別の、現在の勤務先の満足度をみると、福祉学科、栄養学科では「満足している」の割合が2~3割程となっており、他の学科より低い。



問 II-5で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

「満足していない」と答えた人の転職（退職）希望は、大学全体で「転職（退職）を考えている」の割合が70.0%となっており、「転職（退職）するまではない」の割合は30.0%となっている。

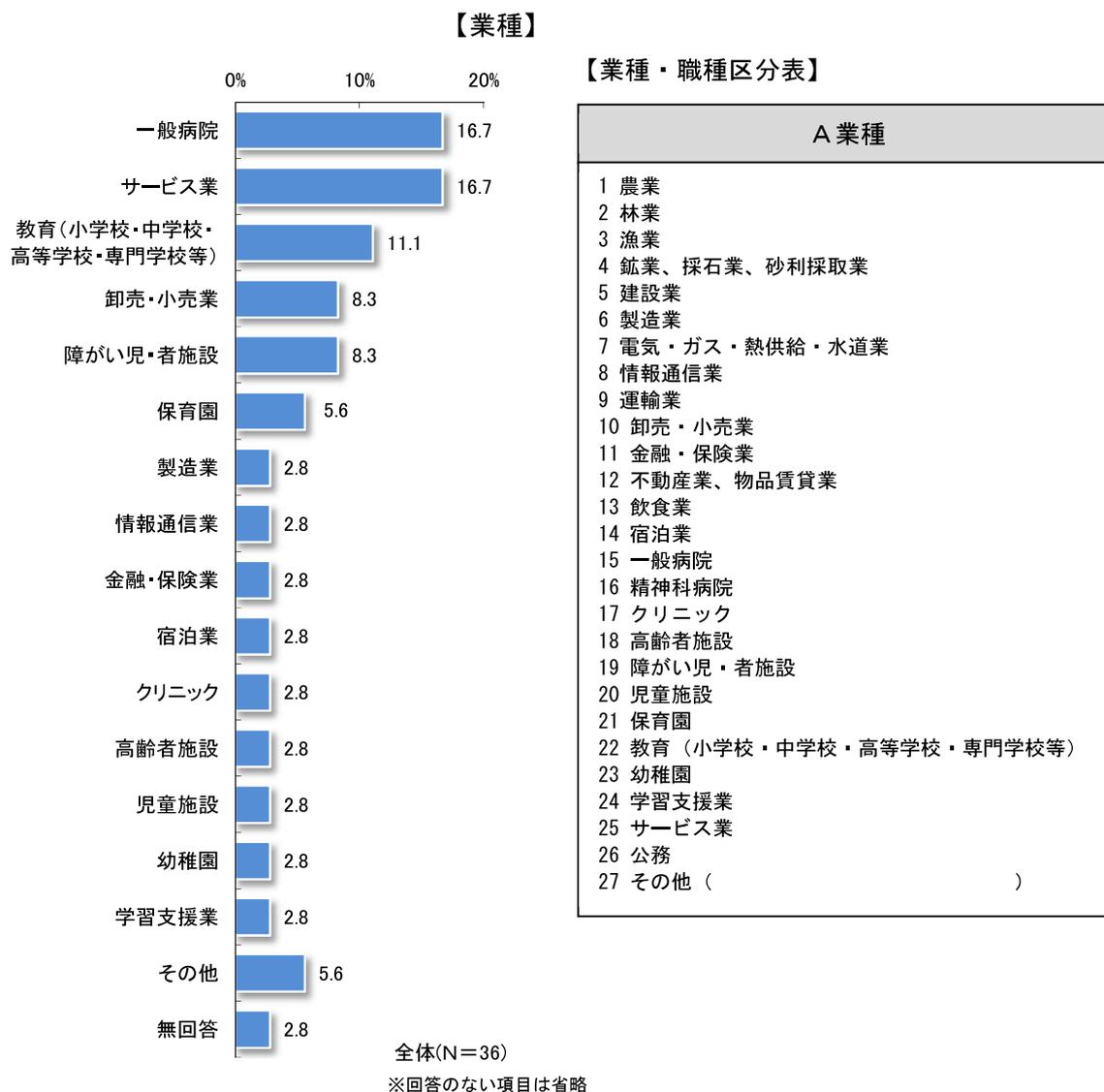
【転職希望】



〔3〕 転職の状況について

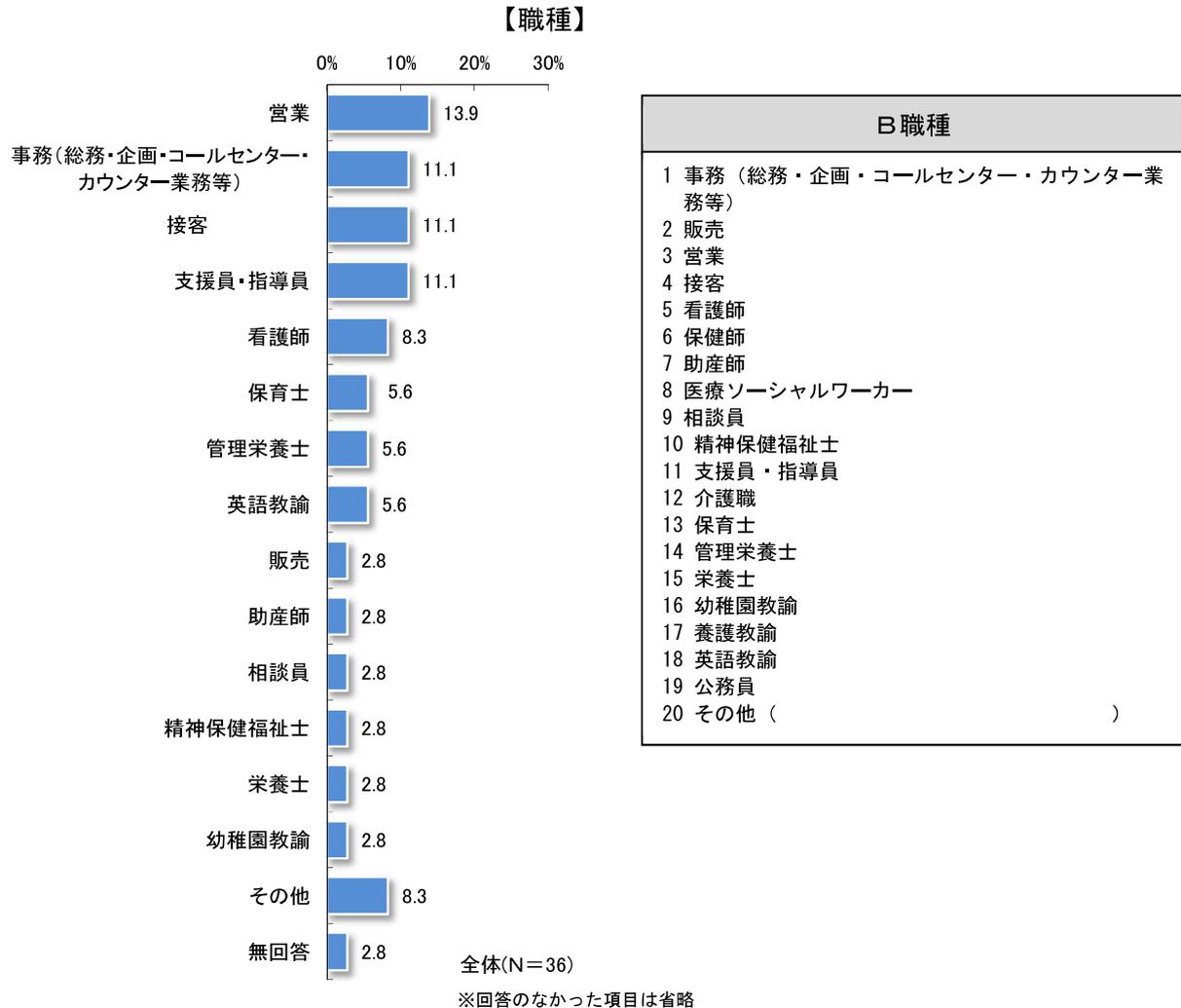
問 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
(1つ選択)

転職した人の卒業時における勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」「サービス業」(いずれも16.7%)が最も多く、次いで「教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)」(11.1%)となっている。



問 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

転職した人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、大学全体では「営業」(13.9%)が最も多く、次いで「接客」、「事務(総務・企画・コールセンター・カウンター業務等)」、「支援員・指導員」(いずれも11.1%)となっている。

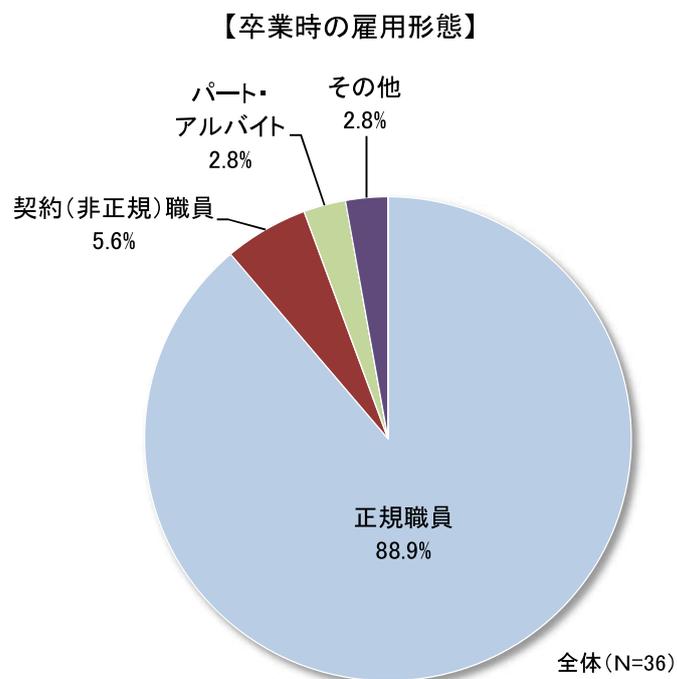


第1章 卒業生アンケート

問 雇用形態について教えてください。

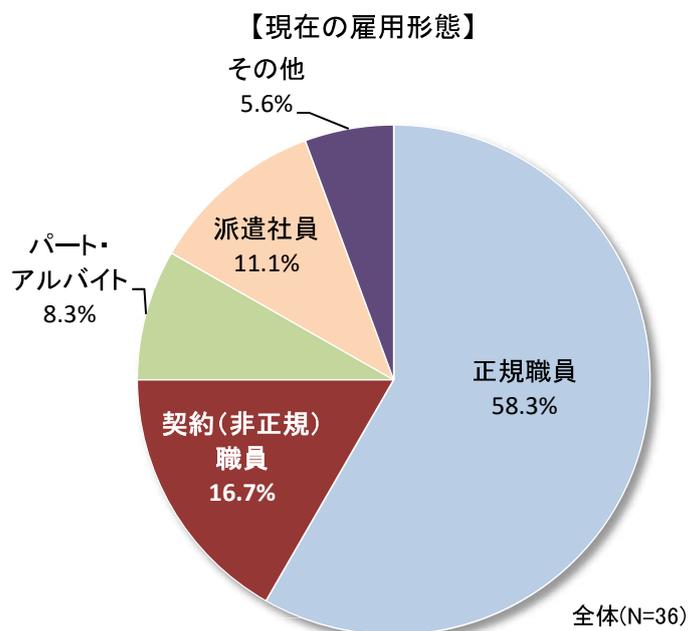
①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

転職した人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」(88.9%)が最も多く、次いで「契約(非正規)職員」(5.6%)となっている。



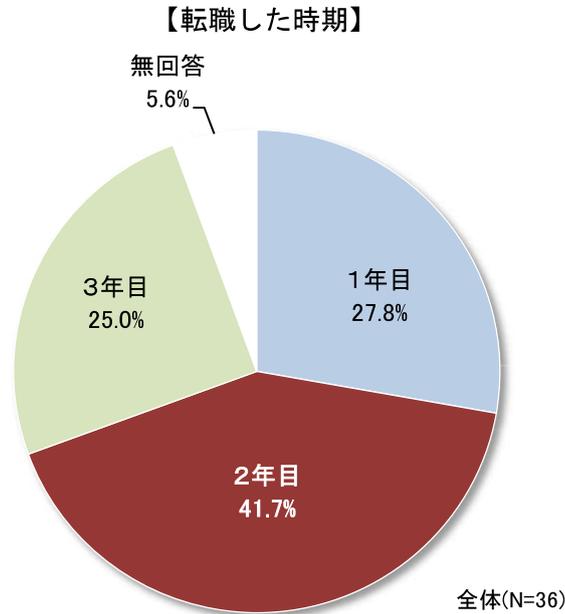
②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

転職した人の現在の雇用形態は、「正規職員」(58.3%)、「契約(非正規)職員」(16.7%)、「派遣社員」(11.1%)、「パート・アルバイト」(8.3%)となっており、卒業時よりも「正規職員」の割合は減り、「契約(非正規)職員」、「パート・アルバイト」、「派遣社員」、「その他」の割合が増えている。



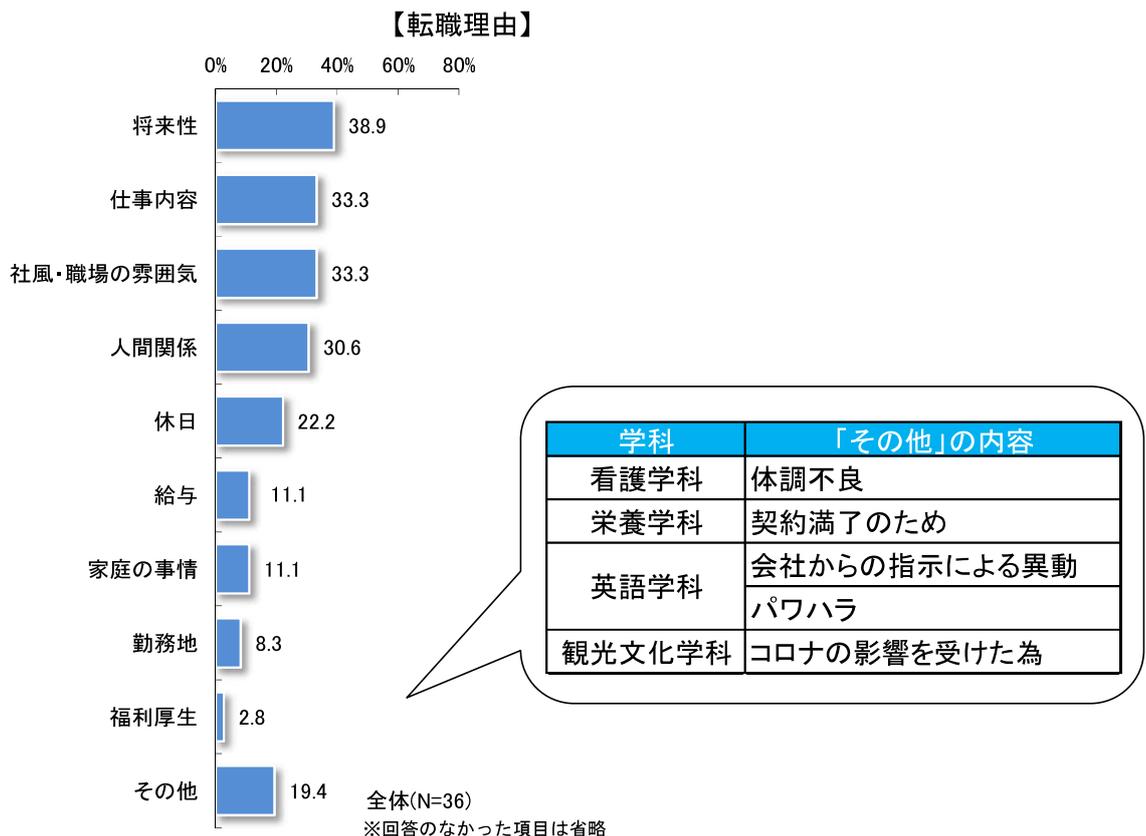
問 転職された時期をご記入ください。

転職した時期は、入職後「2年目」(41.7%)が最も多く、次いで「1年目」(27.8%)、「3年目」(25.0%)となっている。



問 転職した理由に○をつけてください。

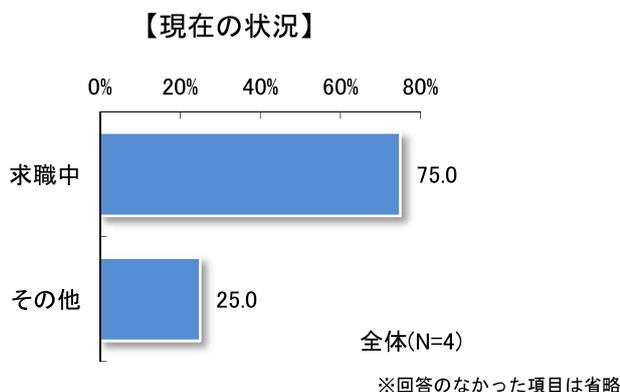
転職理由は、「将来性」(38.9%)が最も多く、次いで「仕事内容」、「社風・職場の雰囲気」(いずれも33.3%)となっている。



〔4〕未就業の状況について

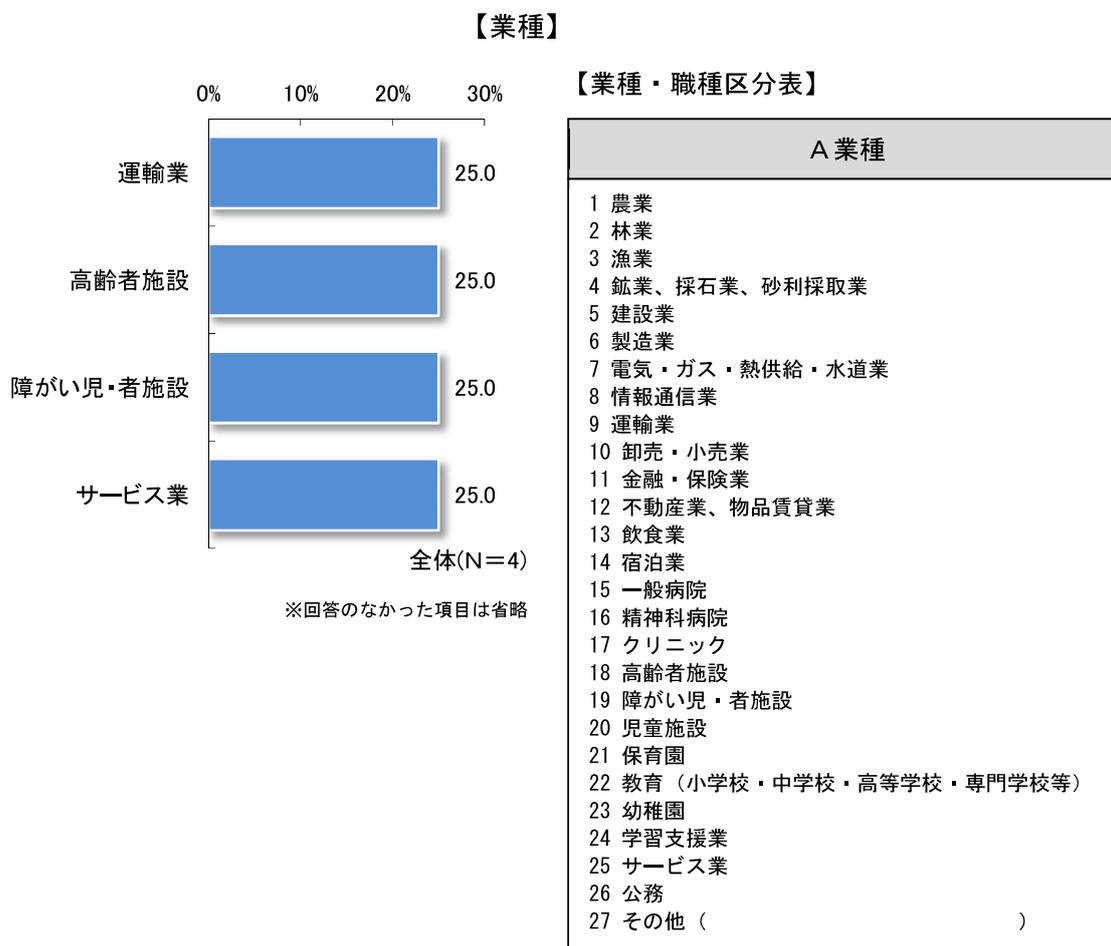
問 現在の状況に○をつけてください。

仕事をしていない人の現在の状況は、「求職中」(75.0%)、「その他」(25.0%)となっている。



問 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

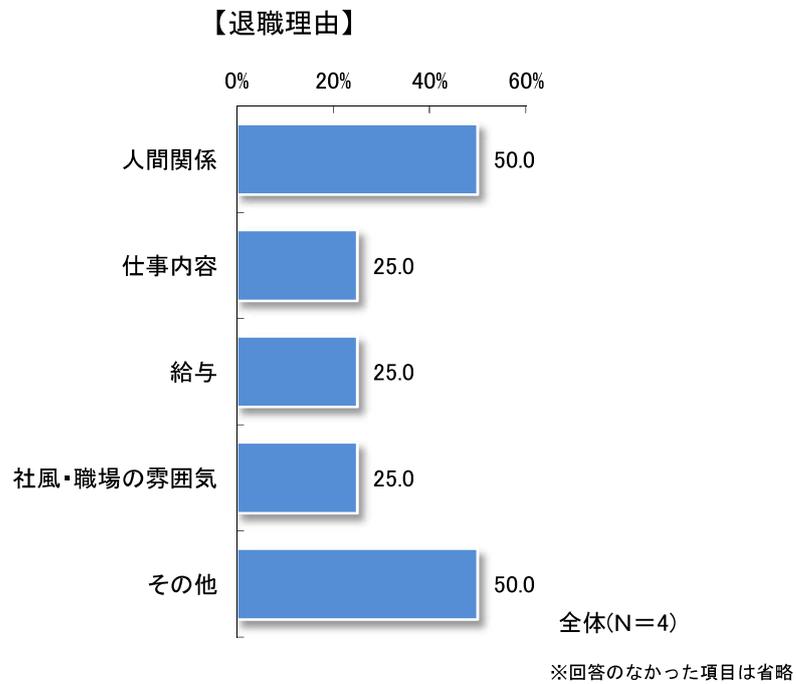
現在仕事をしていない人の卒業時における勤務先の主たる業種は、「運輸業」、「高齢者施設」、「障がい児・者施設」、「サービス業」(いずれも 25.0%)となっている。



第1章 卒業生アンケート

問 退職した理由に○をつけてください。(複数選択可)

現在仕事をしていない人の退職した理由は、「人間関係」(50.0%)である。
また、「その他」では結婚に係る理由が挙げられている。



学科	「その他」の内容
栄養学科	結婚して移住したため
	結婚

〔5〕仕事についての感想（自由意見）

問 仕事をする中で感じたこと（苦勞したことや成長したことなど）をご記入ください。

仕事についての感想を自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【成長したことについて】 (回答者数:132人/142人[93%])

学科	自由回答
看護学科	多重課題をこなせるようになった。急変対応ができるようになった。人の生死に関わるので精神的に疲れた。
	1年目の時に比べたら働けるようになって成長もしているように感じる。
	先輩看護師は何をしても悪口を言うため、気にしなくなるメンタルを持つことができた。またそれぞれの先輩の仕事の進め方に合わせることで機嫌を保つことができるようになった。
	急性期病院に就職したため毎日忙しく、学生の時に思い描いていた看護師とギャップがあり就職してすぐは、そのギャップに慣れず辞めたいと思っていましたが、働いていくうちに忙しいながらも少しずつやりがいを感じられるようになりました。
	自分で今まで経験したことを生かしながら働けるようになった。
	同じ病棟で3年間勤務し、次は指導者として後輩育成に関わる事ができ、看護師として成長しているなど感じることができている。
	看護技術、アセスメント能力は成長した。
	技術、知識の向上ができる。
	1年目の頃は何もかも分からず心身共につらかったが、現在3年目となり後輩もできわかることも増え成長したと思う。
	成長したことは、子どもや保護者とのラポートが、より築けるようになった。
福祉学科	人工呼吸器などを装着している重症や危篤の患者を夜勤等で1人で担当するようになった。
	慣れないこともありましたが、他の職員の方にアドバイスをいただいたりする中で、協力して業務を行えるようになりました。
	コミュニケーション力が上がった。 学生時代に不安だった看護技術も実務の中で回数を重ねるごとに自信がついた。
	成長したことは、経験することで学ぶことがたくさんあり、いろんな面で成長していると思います。
栄養学科	日々仕事する中で学び、3年間働き続けることができ自分ながらに成長していると思う。
	委託給食会社で働いていますが、働く上で厨房のスタッフ、会社の上層、クライアントとの間に挟まり、ストレスが多く仕事内容や業務量に対しての給料があてないのではと思うときもありました。でも店舗運営で損益を自分で設定し、目標通りにできるようになったことが成長と感じます。
	学生の頃は社会に育てて頂いていた事がよく分かった。成長したことは、業務や私生活でも目標をもち達成出来るようになったこと。
	大学卒業時に苦手意識を持っていた「人前で話すこと」を克服することができた。講座やイベントを行う業務で、人前で話す機会が多かった。以前は緊張しいで苦手と思っていたが、やらざるを得ない状況が何度も訪れ、回数を重ねていくと次第に慣れて苦手を払うことができた。克服したい、変わりたいと思う意識を持てば、何でも乗り越えられるのだと実感した。
	初対面の方と話す機会が多いため、そつなく会話ができるようになった。
色々なお客様がいたので、その対応については苦勞する事もあったが冷静に対応出来るようになった。	

第1章 卒業生アンケート

英語学科	やりがいを日々感じられる。
	失敗を次に活かせるようになったこと。
観光文化学科	優先順位を考えて仕事をこなせるようになったこと。
	私が大学を卒業してから成長した部分は、自分の武器を見つけられたという部分です。私の武器は、厚かましさとちょっと論理的な部分です。私はその武器を使って、まるで昔からの付き合いのように話しかけることができますし、知識が不足している分、準備をして明確な数字やデータでカバーしています。
	成長したことは考え方です。社会人になって、「自分は何にもできないし、知らないことだらけだ。」と落胆した時もありました。しかし、「弱さこそ強さ」だと思って、頑張るようにしています。まだ3年目で未熟ですが、後輩たちには自分が困ったこと、自分がミスして大変な思いをしたことをエピソードを添えて必ず話すようにしています。何も知らずに沢山ミスをしてきた分、誰よりもリスクを回避する力が備わっていると思います。困っている時の自分と同じ立場に立っている人の気持ちを忘れずに勤めています。あとは、今年度はお客様からのお褒めの言葉も多く、仕事にやりがいをより一層持てるようになってきました。
	電話しながら問合せ内容を入力できるようになった。PCのショートカットを覚えたことで、業務短縮できた。プロファイル再作成ができるようになった。新人のフォローをする。Excelのエラー対処方法を複数覚えた。
	接客業に於いては、理不尽な理由をつけてクレームをする方が必ずいます。最初は戸惑いますが、度々経験する事によって自身の話し方や、接する態度を見直すきっかけになりました。理不尽な理由に対しても、お客様に寄り添った返答をする事、納得して頂く事ができるまでに成長したと感じています。
	お褒めの言葉をいただいた時や、名前を覚えてくださった時は大変やりがいを感じます。また、お客様や仲間は今困っていないか常に気にすることが大切なため視野を広く持てるようになったことが成長したことです。
	成長したこと。視野を広く持って、今何をすべきかを自分で考えながら行動出来るようになりました。
タイピングがすごく早くなりました。	
助産別科	お産が取れるようになった。エビデンスを更に持って業務するようになった。
保育科	成長面(視野の広がりや報連相について)。
	子どもとの関わり方が4月の時よりも成長したと感じています。

【嬉しかったこと、楽しかったことについて】

学科	自由回答
看護学科	入職した当初は国試で頑張ったことがウソのように、新しく覚えることばかりで毎日疲れました。今は認められることも多くなり、患者さんとの関わりが楽しいです。看護師になって良かったと思います。
	色々な患者対応に追われる日々ですが、感謝されることも多くやりがいを感じています。
	入職1年目でコロナが流行し、研修なども中止になって不安なことばかりだったが、3年目になり少しずつ仕事に慣れてきて時々楽しさを感じながら働けるようになった。
観光文化学科	きついと思っていた仕事をこなした時上司から「助かったよありがとう。」とお褒めの言葉を頂いた時、耐えながらも頑張ってたかったと達成感を感じた。
	学生時代のアルバイト先に就職しましたが、コンタクト販売店の接客だけでなく店舗の売り上げを報告する会議や、スタッフを纏めるリーダーの役割をして日々楽しく仕事をしています。
	コロナの影響で思い描いた社会人生活ではなく、休業・出向を経て去年の8月から本業ができました。最初は覚える事が多く、責任感もかなり感じます。しかし、お客様に寄り添い楽しく仕事できています。まだまだ余裕がもてない時がありますが日々精進していこうと思います。
保育科	子どもの成長を見守ることが何よりのやりがいだった。

【仕事に必要なこと、大切なことについて】

学科	自由回答
看護学科	様々な業務を優先順位をつけながら遂行していくこと。夜勤もあるため日々の体調管理。
福祉学科	周りをみながら仕事をする。自分でかかえこまずに、相談する。
栄養学科	転職後、学生時代は難しく感じていた病院の管理栄養士として栄養管理業務をしています。4年間学んだこと(国試の勉強等)がようやく実践的に役に立っています。苦手意識があることでも挑戦することで、大学4年間が活きており、大切な時間だったことに気づけました。
	体調管理の大切さ。
	前の職場でも今の職場でも、報・連・相などの意思伝達・申し送り、また、日常のささいな雑談声かけなどが大切だと思います。コミュニケーションは業種関係なく仕事の今後に関わると思います。
英語学科	やり甲斐や健康的に働くためにも、職場環境…人間関係が1番大切だと思った。今は憧れの母校で恵まれた環境と生徒に囲まれ、日々生き生きと働くことができている。
	患者様に笑顔で応えることの大切さ。
	人対人の仕事なので、生徒との間や教師間の人間関係を大切にしたいなと感じています。
	コロナ禍での入社だったので、職場の方との関係づくりが一番悩みました。今は状況も少しずつ改善され、信頼できる先輩や上司、仲のいい同期や後輩もできて、過ごしやすくなりましたが、やはり人間関係は大切だと思いました。
観光文化学科	サービス業務ですが、一人ひとりお客様のニーズに合わせて自分で考えて行動する難しさは未だに苦労しますが、自分自身が楽しく仕事をすることで、その思いがお客様や仕事仲間と通じる瞬間が仕事のやりがいだと感じています。
保育科	職員間の情報共有の大切さ。

【苦労したことについて】

学科	自由回答
看護学科	医療機器の扱い方や人工呼吸器の使用方法・観察するところを習得するのに時間がかかり苦労した。
	大きな病院ではなく新卒で小児科クリニックに就職したが、子どもの採血やルート確保が看護師の仕事だったためとても苦労した。
	医療に関する知識や技術を勉強することに苦労した。
	人間関係。
	特殊な部署であったため初めての事や覚えることも多く始めの頃は勉強の毎日で大変だった。
	小児科なので患者、さらに家族との関わり方がとても難しかった。
	学生では座学が中心だったので、働き始めは看護の実践の習得が難しかった。
	その病院や病棟独自のルール等があり慣れるまで大変だと思った。
	人間関係の構築が大変。
	仕事を覚えるまでが辛い。
	苦労したことは、職場の人間関係。
仕事をしながら、勉強も続けられないいけないこと。	

福祉学科	職場の先輩との人間関係。
	仕事内容を効率よくするためには人間関係から築き上げないといけないことが大変です。
	県内全域が対象になるため、異動が大変。
	理想と現実のギャップ。
	医療ソーシャルワーカーとして働く中で医療用語や医療的な処置、病名等が分からず苦労した。
現在は、年上社員が多い中でのマネジメントに難しさを感じている。	
栄養学科	苦労したことは同じ正規職員でも年齢が離れている職員と意見の対立をすることがあり、自分の意見を押し通すか職場の空気を考えるか悩む事が異動してあったこと。
	相手の求めていることに対して自分ができる最善の提案を行うこと、そしてその提案が採用されるまでの交渉が難しいと思った。
	1人に任される仕事量が多いため、残業が多く苦労した。また、周りには年が近い方もいなかったため、仕事もやりづらいなと感じた。
	自分の知識やスキルで仕事の結果が大きく左右されるという責任の重さを実感した。
	相手に対する、社会人の言葉使いと話し方に苦労しました。
早番遅番があるシフト制なので一定の生活リズムが保てない。	
英語学科	1年目、業務に慣れること。データ作成があるため、データの考え方や読み取り方に慣れることが大変でした。また、広報で新しいことを考えることも大変でした。
	人間関係で苦労している。
	「若い女性」というレッテル。田舎はまだまだ不利なことが多いです。
	社内での人間関係。責任を取るという大変さ。
夢と現実のギャップを思い知らされた。	
観光文化学科	お金を扱う仕事なので何をしても気を抜けないこと。業務が細かすぎる事。
	最初に就職したところはかなりのブラック企業でした。同じ営業活動でも「ただモノが売ればいい」という会社の方向性や労働時間や将来性に不満を抱えながら毎日13時間超えの労働、当時の睡眠時間は4時間しかとれませんでした。体がついていけなくなり、やがて辞職。次は転職だという時になり、やってみたいことに挑戦しようと面接を受け続けた結果、無事現職に採用され、なんだかんだで不動産の売買営業をしています。
	新人経験を二回してみた私が、仕事をしながら苦労している点は、知識面はもちろんですが、自分の武器を見つけることです。私は完璧主義な気質があるので、新人の時期が1番嫌でした。できないことだらけなので、自信がなくなって成長意欲が削がれてしまったんです。転職時にとことん自己分析したことで、自分の得意不得意、周期的な感情の揺れ、何が嫌でなに嬉しいと感じるかなど今はわかっています。仕事ができず指摘される日々、お客様には新人だからと舐められ、自信喪失な毎日でした。
	苦労したことは憧れと現実とのギャップです。接客業の中でもホテル業は割と花形と思うのですが、当たり前楽しいことばかりではないので大変な思いをすることも多いです。非日常を感じたくて来ている方を迎えることが私にとっての日常になるので、それもギャップの一つでした。マニュアル通りにいかないことの方が多いです。良かれと思ってしたこと、言ったこともお客様にとっては不快だったり、「人それぞれ」の言葉の重みを痛感する日々です。そんな苦労する中でも色々な人と接するので、沢山の考え・意見に触れていけることは貴重だと思っています。自分の視野が広がっていく気がしています。
	雑談から商談にもちかけること。相手の理解度に合わせて説明すること。
	リモート対象ではないパソコンを持つユーザーに、電話で問合せ内容をヒアリングすること。
	会員制のホテルのため、より高いサービスが求められることが大変だと感じました。
	覚えることが多い。社会人としてのマナーなども。
周りの状況に目を配り、気付いた事を発信し実際に行動に移すことに苦労した。	
苦労したことは、マニュアルばかりではなく臨機応変に対応しなければならないことです。	

保育科	学园内での異動があり、異動のたびに1から覚えなくてはいけないことがある。
	苦労面(仕事量の多さや子どもとの関わり方)。
	業務量が多い。このままでは続けたい気持ちがあってもできなくなる。
	保護者や子どもと信頼関係を築くのが難しく、少しのミスでも信頼を失うこともあるため、常に最善の判断をするのが難しい。
	家に持ち帰る仕事量が多い。
	バス添乗の大変さ。
	コロナ禍での入社だったため、未だに経験していない行事は沢山ある。1年目入ってすぐ自宅待機も沢山あったため、仕事を覚えるのも苦労した。

【学べたことについて】

学科	自由回答
看護学科	離乳食や子どもの成長発達、小児の疾患などたくさん勉強でき自分自身の将来にもとても勉強になっている。
	コロナ禍で入職時研修がないまま病棟で働いたり、クラスター時は休みがなく残業代もつかなかったが急性期での経験は本当に勉強になった。
福祉学科	コミュニケーション能力が欠かせないと感じた。
	人間関係でどうしたらいいか分からなくなった時期がありました。実践において仕事の仕方、子どもたちとの関わり方について学ぶことができました。今の職場では、優しい方々に囲まれて仕事をさせていただいています。
	全体をみて、自分の動きを見出せるようになった。
栄養学科	初めは、給食現場の慌ただしさに驚いた。 配膳時間が決まっている中で、作業1つひとつにかかる時間を短縮させ、食事の質を高められるよう努力した。衛生面、調理工程において指示出しをしなければならない場面が多かったので、状況を見て、臨機応変に対応する力をつけることができた。
	社会人としてのマナー。
	信頼関係構築力が身につきました。
	相手が気持ち良いと感じるような言葉の使い方や話し方を日々学んでいき、仕事に活かすことができるように職場の先輩方の話し方も見ながら勉強中です。
	コミュニケーション能力が身についた。
英語学科	責任感。
	仕事のキツさを経験できた。
	具体的なゴールとアクションプランを設定して、それを成し遂げること。そのためには現状を把握して、課題解決をする必要がある。思考の組み立て方や多角的な視点をもつことを学んだ。
	職場での人間関係の築き方。自分の性格を変え、まわりに順応する力。
観光文化学科	理不尽なことへの対応。
	接客業に於いては、理不尽な理由をつけてクレームをする方が必ずいます。最初は戸惑いますが、度々経験する事によって自身の話し方や、接する態度を見直すきっかけになりました。
保育科	同期がいない寂しさや本音を言えない寂しさなど苦労は沢山ありますが、社会のことも学べ周りの先生にも恵まれ日々成長出来るように頑張っています。
	子どもへの対応の仕方。
	この仕事に就いて、子どもの命を預かるということの責任を改めて感じた。また、自分の不甲斐なさを感じたり仕事量や残業がとて多かったりするため、何度か辞めたいと弱気になった事もあるが、子ども達はとても可愛くて大好きでやり甲斐のある仕事のため、やっぱり辞めたくないこの子達のために頑張ろうと思えるようになったこと。
	自分に出来ることを一生懸命していると、周りのことも見えるようになったと感じる。

【その他】

学科	自由回答
看護学科	業務外のことや患者との関わりなども負担になることが年々増えているように感じる。
	病棟の先輩は本当に優しくだったが、あまりにも残業が多く夜中まで帰れない日が多く、普通の生活はできず慢性期病院に移ったがコロナ禍で状態はどこの病院も同じような気がします。
	学生時代、演習をたくさんしたかった(採血やルート確保など)。学生時代、呼吸器の勉強を全くしていなかったなので、学生の頃からしておけばよかった。呼吸器の設定だけでなく管理や看護も含めて。
	コロナが大変だった。
	呼吸器内科で看護師として働いています。末期の癌患者さんが多く入院しており抗がん剤治療を頑張っている。入院時は自分の足で歩いて入院してきた患者さんが治療していく過程でADLが低下し車椅子生活や寝たきり生活になっていき、だんだん治療に対する意欲や生きることを諦めてきている姿に悲しく感じます。コロナが終息し面会がせめてできたのなら少しは精神的に患者さんをケアできたのかなと思います。
福祉学科	養護教諭の採用は多くなく、毎年教採の勉強を必死に頑張っていますが、なかなか合格することができません。将来のことも考え、転職(社会福祉士として)も考えていますがなかなか相談する相手もおらず困り感を抱えています。
	勤務場所によっては経験を積むことが少ない。看護技術もある。
	聴覚特別支援学校のため、コミュニケーションに手話が必須となり、1からの勉強となった。
	キャリアアップかプライベートの充実かの選択をしないといけない。
栄養学科	営業職の為、休日出勤や休日にお客様より連絡があり休めない。
英語学科	採用三年目で、やっと中学校という組織、3年間の教育課程の流れを理解しました。反省点を来年度から改善していきたいと思っています。
観光文化学科	日々日常のように下ネタを言われるような職場だったので最後は精神的に疲れるようになった。
	営業。
	日本語って難しいと感じました。
助産別科	楽しみながら働くこと、人生楽しんだもん勝ち。
	忙しいとき。

〔6〕大学・短大で受けた教育について

① 達成度と必要性（全体）

問 ①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。その他を選択した場合は、（ ）内に具体的内容をご記入ください。

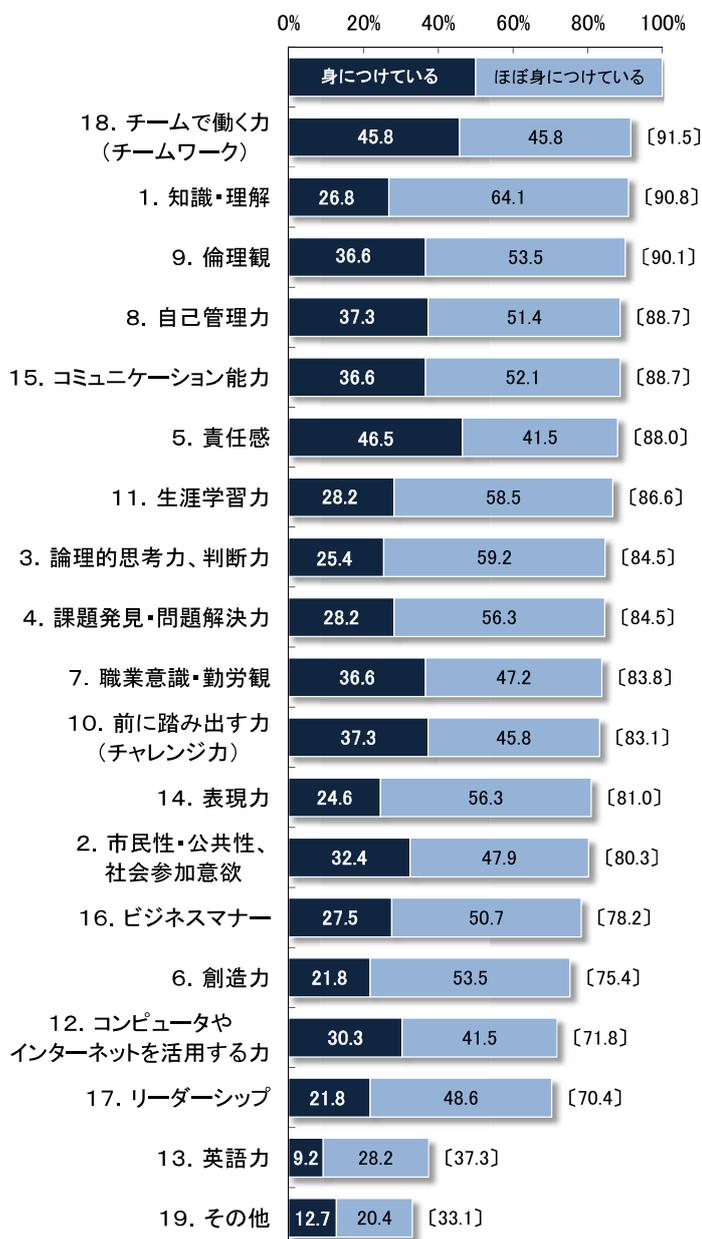
西南女学院大学で得た力やスキルを『身につけている』（身につけている+ほぼ身につけている）と評価する人の割合をみると、「18. チームで働く力（チームワーク）」（91.5%）が最も多くなっている。また、これに次いで「1. 知識・理解」（90.8%）、「9. 倫理観」（90.1%）、「8. 自己管理能力」、「15. コミュニケーション能力」（いずれも 88.7%）、「5. 責任感」（88.0%）、「11. 生涯学習力」（86.6%）、が 85%を超えている。

現在の仕事において必要な力やスキルが『役に立つ』（役に立つ+やや役に立つ）と評価する人の割合をみると、「18. チームで働く力（チームワーク）」（93.7%）が最も多くなっている。また、これに次いで「5. 責任感」、「8. 自己管理能力」、「15. コミュニケーション能力」（いずれも 92.3%）、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」（90.1%）が 90%を超えている。

【達成度と必要性】

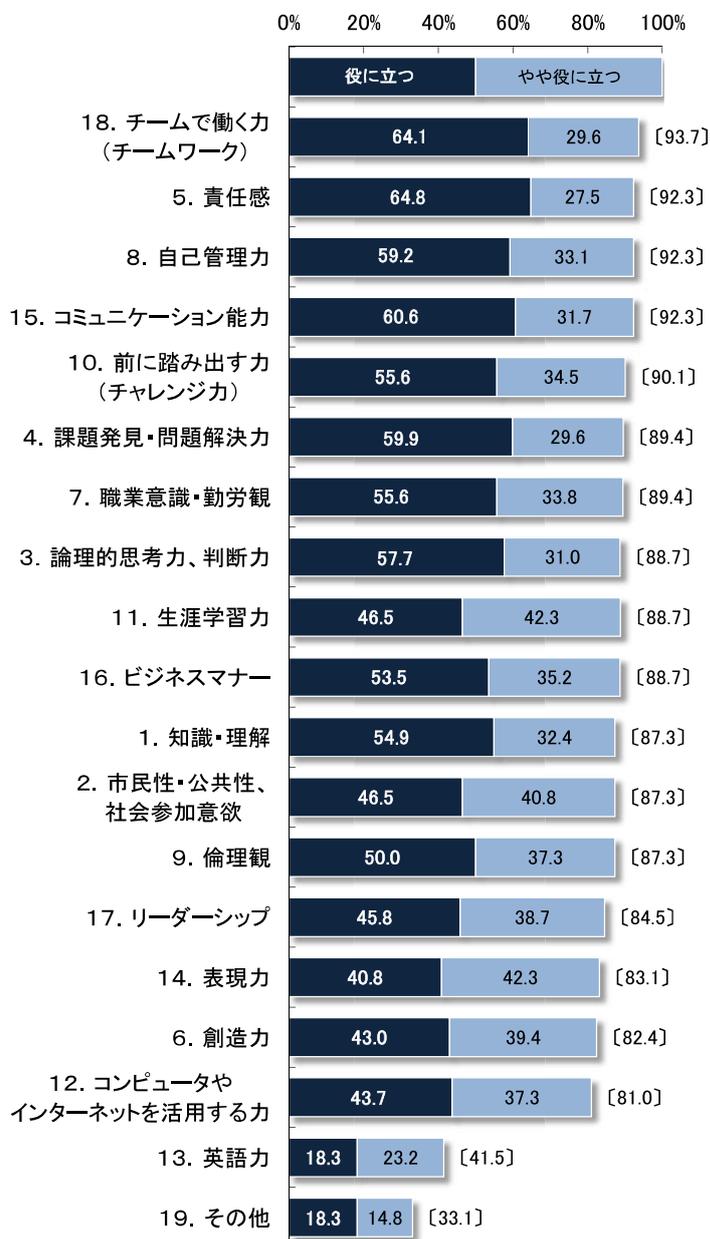
達成度

西南女学院大学で得た力やスキル
(各項目ともN=142)



必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
(各項目ともN=142)

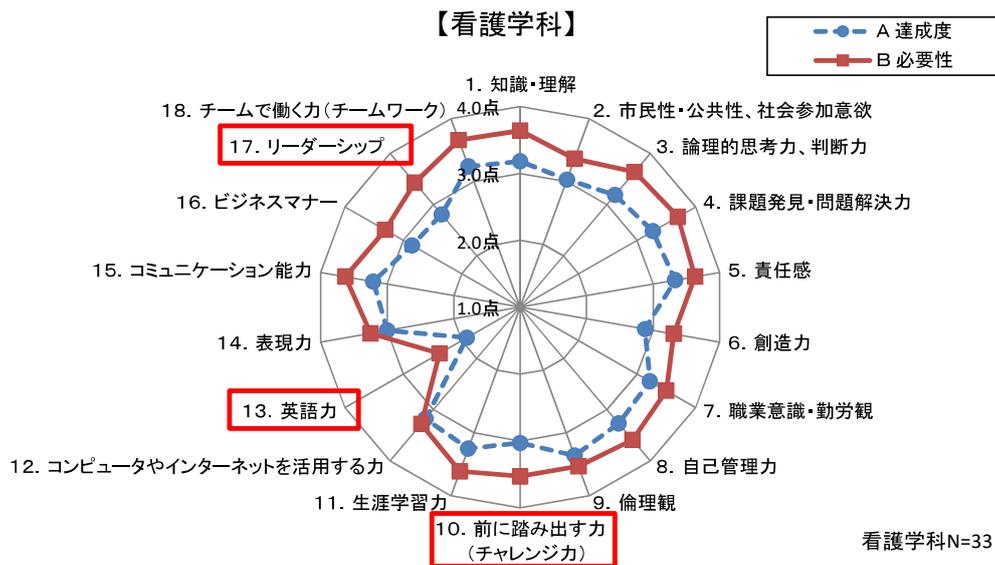


注1) 達成度の選択肢は「身につけている」、「ほぼ身につけている」、「あまり身につけていない」、「身につけていない」の4段階。
 注2) 達成度の〔 〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。
 注3) 必要性の選択肢は「役に立つ」、「やや役に立つ」、「あまり役に立たない」、「役に立たない」の4段階。
 注4) 必要性の〔 〕は「役に立つ」+「やや役に立つ」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

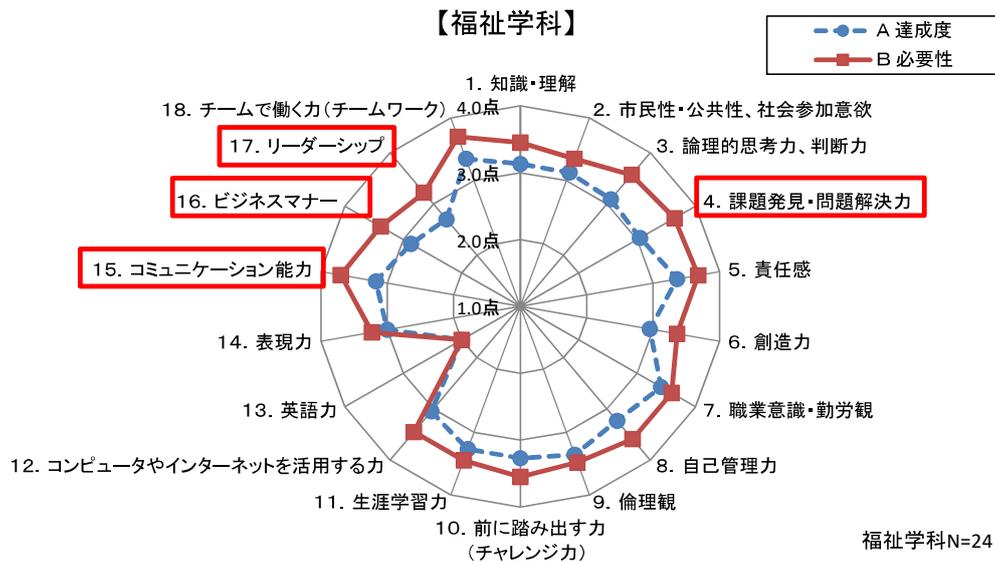
② 達成度と必要性（学科別）

達成度と必要性について、「身につけている」、「役に立つ」=4点、「ほぼ身につけている」、「やや役に立つ」=3点、「あまり身につけていない」、「あまり役に立たない」=2点、「身につけていない」、「役に立たない」=1点として配点し、達成度と必要性の各項目の平均点を算出した。達成度と必要性を比較し、各学科に必要な能力がどの程度達成されているのか、確認を行った。達成度と必要性の差が大きい上位3項目には枠を付けている。

看護学科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも0.62ポイント高く、次いで「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」で0.50ポイント、「13. 英語力」で0.47ポイント高くなっている。看護学科は、すべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。

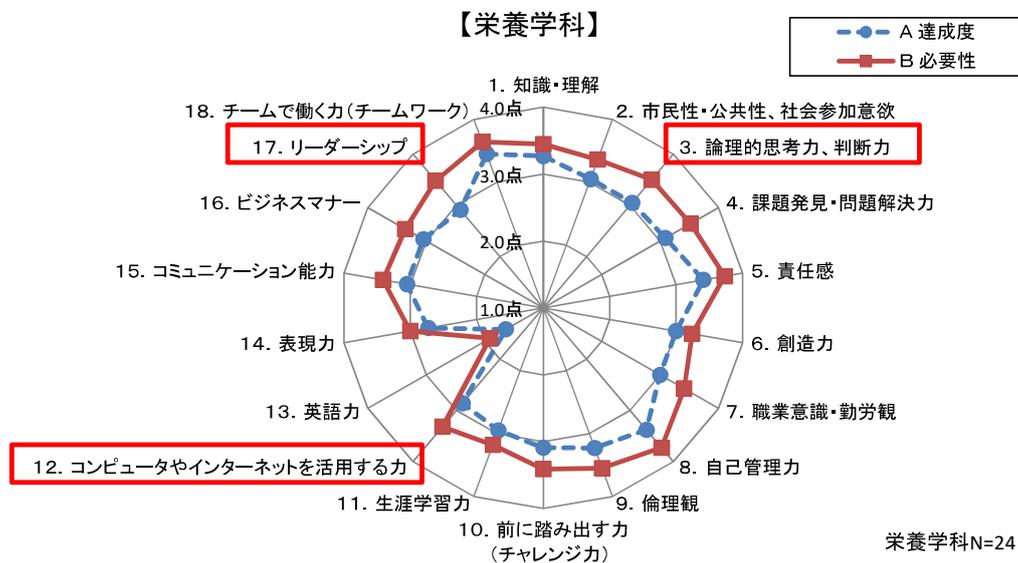


福祉学科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも0.59ポイント高く、次いで「15. コミュニケーション能力」が0.53ポイント、「16. ビジネスマナー」、「17. リーダーシップ」がいずれも0.52ポイント高くなっている。

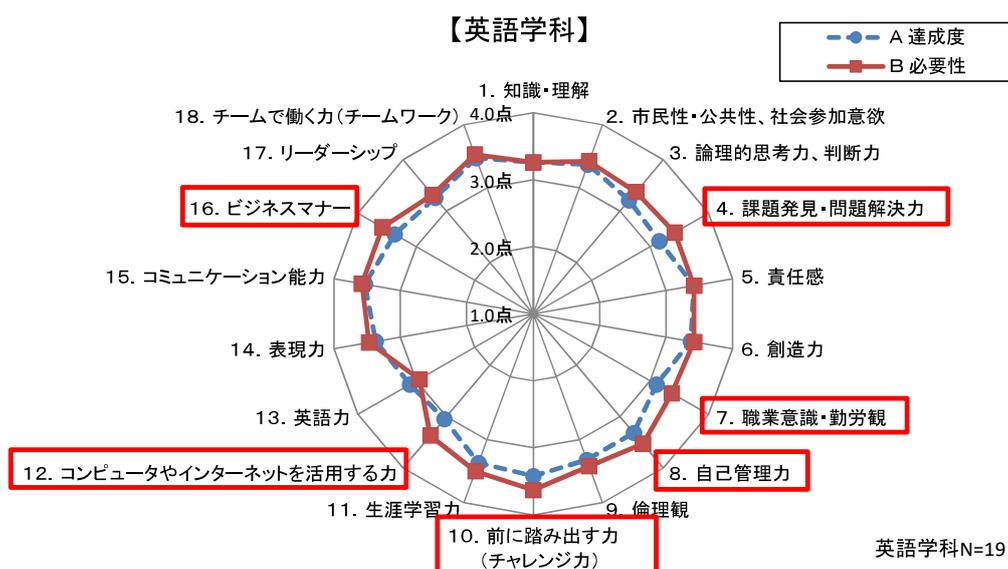


第1章 卒業生アンケート

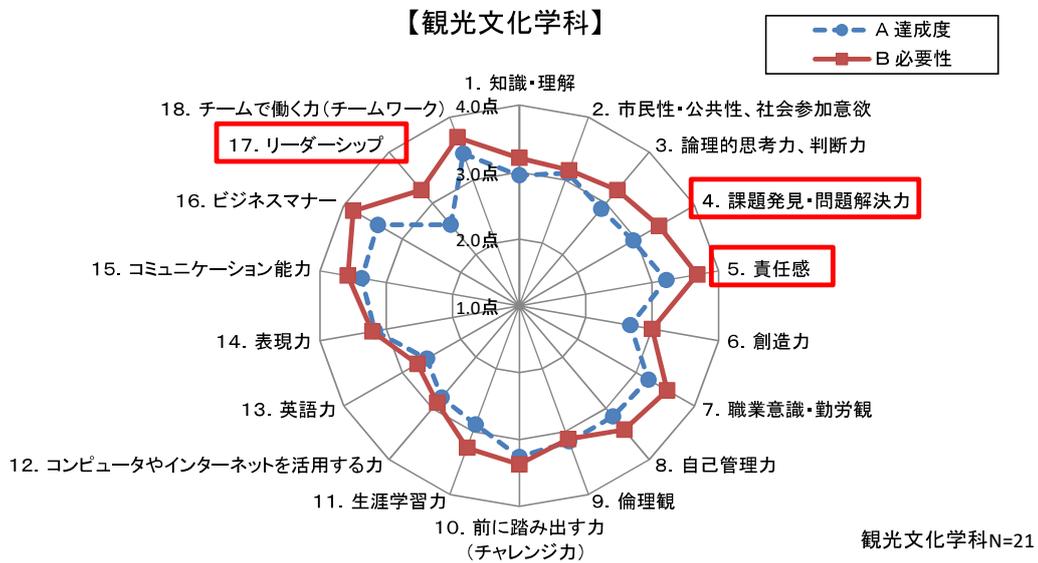
栄養学科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも0.57ポイント高く、次いで「12. コンピュータやインターネットを活用する力」が0.46ポイント、「3. 論理的思考力、判断力」が0.45ポイント高くなっている。栄養学科は、すべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。



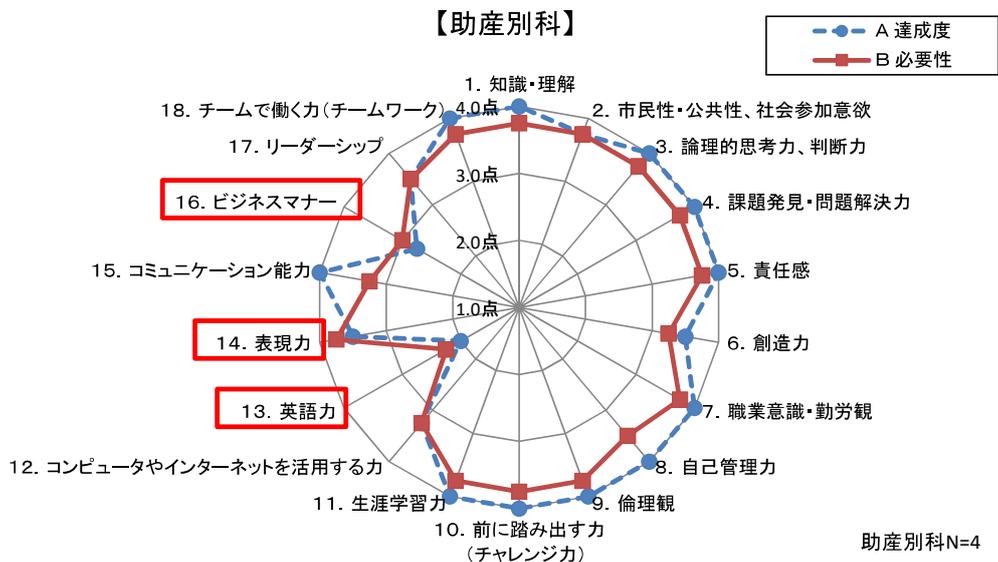
英語学科では、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」の必要性が達成度よりも0.32ポイント高く、次いで「4. 課題発見・問題解決力」、「7. 職業意識・勤労観」がいずれも0.26ポイント、「8. 自己管理能力」、「10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)」、「16. ビジネスマナー」が0.21ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」が0.16ポイント、必要性より達成度が高く、求められる能力を達成していると考えられる人が多いことがうかがえる。



観光文化学科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも0.68ポイント高く、次いで「5. 責任感」が0.47ポイント、「4. 課題発見・問題解決力」が0.44ポイント高くなっている。

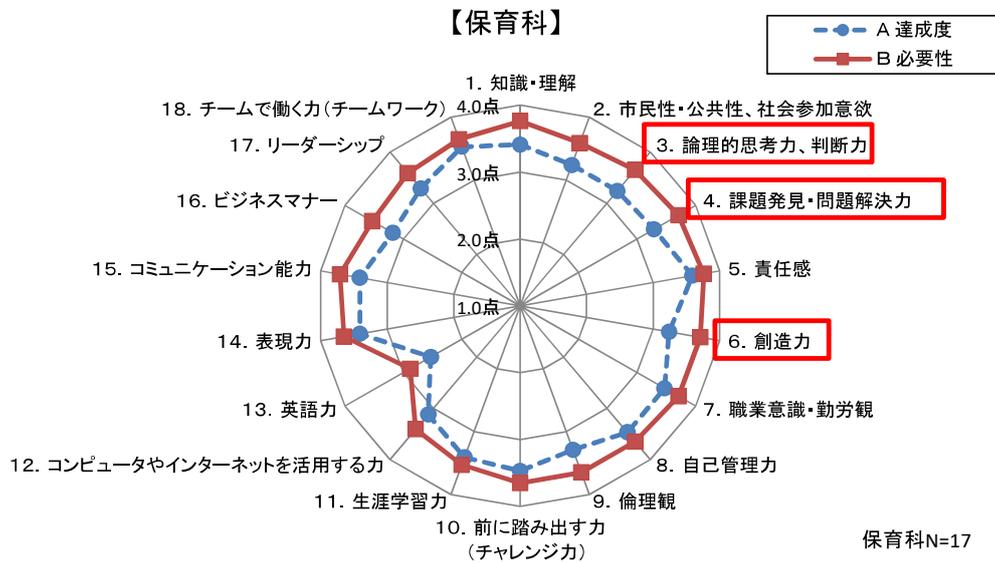


助産別科では、「13. 英語力」、「14. 表現力」、「16. ビジネスマナー」の必要性が達成度よりも0.25ポイント高くなっている。「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」、「17. リーダーシップ」は達成度と必要性のポイントに差はない。一方、「15. コミュニケーション能力」が0.75ポイント、「8. 自己管理能力」が0.50ポイント必要性より達成度が高く、求められる能力を達成していると考えられる人が多いことがうかがえる。



第1章 卒業生アンケート

保育科では、「6.創造力」の必要性が達成度よりも0.47ポイント高く、次いで「4.課題発見・問題解決力」が0.42ポイント、「3.論理的思考力、判断力」が0.41ポイント高くなっている。



③ 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）

能力やスキルを身につけるために役立ったことは、多くの項目について「大学での講義」が役立っていると回答している人が多いが、「5. 責任感」、「7. 職業意識・勤労観」については「実習、インターンシップ」が役に立ったと回答した人が多い。

【能力やスキルを身につけるために役立ったこと】（%）

	全体 (人)	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、 インターンシップ	留学	部活・サークル、 先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、 地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
1. 知識・理解	142	81.0	33.1	8.5	45.1	2.1	2.1	3.5	2.1	2.8	20.4	6.3
2. 市民性・公共性、社会参加意欲	142	38.7	33.8	8.5	33.8	1.4	7.0	21.1	0.7	11.3	10.6	7.0
3. 論理的思考力、判断力	142	63.4	31.0	4.9	40.8	1.4	1.4	12.0	1.4	4.9	12.7	7.7
4. 課題発見・問題解決力	142	57.0	38.7	7.0	43.0	0.7	4.2	11.3	0.7	4.9	12.7	7.0
5. 責任感	142	40.8	34.5	4.9	51.4	0.7	11.3	25.4	0.7	5.6	12.0	8.5
6. 創造力	142	54.9	38.7	7.0	31.0	1.4	9.2	6.3	0.7	3.5	9.2	8.5
7. 職業意識・勤労観	142	43.0	26.1	14.1	46.5	1.4	0.7	16.9	0.7	3.5	17.6	9.9
8. 自己管理能力	142	47.2	31.7	6.3	41.5	0.7	8.5	19.7	0.7	2.1	12.7	10.6
9. 倫理観	142	60.6	25.4	11.3	31.7	0.7	7.0	11.3	0.7	2.8	13.4	11.3
10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)	142	44.4	33.8	8.5	42.3	1.4	12.0	16.2	2.1	6.3	10.6	8.5
11. 生涯学習力	142	64.8	27.5	9.9	26.1	0.7	4.9	8.5	2.1	4.2	12.7	9.9
12. コンピュータや インターネットを活用する力	142	72.5	25.4	4.9	14.8	0.7	2.1	4.2	0.7	-	11.3	9.9
13. 英語力	142	61.3	9.9	4.9	9.2	3.5	-	1.4	3.5	1.4	2.1	25.4
14. 表現力	142	57.0	33.8	5.6	31.7	4.2	6.3	11.3	1.4	4.2	10.6	12.0
15. コミュニケーション能力	142	52.8	38.7	8.5	40.8	2.8	14.1	26.1	2.1	6.3	14.8	7.0
16. ビジネスマナー	142	47.2	18.3	12.7	35.2	2.8	4.9	20.4	1.4	0.7	14.1	10.6
17. リーダーシップ	142	42.3	29.6	5.6	31.7	1.4	10.6	14.1	1.4	5.6	9.2	12.0
18. チームで働く力 (チームワーク)	142	46.5	43.7	5.6	40.1	3.5	10.6	24.6	0.7	6.3	16.9	7.0
19. その他	142	18.3	9.2	2.8	9.9	-	1.4	3.5	0.7	1.4	2.8	73.2

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（1～4）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
1. 知識・理解												
全体	142	81.0	33.1	8.5	45.1	2.1	2.1	3.5	2.1	2.8	20.4	6.3
看護学科	33	87.9	39.4	3.0	72.7	3.0	3.0	-	3.0	-	33.3	3.0
福祉学科	24	83.3	33.3	-	29.2	-	-	8.3	4.2	8.3	16.7	4.2
栄養学科	24	87.5	20.8	8.3	50.0	-	4.2	-	4.2	-	16.7	8.3
英語学科	19	52.6	31.6	10.5	26.3	10.5	-	5.3	-	-	15.8	10.5
観光文化学科	21	71.4	28.6	23.8	28.6	-	4.8	9.5	-	4.8	4.8	14.3
助産別科	4	100.0	25.0	-	75.0	-	-	-	-	-	50.0	-
保育科	17	94.1	47.1	11.8	41.2	-	-	-	-	5.9	23.5	-
2. 市民性・公共性、社会参加意欲												
全体	142	38.7	33.8	8.5	33.8	1.4	7.0	21.1	0.7	11.3	10.6	7.0
看護学科	33	21.2	21.2	12.1	39.4	-	12.1	36.4	3.0	18.2	3.0	3.0
福祉学科	24	45.8	33.3	4.2	33.3	4.2	4.2	12.5	-	8.3	12.5	12.5
栄養学科	24	33.3	54.2	4.2	37.5	-	16.7	16.7	-	4.2	12.5	8.3
英語学科	19	31.6	26.3	10.5	31.6	5.3	-	10.5	-	15.8	-	10.5
観光文化学科	21	38.1	42.9	9.5	14.3	-	4.8	28.6	-	9.5	4.8	9.5
助産別科	4	100.0	25.0	-	50.0	-	-	25.0	-	-	50.0	-
保育科	17	64.7	29.4	11.8	41.2	-	-	11.8	-	11.8	29.4	-
3. 論理的思考力、判断力												
全体	142	63.4	31.0	4.9	40.8	1.4	1.4	12.0	1.4	4.9	12.7	7.7
看護学科	33	72.7	42.4	3.0	66.7	-	-	9.1	3.0	-	15.2	3.0
福祉学科	24	54.2	37.5	-	41.7	-	-	12.5	4.2	4.2	12.5	12.5
栄養学科	24	54.2	20.8	4.2	37.5	4.2	8.3	8.3	-	4.2	8.3	12.5
英語学科	19	47.4	31.6	5.3	15.8	5.3	-	10.5	-	5.3	5.3	10.5
観光文化学科	21	61.9	19.0	4.8	14.3	-	-	28.6	-	9.5	-	9.5
助産別科	4	100.0	-	25.0	75.0	-	-	25.0	-	-	50.0	-
保育科	17	82.4	35.3	11.8	47.1	-	-	-	-	11.8	29.4	-
4. 課題発見・問題解決力												
全体	142	57.0	38.7	7.0	43.0	0.7	4.2	11.3	0.7	4.9	12.7	7.0
看護学科	33	72.7	45.5	3.0	69.7	-	-	9.1	3.0	3.0	18.2	3.0
福祉学科	24	45.8	45.8	-	29.2	-	8.3	16.7	-	4.2	8.3	8.3
栄養学科	24	54.2	29.2	-	33.3	-	8.3	8.3	-	-	12.5	12.5
英語学科	19	42.1	42.1	15.8	31.6	5.3	5.3	10.5	-	-	-	10.5
観光文化学科	21	42.9	33.3	14.3	19.0	-	4.8	19.0	-	14.3	4.8	9.5
助産別科	4	100.0	25.0	25.0	75.0	-	-	-	-	-	25.0	-
保育科	17	70.6	35.3	11.8	58.8	-	-	5.9	-	11.8	29.4	-

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（5～8）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
5. 責任感												
全体	142	40.8	34.5	4.9	51.4	0.7	11.3	25.4	0.7	5.6	12.0	8.5
看護学科	33	42.4	39.4	-	78.8	-	6.1	33.3	3.0	3.0	12.1	3.0
福祉学科	24	25.0	29.2	-	45.8	-	4.2	20.8	-	8.3	12.5	12.5
栄養学科	24	54.2	16.7	4.2	37.5	-	25.0	33.3	-	-	8.3	12.5
英語学科	19	42.1	42.1	10.5	36.8	5.3	5.3	15.8	-	-	-	10.5
観光文化学科	21	19.0	33.3	4.8	33.3	-	28.6	28.6	-	14.3	9.5	14.3
助産別科	4	100.0	25.0	25.0	75.0	-	-	25.0	-	-	50.0	-
保育科	17	52.9	52.9	11.8	58.8	-	-	11.8	-	11.8	23.5	-
6. 創造力												
全体	142	54.9	38.7	7.0	31.0	1.4	9.2	6.3	0.7	3.5	9.2	8.5
看護学科	33	57.6	42.4	3.0	51.5	-	6.1	6.1	3.0	-	6.1	3.0
福祉学科	24	41.7	45.8	-	25.0	-	4.2	4.2	-	4.2	12.5	16.7
栄養学科	24	41.7	33.3	4.2	16.7	-	20.8	12.5	-	-	12.5	12.5
英語学科	19	47.4	31.6	21.1	31.6	5.3	5.3	5.3	-	5.3	5.3	10.5
観光文化学科	21	47.6	33.3	4.8	9.5	-	19.0	9.5	-	9.5	-	9.5
助産別科	4	100.0	25.0	25.0	75.0	-	-	-	-	-	25.0	-
保育科	17	94.1	47.1	11.8	35.3	5.9	-	-	-	5.9	17.6	-
7. 職業意識・勤労観												
全体	142	43.0	26.1	14.1	46.5	1.4	0.7	16.9	0.7	3.5	17.6	9.9
看護学科	33	36.4	27.3	9.1	69.7	-	-	15.2	3.0	3.0	24.2	6.1
福祉学科	24	37.5	33.3	-	29.2	-	-	29.2	-	-	20.8	12.5
栄養学科	24	50.0	4.2	8.3	41.7	-	-	29.2	-	-	12.5	12.5
英語学科	19	36.8	31.6	26.3	47.4	10.5	-	10.5	-	-	5.3	10.5
観光文化学科	21	28.6	14.3	33.3	33.3	-	4.8	14.3	-	9.5	9.5	14.3
助産別科	4	75.0	25.0	25.0	75.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0
保育科	17	70.6	52.9	11.8	41.2	-	-	-	-	11.8	29.4	-
8. 自己管理力												
全体	142	47.2	31.7	6.3	41.5	0.7	8.5	19.7	0.7	2.1	12.7	10.6
看護学科	33	36.4	24.2	-	72.7	-	6.1	21.2	3.0	-	12.1	12.1
福祉学科	24	45.8	29.2	4.2	29.2	-	4.2	29.2	-	4.2	12.5	12.5
栄養学科	24	58.3	29.2	-	20.8	-	20.8	25.0	-	-	8.3	12.5
英語学科	19	47.4	31.6	21.1	36.8	5.3	-	10.5	-	-	-	15.8
観光文化学科	21	38.1	38.1	9.5	23.8	-	19.0	19.0	-	4.8	9.5	9.5
助産別科	4	75.0	25.0	-	75.0	-	-	25.0	-	-	50.0	-
保育科	17	58.8	47.1	11.8	47.1	-	-	5.9	-	5.9	29.4	-

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（9～12）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
9. 倫理観												
全体	142	60.6	25.4	11.3	31.7	0.7	7.0	11.3	0.7	2.8	13.4	11.3
看護学科	33	60.6	21.2	6.1	63.6	-	9.1	12.1	3.0	3.0	15.2	9.1
福祉学科	24	58.3	29.2	4.2	20.8	-	8.3	20.8	-	4.2	12.5	12.5
栄養学科	24	58.3	12.5	16.7	16.7	-	12.5	16.7	-	-	12.5	12.5
英語学科	19	47.4	31.6	21.1	26.3	5.3	-	-	-	-	5.3	15.8
観光文化学科	21	57.1	28.6	9.5	-	-	4.8	9.5	-	4.8	4.8	19.0
助産別科	4	100.0	25.0	25.0	75.0	-	-	-	-	-	50.0	-
保育科	17	76.5	35.3	11.8	41.2	-	5.9	5.9	-	5.9	23.5	-
10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)												
全体	142	44.4	33.8	8.5	42.3	1.4	12.0	16.2	2.1	6.3	10.6	8.5
看護学科	33	30.3	33.3	-	69.7	-	9.1	24.2	3.0	6.1	12.1	6.1
福祉学科	24	37.5	33.3	8.3	25.0	-	8.3	29.2	-	-	8.3	12.5
栄養学科	24	50.0	25.0	4.2	37.5	-	25.0	8.3	-	4.2	12.5	12.5
英語学科	19	52.6	21.1	15.8	31.6	5.3	5.3	5.3	5.3	10.5	-	5.3
観光文化学科	21	33.3	42.9	14.3	23.8	4.8	23.8	14.3	4.8	9.5	9.5	9.5
助産別科	4	75.0	25.0	25.0	75.0	-	-	25.0	-	-	25.0	25.0
保育科	17	70.6	52.9	11.8	47.1	-	-	5.9	-	11.8	17.6	-
11. 生涯学習力												
全体	142	64.8	27.5	9.9	26.1	0.7	4.9	8.5	2.1	4.2	12.7	9.9
看護学科	33	72.7	39.4	6.1	54.5	-	3.0	6.1	6.1	-	24.2	6.1
福祉学科	24	54.2	25.0	-	29.2	-	8.3	12.5	-	4.2	8.3	12.5
栄養学科	24	75.0	16.7	8.3	12.5	-	4.2	4.2	-	-	8.3	12.5
英語学科	19	47.4	26.3	21.1	10.5	-	-	10.5	-	15.8	-	10.5
観光文化学科	21	52.4	19.0	14.3	-	4.8	14.3	14.3	4.8	4.8	4.8	14.3
助産別科	4	75.0	25.0	25.0	75.0	-	-	25.0	-	-	25.0	25.0
保育科	17	82.4	35.3	11.8	23.5	-	-	-	-	5.9	23.5	-
12. コンピュータやインターネットを活用する力												
全体	142	72.5	25.4	4.9	14.8	0.7	2.1	4.2	0.7	-	11.3	9.9
看護学科	33	75.8	30.3	3.0	30.3	3.0	-	6.1	3.0	-	12.1	9.1
福祉学科	24	62.5	37.5	-	8.3	-	-	8.3	-	-	16.7	8.3
栄養学科	24	70.8	20.8	-	8.3	-	8.3	4.2	-	-	12.5	12.5
英語学科	19	68.4	31.6	15.8	5.3	-	-	-	-	-	5.3	10.5
観光文化学科	21	76.2	9.5	-	-	-	4.8	-	-	-	4.8	19.0
助産別科	4	100.0	25.0	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-	25.0	-
保育科	17	76.5	17.6	11.8	23.5	-	-	-	-	-	11.8	-

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（13～16）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
13. 英語力												
全体	142	61.3	9.9	4.9	9.2	3.5	-	1.4	3.5	1.4	2.1	25.4
看護学科	33	63.6	9.1	-	6.1	-	-	3.0	3.0	-	-	24.2
福祉学科	24	50.0	4.2	-	8.3	-	-	-	-	-	-	41.7
栄養学科	24	37.5	8.3	4.2	4.2	-	-	-	8.3	-	-	41.7
英語学科	19	73.7	15.8	21.1	21.1	10.5	-	-	-	5.3	10.5	10.5
観光文化学科	21	71.4	9.5	-	-	9.5	-	4.8	9.5	4.8	-	19.0
助産別科	4	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	25.0	50.0
保育科	17	88.2	17.6	11.8	23.5	-	-	-	-	-	-	-
14. 表現力												
全体	142	57.0	33.8	5.6	31.7	4.2	6.3	11.3	1.4	4.2	10.6	12.0
看護学科	33	54.5	42.4	-	60.6	3.0	3.0	9.1	3.0	-	12.1	9.1
福祉学科	24	45.8	29.2	-	25.0	-	4.2	20.8	-	4.2	16.7	12.5
栄養学科	24	54.2	20.8	4.2	29.2	4.2	20.8	20.8	-	-	12.5	16.7
英語学科	19	63.2	31.6	21.1	26.3	10.5	-	-	-	5.3	5.3	10.5
観光文化学科	21	42.9	33.3	-	-	9.5	9.5	9.5	4.8	9.5	-	23.8
助産別科	4	75.0	25.0	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-	25.0	-
保育科	17	88.2	47.1	11.8	29.4	-	-	-	-	11.8	11.8	-
15. コミュニケーション能力												
全体	142	52.8	38.7	8.5	40.8	2.8	14.1	26.1	2.1	6.3	14.8	7.0
看護学科	33	45.5	42.4	-	75.8	3.0	15.2	36.4	3.0	9.1	18.2	9.1
福祉学科	24	50.0	37.5	4.2	29.2	-	8.3	33.3	4.2	4.2	16.7	4.2
栄養学科	24	54.2	25.0	8.3	29.2	-	25.0	29.2	-	-	16.7	12.5
英語学科	19	68.4	36.8	26.3	26.3	10.5	5.3	5.3	-	10.5	-	5.3
観光文化学科	21	23.8	47.6	4.8	19.0	4.8	28.6	28.6	4.8	4.8	-	9.5
助産別科	4	75.0	25.0	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-	50.0	-
保育科	17	82.4	47.1	11.8	47.1	-	-	11.8	-	11.8	29.4	-
16. ビジネスマナー												
全体	142	47.2	18.3	12.7	35.2	2.8	4.9	20.4	1.4	0.7	14.1	10.6
看護学科	33	30.3	24.2	9.1	51.5	3.0	3.0	27.3	3.0	-	12.1	12.1
福祉学科	24	37.5	20.8	12.5	20.8	-	4.2	33.3	-	-	16.7	12.5
栄養学科	24	50.0	8.3	12.5	33.3	-	8.3	29.2	-	-	16.7	12.5
英語学科	19	52.6	15.8	21.1	36.8	5.3	5.3	5.3	-	-	-	15.8
観光文化学科	21	52.4	23.8	14.3	33.3	-	9.5	19.0	4.8	4.8	9.5	9.5
助産別科	4	50.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	50.0	-
保育科	17	76.5	17.6	11.8	29.4	5.9	-	-	-	-	23.5	-

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（17～19）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
17. リーダーシップ												
全体	142	42.3	29.6	5.6	31.7	1.4	10.6	14.1	1.4	5.6	9.2	12.0
看護学科	33	36.4	39.4	3.0	60.6	-	12.1	15.2	3.0	9.1	18.2	9.1
福祉学科	24	37.5	25.0	4.2	16.7	-	4.2	20.8	4.2	-	8.3	16.7
栄養学科	24	37.5	12.5	4.2	37.5	-	16.7	20.8	-	-	4.2	12.5
英語学科	19	57.9	26.3	10.5	21.1	10.5	5.3	5.3	-	10.5	5.3	10.5
観光文化学科	21	19.0	42.9	-	4.8	-	23.8	19.0	-	9.5	-	19.0
助産別科	4	50.0	25.0	25.0	50.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0
保育科	17	76.5	29.4	11.8	29.4	-	-	-	-	5.9	11.8	-
18. チームで働く力(チームワーク)												
全体	142	46.5	43.7	5.6	40.1	3.5	10.6	24.6	0.7	6.3	16.9	7.0
看護学科	33	33.3	54.5	3.0	69.7	3.0	9.1	24.2	3.0	6.1	30.3	6.1
福祉学科	24	45.8	25.0	4.2	29.2	-	8.3	41.7	-	4.2	16.7	4.2
栄養学科	24	50.0	29.2	-	41.7	-	16.7	33.3	-	-	16.7	12.5
英語学科	19	52.6	52.6	15.8	26.3	10.5	5.3	5.3	-	10.5	-	10.5
観光文化学科	21	28.6	52.4	-	23.8	9.5	23.8	28.6	-	9.5	4.8	9.5
助産別科	4	75.0	25.0	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-	50.0	-
保育科	17	76.5	52.9	11.8	29.4	-	-	5.9	-	11.8	17.6	-
19. その他												
全体	142	18.3	9.2	2.8	9.9	-	1.4	3.5	0.7	1.4	2.8	73.2
看護学科	33	12.1	9.1	-	9.1	-	3.0	6.1	3.0	-	3.0	75.8
福祉学科	24	8.3	-	-	-	-	-	4.2	-	-	-	87.5
栄養学科	24	8.3	4.2	-	8.3	-	-	-	-	-	-	87.5
英語学科	19	5.3	10.5	5.3	5.3	-	-	-	-	-	-	89.5
観光文化学科	21	9.5	4.8	-	4.8	-	4.8	9.5	-	4.8	-	85.7
助産別科	4	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0
保育科	17	76.5	29.4	11.8	35.3	-	-	-	-	5.9	17.6	-

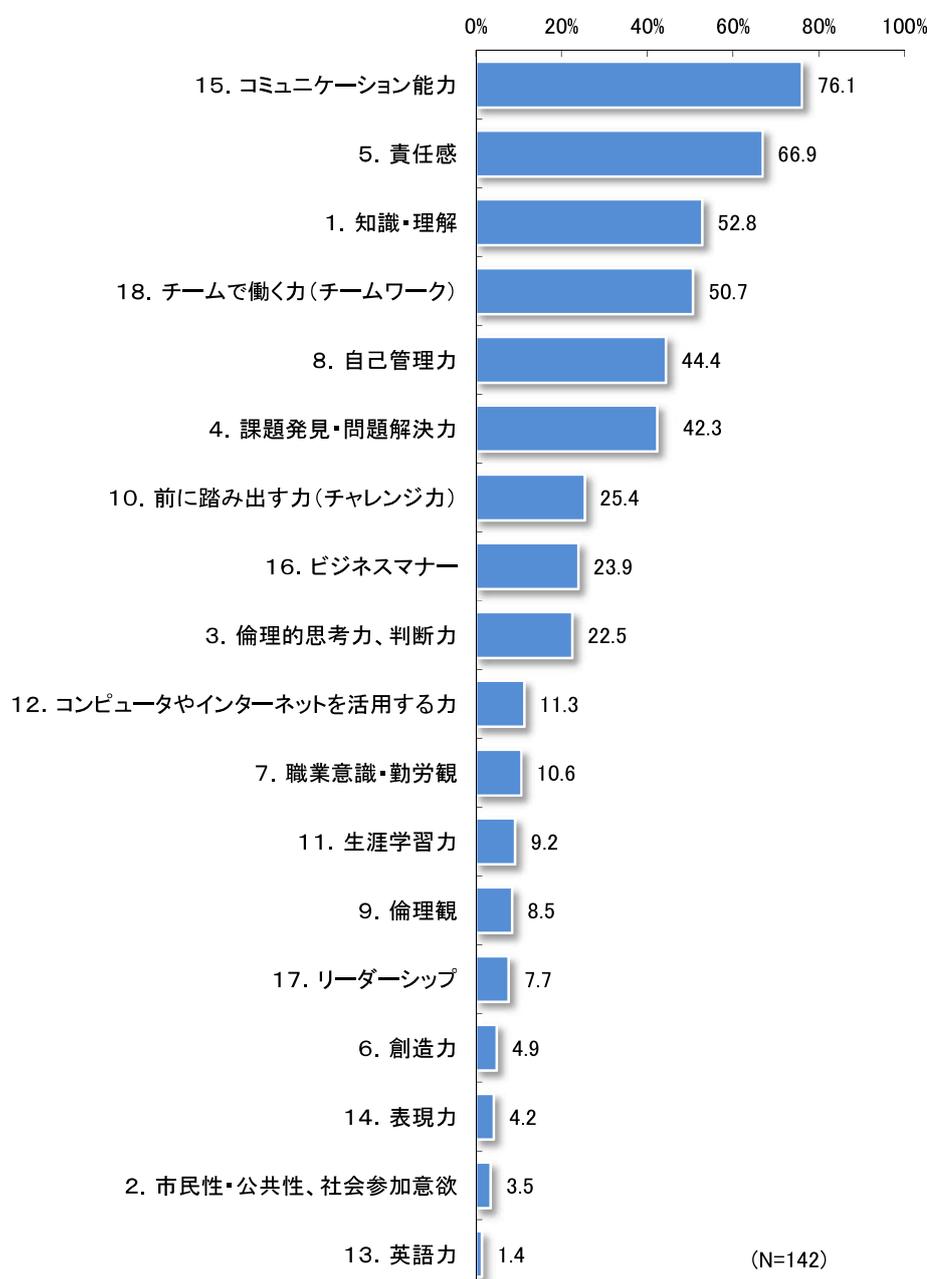
④ 仕事をする上で重要だと思う事

問 ②上記の表の1～19の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思われるものについて、5つまでその番号をご記入ください。

仕事をする上で重要だと思うことは、「15. コミュニケーション能力」(76.1%)が最も多く、次いで「5. 責任感」(66.9%)、「1. 知識・理解」(52.8%)となっている。

学科別にみると、概ね全体結果と同様の傾向を示しているが、看護学科では「4. 課題発見・問題解決力」、福祉学科では「18. チームで働く力(チームワーク)」、栄養学科では「15. コミュニケーション能力」、観光文化学科では「15. コミュニケーション能力」、「16. ビジネスマナー」、保育科では「1. 知識・理解」、「5. 責任感」を重要視する人が他学科に比べ際立って多くなっている。

【仕事をする上で重要だと思うこと】



※回答のなかった項目は省略

第1章 卒業生アンケート

【学科別 仕事をする上で重要だと思うこと (1/2)】 (%)

	全体 (人)	15 コミュニケーション能力	5 責任感	1 知識・理解	18 チームワーク (チームで働く力)	8 自己管理能力	4 課題発見・問題解決力	10 前に踏み出す力 (チャレンジ力)	16 ビジネスマナー	3 倫理的思考力、判断力
全体	142	76.1	66.9	52.8	50.7	44.4	42.3	25.4	23.9	22.5
看護学科	33	63.6	72.7	66.7	57.6	45.5	60.6	21.2	6.1	33.3
福祉学科	24	83.3	45.8	62.5	70.8	45.8	50.0	12.5	20.8	4.2
栄養学科	24	91.7	75.0	41.7	37.5	50.0	25.0	33.3	37.5	16.7
英語学科	19	57.9	57.9	36.8	42.1	42.1	47.4	26.3	31.6	15.8
観光文化学科	21	90.5	71.4	28.6	42.9	52.4	33.3	38.1	42.9	28.6
助産別科	4	75.0	50.0	50.0	75.0	50.0	25.0	25.0	-	75.0
保育科	17	70.6	82.4	76.5	41.2	23.5	29.4	23.5	17.6	23.5

【学科別 仕事をする上で重要だと思うこと (2/2)】 (%)

	全体 (人)	12 インターネットを 活用する能力	7 職業意識・勤労観	11 生涯学習力	9 倫理観	17 リーダーシップ	6 創造力	14 表現力	2 市民性・公共性、 社会参加意欲	13 英語力
全体	142	11.3	10.6	9.2	8.5	7.7	4.9	4.2	3.5	1.4
看護学科	33	-	12.1	18.2	12.1	12.1	-	-	-	-
福祉学科	24	16.7	8.3	8.3	8.3	-	8.3	4.2	8.3	-
栄養学科	24	12.5	12.5	4.2	8.3	8.3	-	-	-	-
英語学科	19	15.8	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	10.5
観光文化学科	21	19.0	9.5	4.8	4.8	4.8	9.5	4.8	9.5	-
助産別科	4	-	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-
保育科	17	11.8	17.6	5.9	11.8	11.8	11.8	11.8	-	-

〔7〕 大学時代で有意義だった授業

問 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。
また、よろしければ理由をご記入ください。

大学時代に有意義だったと思う授業について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【研究室・ゼミ、実習・演習・インターンシップについて】

(回答者数:81人/142人[57.0%])

学科	自由回答
看護学科	技術演習 大学時に実践した看護技術が入職後より見守りで実験可能だったため。
	実習は特に現場の状況を見られるため有意義だったと思う。
	実習。
	ゼミ、4年次の実習。自分の興味のある分野について深められ、実習にて実際の現場をみる事ができたため。(ICUや救命など普段の実習ではみられないところ)。
	急性期の実技テストで、術後の観察項目などを述べて観察するもの。いまだに仕事でも使うことができます。
	看護技術演習では模型などを使用して看護技術の練習ができたので実習の際にも役立つと思う。
	急性期の演習。
	急性期看護や小児看護など実技を学べる講義。就職してから実践までがスムーズでした。
	病態についての授業、看護学実習、コミュニケーションをとる授業。
	ゼミの講義・実習→興味のある分野を学べたため。
	講義内容や何人かの講師の講義への姿勢を含め有意義だったと思う授業はほぼないが、実技があったことは良かった。
福祉学科	演習、実習全般。自ら考えて行動する力が養われたと思うから。
	実習を体験することで実際の現場を知ることができた。
	ゼミ 自分で調べて、まとめる力がついたから。
	養護教諭の血圧測定など実践系は役に立ちました。
栄養学科	ゼミ活動。
	専門教科、ゼミ。
	学外実習で特養に行ったこと。 今はまだ最初の会社で働いていますが、1月いっぱい有給消化し、2月より特養で採用が決まりました。元々したい仕事はなかったのですが、特養で実習させていただいたことにより、将来特養で働きたいと思っていたのでとても良い機会だと思います。自分がどうしたいのか、どんな知識が必要なのか考えさせられました。
	管理栄養士演習。 →国家試験に向けて総振り返りができ、一つひとつが丁寧に充実していた。
	給食調理実習。 大量調理の手順を一通り経験できる。実際はその何十倍も大変だが、どのようなものなのかを予め学んでおくと仕事でも理解が早い。
インターンシップ	
実習。	

第1章 卒業生アンケート

英語学科	ゼミ。 インターンシップの授業。 実際に会社に行って体験できたことがすごく就活の際に役立った。
	Tゼミ。 あとは社会人基礎力について学んだゼミ活動もいい経験になったと思います。インターンシップの講義も実際に企業インターンに行って、現場を見る事で業界研究にも繋がったので受けて良かったと思います。
観光文化学科	Hゼミの授業。H先生は英語の勉強だけでなく、個々を褒めて伸ばしてくれていた。すごく勉強になりました。
	Tゼミの活動です。3年生の時は、ゼミメンバー皆で城崎温泉に行き、現地調査をして全員で論文を作成しました。4年生の時の卒業論文の時には、その時の経験があった為、計画的にスムーズに作成することができました。現在も、メールや提案書などの文章を作成する時には、その時の経験が活かせてると感じています。
助産別科	看護学実習、助産学実習、保健師実習、市民センターでの乳がんの健康教育。 実際に現場を知ること、住民の方々の声を聞くこと、触れ合うことで、自分の不向きもわかるし、これから求められていることも実感できるから。
	実習。
保育科	実習指導。
	子どもの保健、保育実践。

【パソコン、グループワーク・実験、マナー講座について】

学科	自由回答
福祉学科	看護展開のグループワーク。 ディスカッションの練習や相手に伝わるように話すことの大切さが実感出来る。
英語学科	PCを利用した授業。
観光文化学科	ビジネスマナーの授業。どの仕事についても必要だから。

【資格、語学、留学について】

学科	自由回答
栄養学科	食品衛生学とフードスペシャリスト資格取得のための授業。専門職以外に就職した場合でも私生活に役立つ知識が多いから。
英語学科	Y先生の教員課程の授業は全て印象に残っております。先生も熱心ですし、「教職とは」ということについて考えさせられます。結果、教職を仕事にはしませんでした。視野が広がりました。

【専門的な授業について】

学科	自由回答
看護学科	薬学(製薬会社の勉強会をよく聞くため)、解剖学(基本中の基本だから)。
	看護過程。
	基礎看護。臨床でいちばん活用しているから。
福祉学科	養護教諭にかかる授業はとても大切でした。働く中で一番基礎となり、根柢をしっかりと身につけて、自信にもつながると思います。
	福祉系の授業。 会社でもインクルージョンや多様性などが重要になっているから。
	保育の授業です。 自分自身が働く上で必要な知識やスキルについて学ぶことができました。

栄養学科	給食管理の講義。現在の職場で役に立っている。
	栄養教諭の授業全般です。子どもに関する職業に応用出来ているので。
	臨床栄養学。仕事だけでなく、自分や周りの方の体調に合わせて栄養アドバイスができるため。
英語学科	教員志望だったため、教職の授業は全て有意義でした。また、1年次のA先生による音声学で、日本にいながら発音矯正ができ今もとても役に立っています。
観光文化学科	ホスピタリティの授業です。現職がホテル業だからというのがありますが、ホテルに勤めていた方が講師をされていたので、有意義だと思います。
	エアライン英語、航空系の授業。
保育科	保健や指導案を考える授業。知識として役立つことや実際に指導案を立てたものをクラスをもった際に行うことができたため。
	心理学(ピアヘルパー)・・・人の気持ちに寄り添う、理解しようとするなど今の現場に役に立っている。

【その他】

学科	自由回答
看護学科	M先生の授業全部。
	記憶は定かではないですが、4年生の時に履修したA先生の講義です。さまざまな疾患を端的に学べて、レジュメが分かりやすかったです。今でもレジュメを見返すことがあります。
	病態についての授業、コミュニケーションをとる授業。
	慢性看護。今働いている部署が慢性期よりであるため。
	看護と養護の科目が、今の仕事につながっている。
福祉学科	全ての授業、有意義でした。無駄だった授業はないし、すべての授業が今の私に役に立っています。しかし、その授業が大切な時間であることを自分自身が分かっていなかったことが、後悔です。
	大学生生活。
	必修科目全般。福祉学科では毎日、受容と共感について教え込まれ、4年になる頃には反射的に受容と共感が浮かぶまでになった。徹底的に教えてもらった事でそれが物事を考える時の基礎となっており福祉学科で学んでよかったと思っている。
	実際に現場で働いている方からの声を聞ける授業。
	卒業生講話。
栄養学科	食品学や調理学、臨床心理学、北九州市立大学から講義に来ていた教授の授業です。理由は、日常生活で思い出すことがあり、役に立つことが多かったからです。
	授業というより、先生の話になるのですが、先生方の経験談を踏まえた授業はとてもためになりました。
英語学科	英語と時事を組み合わせた授業。 英語を学びつつ世界情勢やその他の社会のことを気にするきっかけになったから。
	キャリア教育。
	発言必須の授業。
	卒業研究。
	教職(Y先生、T先生)、英語の発音(A先生)、ことばについて(A先生)、プレゼンテーション(M先生)。
	TOEICの講座はとても役に立ちました。今の時代どの分野、企業でも英語力は役に立ってくるので、頑張ってたよかったと思いました。

第1章 卒業生アンケート

観光文化学科	卒業生に直接来校して頂き、仕事の話聞く授業。先輩だからこそ伝わるリアルな感想と、夢が広がる話が沢山あり、就活や就職後が楽しみになった。
	マーケティングの授業。
	企業の人事の方がその企業について説明をしてくださる授業。
	通訳ガイド(講義名忘れました)。自分で考えて、英語を使って話す授業はとても大変でした。今思えばもっと積極的に分からないなりに話しておけば良かったと思います。受けていて良かったです。授業ではないですが、課外活動を沢山経験させて頂いていたことはすごく自分の糧になっていると感じる日々です。何事も真面目に取り組んだことで得た経験が社会に出て自分自身を守ってくれていると思います。
	キャリアデザイン論。
	消費者行動論。実生活でも講義の内容を思い出すこともあり、仕事上お客様へ提案する時も参考になることがあるから。
	英語の授業。仕事で毎日英語を使用するため。
助産別科	全部。
保育科	ピアノ。
	障害に関する授業。
	音楽。歌の授業。子どもは歌声を真似して音感をつけるため、保育士は正しい音程で歌う必要がある。
	遊びの学習。

〔8〕 更であればよかった授業の具体案

問 どのような授業があれば更によかったか具体案があればご記入ください。

どのような授業があれば更によかったか具体案について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【実習、ゼミ、インターンシップ、現場の仕事内容や交流について】 (回答者数:61人/142人[43.0%])

学科	自由回答
看護学科	もっともっと病院ですのような実践的なこと(採血、ルート確保の方法、挿管方法、点滴の作り方、ポンプの触り方など)。
	保育園実習。
	採血やルート確保の演習。一度きりの演習ではなく、何度も練習したい。
	もっとお互いに話し合う機会や看護技術を実践できる機会があれば良かったなあと思いました。
福祉学科	保護者や子どもたち(校種を問わず)への関わり方を実践形式で学べる授業だったり、また手話や点字など障害児教育などに結びつくような授業があればいいなと思いました。
	養護教諭としての実践をもっと積めるとよかったなと思います。病院実習も、高齢者が多く、小児看護等を実際に学びたかったです。
	職場見学のような、現場に入ってみる体験。
	もっと、社会で実際に働いている人の話しや経験を聴きたかったです。
観光文化学科	学科以外の就職先を検討している学生へのインターンシップ制度。
助産別科	エコーの実践教育の拡充。
保育科	働く保育士(中堅)の体験談や今後の保育に関する課題について意見を深める機会。少人数の学生に対して保育士1人で話しやすい環境が必要。
	保育現場に実際に行ける。

【ビジネス・マナー講座、書類の記入や制度・手続きの仕方について】

学科	自由回答
看護学科	社会人としてのマナー。
	患者と関わる際の声かけや言葉の選び方。就職直後から患者と関わるため。
栄養学科	ビジネスマナーやビジネス英語等。
	ビジネスマナー、ルール。
	電話対応や目上の方との話し方など社会に出ると誰も教えてくれないこと。
英語学科	ビジネスマナーを、もっと具体的に、現代的に教えてくれる授業。例えば目上の人に対するLINEの打ち方や、目上の人とお酒を飲む際のマナー、謝罪に行く際の手土産等マナーなど。社会に出てから知らずに困ったことが多々ありました。
観光文化学科	ビジネスマナーでの実用的な実践。例えばメールの返し方や電話の返答の仕方など。
保育科	ビジネスマナー。

【パソコンについて】

学科	自由回答
看護学科	ICTやデータ処理の講座。
栄養学科	ICTの活用。
英語学科	PC資格取得の授業(excel.word)等。

第1章 卒業生アンケート

観光文化学科	PC関係の授業ありましたが、もっと力をいれてくださればさらに良いと思いました！ 社会人になってPCスキルが強ければ有利だと思います。 もっとエクセルの使い方などPCを使う授業があればよかったと思う。パワポの作成が苦手、エクセルがうまく使えないため。
--------	--

【語学について】

学科	自由回答
英語学科	英語学科でいえば、もっとスピーキング力をつける授業があると良かったと思います。スピーキング力とライティング力が弱く、就職してからも足りないと思う節があるので、大学の時にもっと頑張りたいです。
観光文化学科	英会話力向上に特化した講義。 英語(中国語、韓国語)のスピーキング、会話の授業が増えるといいと思います。教科書をリーディングするだけで終わらず、もっと自分の言葉を使って話す授業があると会社に入って役に立つと思います。
助産別科	英会話の授業。

【専門的な授業について】

学科	自由回答
看護学科	教員採用試験の対策授業。教職教養全般ではなく、頻出の場所を知れると、現役でも勉強しやすかったと思う。専門も同じく。 医療機器についての授業、人工呼吸器患者の看護について。 疾患について学ぶ機会は多かったが、先輩看護師にその患者さんについて要約して報告する授業があれば更にいいと思う。 一年生の時に清拭の授業が長くあった記憶がありますが、基本は大切だとは思いますが臨床では必要ないので不要だと思います。三、四年目にあった注射の穿刺の模擬授業？、輸液ポンプシリンジの操作方法は一回だけだったので3回くらいは触る機会があった方がよかったかと思いました。車椅子移乗はたくさんありましたが、ストレッチャー移乗も必要な気がします。 急性期の授業でドレーンの勉強をしたことが現場で役立ったため、その他で現場で扱うことになりそうな人工呼吸器などに関する内容の授業もしてほしいと感じている。
福祉学科	教育現場での事案解決授業。
栄養学科	管理栄養士課程で、献立作成についてもう少しわかりやすく掘り下げてもらえると助かります。(あまりくわしく説明されないまま作ってはダメ出し、みたいな感じだったので・・・)。
英語学科	精神面を強くするための心理学などの授業の種類が多いといいなと思った。 マネーリテラシーをもう少し身につけておきたかったです。FPの資格も卒業後に独学で取ったので、大学でも金融系の知識をつけられる講座があると魅力的だったかなと思います。
観光文化学科	資格取得の授業。

【その他】

学科	自由回答
看護学科	授業ではないですが、もっと使える教科書を採用してほしい。病気がみえるは国家試験時や仕事に就いてからも使うことが多い。どうせたくさん買うくらいなら、長く使えるものにしてもらった方がありがたいと思った。
	働いていても勉強する時間があるので、それよりも前に踏み出す行動力やコミュニティ能力をつけられる授業があれば嬉しかったかなと思います。
	コミュニケーション能力を高められるようなグループワーク。
	自己管理能力、自己肯定感を高められるような内容→働きはじめて忙しさやつらさから心身のバランスを崩しやすいため。
	病棟で働くことを意識(イメージ)した講義がもっとあれば就職のときに活かされたと思う。
	4年生の時に、面接練習で北九州の小学校の校長先生に直接ご指導していただいたこと。とても実践的だった。1対1だったのでゆっくりじっくり話もできました。
福祉学科	学習したものをアウトプットをする場。 他の施設等との合同で何か開発。考えて行動し実現するという成功体験をする場。
	プレゼン。
	必修科目に英語は不要だったと思う。
栄養学科	もっと自分たちで問題解決するような授業があるといいかと思いました。 店舗で働いていると様々な方と接する機会がありますが、コミュニケーション能力、判断力が重要でクライアントとの関係の構築、職場環境の改善、前に進むための力になるからです。上記ができない人との仕事はかなり厳しいです。
	満足。
	開発力。
	女子大なので、女性に必要な就職、退職、転職について(制度の紹介など)。
英語学科	クラスみんなで協力する。
	今は思いつきません。
観光文化学科	観光文化は研修等があまりなかったのもっと観光に関わる研修をしてほしかった。
	就職の際のメンタルケア授業。 個別に時間を取った自己分析に特化した授業。 学科こだわらずさまざまな分野の卒業生の講話。
	観光文化学科の授業の多くは、正直に社会に出て必要がないことばかりです。 役に立っているのは言語の授業ですが、インプットが多くアウトプットする機会がなかったので、その時だけの記憶で今は覚えてないこともあります。アウトプットをする機会があれば、もう少しだけ言語能力を高められたかなと感じています。
	グループディスカッション等、発表やコミュニケーションを図れる授業等があれば良いと思います。
保育科	サークルゲーム 集団遊び。
	モンテッソーリ教育の授業(外部の先生のお話を聞く、教具を見るだけでなく、もう少し具体的にあった方が良い)。

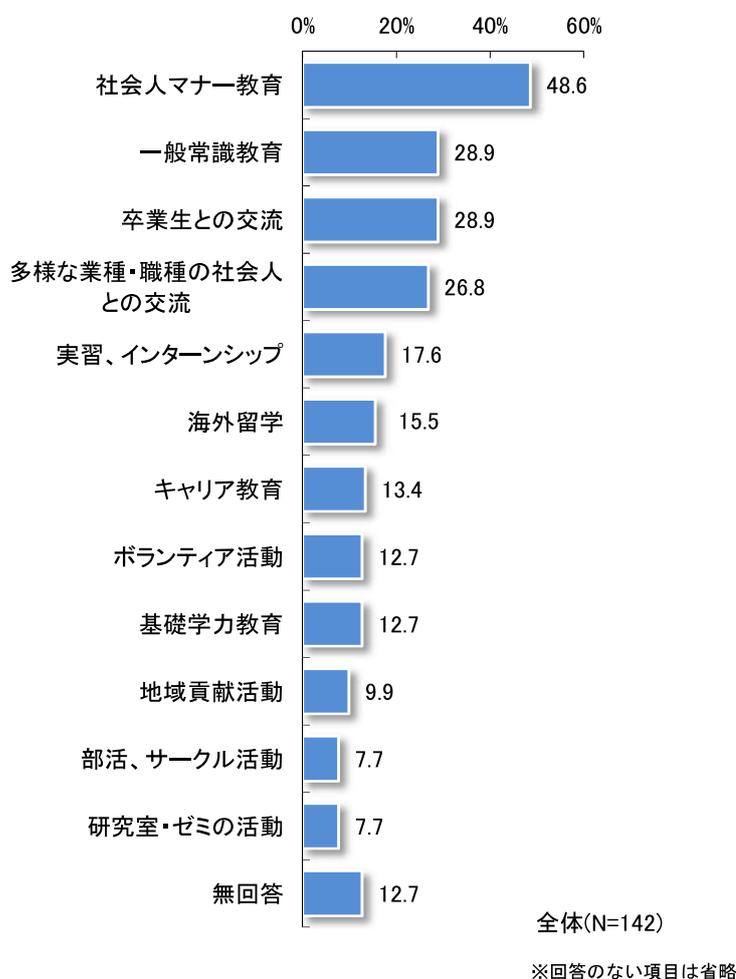
〔9〕大学の講義以外で希望する支援・経験

問 大学に対して講義以外でもっと支援してもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください（5つまで選択可）。
また、具体的な内容があればご記入ください。

大学に希望する支援・経験は、「社会人マナー教育」（48.6%）が最も多く、次いで「一般常識教育」、「卒業生との交流」（いずれも28.9%）、「多様な業種・職種の人との交流」（26.8%）となっている。

学科別にみると、看護学科では「卒業生との交流」、福祉学科では「ボランティア活動」、「地域貢献活動」、英語学科では「海外留学」、「キャリア教育」を希望する人がそれぞれ他学科に比べ多くなっている。

【大学の講義以外で希望する支援・経験】



【学科別 大学の講義以外で希望する支援・経験 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	社会人 マナー 教育	一般 常識 教育	卒業 生と の交 流	多 様 な 業 種 ・ 職 種 の 社 会 人 と の 交 流	実 習 、 イ ン タ ー ン シ ツ プ	海 外 留 学	キ ャ リ ア 教 育
全体	142	48.6	28.9	28.9	26.8	17.6	15.5	13.4
看護学科	33	48.5	21.2	39.4	24.2	21.2	6.1	15.2
福祉学科	24	54.2	29.2	37.5	29.2	20.8	12.5	12.5
栄養学科	24	50.0	37.5	12.5	33.3	8.3	12.5	16.7
英語学科	19	42.1	15.8	21.1	26.3	21.1	36.8	26.3
観光文化学科	21	52.4	42.9	23.8	23.8	28.6	23.8	9.5
助産別科	4	25.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-
保育科	17	47.1	29.4	35.3	23.5	5.9	5.9	-

【学科別 大学の講義以外で希望する支援・経験 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	基 礎 学 力 教 育	地 域 貢 献 活 動	部 活 、 サ ー ク ル 活 動	研 究 室 ・ ゼ ミ の 活 動	無 回 答
全体	142	12.7	12.7	9.9	7.7	7.7	12.7
看護学科	33	6.1	9.1	3.0	3.0	9.1	6.1
福祉学科	24	25.0	12.5	29.2	12.5	-	8.3
栄養学科	24	12.5	12.5	4.2	8.3	8.3	16.7
英語学科	19	10.5	10.5	5.3	5.3	10.5	15.8
観光文化学科	21	14.3	19.0	9.5	9.5	4.8	14.3
助産別科	4	-	-	25.0	-	-	50.0
保育科	17	11.8	17.6	5.9	11.8	17.6	11.8

第1章 卒業生アンケート

大学の講義以外で希望する支援・経験の具体的な内容について自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

(回答者数: 15人/142人[10.6%])

学科	自由回答
看護学科	マナー教育としては、電話対応の仕方が1番就職して困りました。若いから、電話の近くに席が出来て、鳴ったら取るけど対応の仕方がわからず、周りの人に聞いたのを覚えています。
	保健師の卒業生の先輩と交流する機会があり、とてもよかったので看護師の卒業生の先輩と交流する機会があっても良いと思った。
	看護師免許をもっていると、一般病棟のNSとしてだけでなく、どのような道を選択することができるかなど。
	一般常識やビジネスマナーについて。
	4年生の時に、面接練習で北九州の小学校の校長先生に直接ご指導していただいたこと。とても実践的だった。1対1だったのでゆっくりじっくり話もできました。こういう支援があると嬉しいです！
福祉学科	社会人としてのマナー。
	養護教諭は正規採用が少ないですが、臨任で働いている先輩方もいると聞きます。臨任で勤務している方の話(苦労していることや臨任でよかったことなど)や、養護教諭を諦めた人がどういう職業についているかなど先輩方のお話をお聞きする機会などあればいいなと思いました。
	就職支援。
栄養学科	3キャリア教育、9多様な業種・職種の社会人との交流 学科特有のキャリアだけでなく、栄養学科を卒業したが、別の職種で働いている方の紹介等。転職、出産、子育てと仕事の両立、キャリア変更について。
英語学科	パソコンスキル。
	お金や経済にまつわる内容。
観光文化学科	振り返っても不満はないです。 環境も良くて、体制も整ってるので、あとは自分のやる気次第だと思います！
	参加者募集制ではなく、授業等の強制力がある形で実施してほしかったです。
保育科	保育園で働く保育士だけでなく、小規模保育や病児保育、新たな保育形態についても知れる機会があれば、視野が広がる。
	パソコン(Excel)。

〔10〕 大学に対する意見・要望（自由意見）

問 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【大学への感謝について】

（回答者数:21人/142人[14.8%]）

学科	自由回答
看護学科	卒業後もフォローありがとうございます。
	コロナ禍で大変なことが多いと思いますが、先生方、生徒のみなさんのご活躍をお祈りしています。
	4年間お世話になりました。
	大学で学んだこと全てが今に活かされていると思います。
福祉学科	ありがとうございました！
英語学科	素晴らしい学校で、私自身かなり成長できた場所なので、教え子にも毎年お勧めしています。
	とても充実した学校生活が送れました。
	益々の発展をお祈りしております。
	英語学科に関しては、ステキな先生方に指導してもらい、ゼミも少人数制で深く学べて満足しています。充実した4年間を過ごさせて頂きました！設備が少し古かったり、食堂が狭かったり在学中は気になる点もありましたが、今となってはいい思い出です。ありがとうございました！
観光文化学科	西南女学院で過ごした4年間はとても有意義で楽しい青春でした。一生の友達にも出会えました。ありがとうございました。
	学生時代を振り返ると色々な方に支えてもらって、すごくたくさんの経験をさせてもらったと感謝しています。学科の人数も少ない分、チャレンジさせてもらう回数も多く、沢山のチャンスを与えてもらいました。時には厳しく、時には優しく接していただいたお陰様でホテルで働くこともできています。これからも卒業生の名に恥じないように頑張りたいと思います。
	就職活動時は大変お世話になりました。 アンケートに答えながら、大学生時代がとても懐かしく感じました。 現職のホテルはとってもやりがいがあり、素敵な会社です。 ですが、現在は次のキャリアアップに向けて航空業界に転職活動中です。 良いご報告ができるよう、精一杯頑張ります。

【大学への要望】

学科	自由回答
看護学科	4年間で多くのことを学ぶことができました。養護教諭として働いていますが、毎日新しい悩み、嬉しさを生み出しています。でも、とてもやりがいのある仕事だと思えます。もっと、試験対策もして、現役で通るよう支援をしてあげてほしいです。そしていつか、同級生と集う時がきたら良いなと思えます。
	もう少し学生の気持ちや考えに寄り添って欲しいと思いました。看護学科にいても皆が大きな病院へ行くとは限りません。背中を押してくださる先生が増えることに期待しています。
	講師が他の講義を見学して、自分の講義を客観的に見つめ直す機会をつくれれば、資料を読むだけだったり、学生のほぼ全員が理解できていない状態でも一方的に講義が進むことも減るのではないかとと思うので、一度検討してほしい。
福祉学科	就職に対してもっと力を入れてほしい。就職に関することを一年次から学ぶ必要があると思えます。大きい学校ではないから就職先ぐらい把握出来ると思うし、卒業までに就職が決まっていな人々に支援する必要があると思えます。現在、様々な人と関わる中で就職支援に力を入れている大学、そうではない大学の差を感じました。
	大学生生活の4年間は私にとってとてもかけがえのない時間でした。しかしあつという間で、大学が行なっている私たち学生への支援？等をうまく活用できていなかった気がします。
栄養学科	西南生に限っていないとは思いますが、実習先でのマナーは社会人になってからとても役に立ちます。実習先に失礼のないよう、私達を指導して下さったときのようにお願いします。西南生のイメージはいいので崩してほしくないです。当たり前ですが、報連相を都度しっかりしていただければ後輩の育成がスムーズに行なえます。
保育科	責任感は大変だが、強調して伝えていくと自分を責める考えになる。精神疾患について学んだり、メンタルケアの方法を知らせてほしい。病んでいることに気づいていない若い保育士が多いと感じるため。

【その他】

学科	自由回答
看護学科	キリスト教が多い。
福祉学科	アンケートが長すぎます。

3. 調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、2021年度（令和3年度）に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）、2022年度（令和4年度）に実施した在学生に対する学生生活に関する実態調査（以降、「学生調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、卒業生アンケートの総括とする。

▶現在の仕事について

<就業状況、業種>

2020年3月卒業生の2022年12月時点の在職状況は、97.2%が就業中、未就業は2.8%となっており、卒業後2年9カ月経過時点で大半の卒業生が就業中となっている。

卒業生が勤務先で携わっている主な職種を学科別にみると、看護学科は「看護師」（84.8%）、福祉学科は「相談員」、「保育士」、「養護教諭」、（いずれも17.4%）、栄養学科は「管理栄養士」（36.4%）、英語学科、観光文化学科は「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」（英語学科：42.1%、観光文化学科：45.0%）、助産別科は「助産師」（75.0%）、保育科は「保育士」（64.7%）の割合が他学科に比べ高く、それぞれ学科の特性を活かした職種に就いている様子がうかがえる。

また、在学生に対して尋ねた学生調査と比較すると、将来進みたいキャリアとして、看護学科は「医療・看護系」、福祉学科は「学校・教育系」や「福祉・介護系」、栄養学科は「食・栄養系」、観光文化学科は「旅行・ホテル・ブライダル系」が高くなっており、学生時代の希望と実際の進路が一致していることから、概ね卒業生が希望の進路に進んでいることが分かる。

一方、転職の状況について、現在の勤務先が卒業時と変わっていない人が71.0%、転職した人が26.1%となっており、看護学科を除いた全ての学科で転職率が高くなっている。

また、「転職した」に着目して前回調査と比較すると、全体で15.7%から26.1%と10.4ポイント増加している。

【現在の勤務先を「転職した」の割合】

	全体	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	助産	保育
今回調査 (N=138)	26.1	9.1	34.8	40.9	36.8	30.0	25.0	11.8
前回調査 (N=153)	15.7	17.9	27.0	7.1	12.5	21.7	0.0	0.0

<雇用形態、勤務先の満足度>

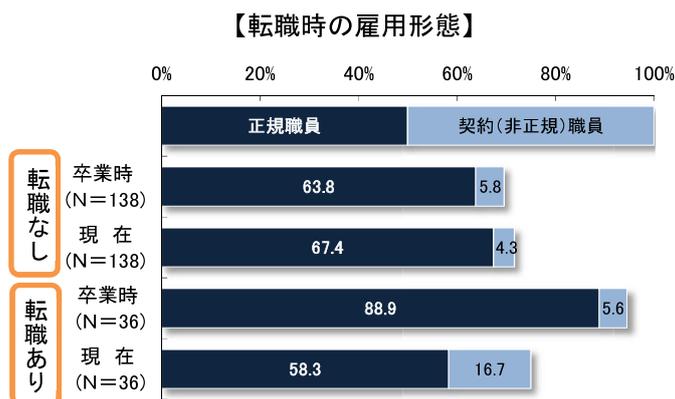
卒業時の雇用形態をみると、正規職員の割合が全体で63.8%である。福祉学科では39.1%と他学科に比べ正職率が低くなっており、卒業時から現在までに正規職員の割合の変化はない。

現在の勤務先の満足度をみると、全体で満足している人が40.6%と最も多く、次いでどちらでもない人は26.1%となっており、満足していない人（7.2%）を上回っている。学科別にみると、看護学科、英語学科、観光文化学科、助産別科、保育科の満足度は4～8割程を占めるのに対し、福祉学科では21.7%、栄養学科では31.8%と満足度にばらつきがあり、学科によって満足度に差がみられる。

＜転職＞

転職しなかった人は、卒業時から現在までに正規職員への登用がやや増加している（卒業時63.8%⇒現在67.4%）。

一方、転職した人は、卒業時よりも「正規職員」の割合が減少している。転職した人よりも、転職せずに継続して働いている人の方が正規職員の登用率が高く、この結果は前回調査でも同様の傾向を示している。



転職した理由について、少数ではあるが傾向をみると、前回調査の上位3つのうちすべてが今回調査でも上位に挙げられている。しかし、前回調査では「給与」、「休日」が入っているのに対し、今回調査では上位3位に入っていない。

転職理由は職種や職場環境によって大きく異なると想定されるが、「仕事内容」や「人間関係」、「社風・職場の雰囲気」などの職場環境や「将来性」といった職場の安定性を重視する人の多い様子が見える。

【転職した理由】

	今回調査 (N=36)	前回調査 (N=24)
1位	将来性 (38.9%)	仕事内容 (45.8%)
2位	仕事内容 社風・職場の雰囲気 (ともに 33.3%)	人間関係 社風・職場の雰囲気 (ともに 41.7%)
3位	人間関係 (30.6%)	給与 休日 将来性 (ともに 29.2%)

▶就職全般について

前回調査結果と同様に、大半の卒業生が正規職員で採用され、一定数の転職した卒業生はいるものの、就業状況や雇用形態、勤務先の満足度から、現在の職場には概ね満足している卒業生が4割以上おり、卒業時から転職せずに現在の職場で経験を積んでいる様子が見える。

在学生に対する学生調査の結果と関連付けてみると、看護学科、栄養学科、保育科については、在学中に希望した進路に実際に進んでいる卒業生が多いことを踏まえると、大学から就職までは比較的スムーズに移行できていると考えられる。

しかしながら、希望する進路が「決まっていない」の回答が英語学科や観光文化学科においては2割程と他学科より多く、在学中はいいものの、在学中に得た学習成果を就職先で活かすことができない、または当初希望していた職種に就けなかった、想像していた仕事内容でなかったなどのケースにおいては、転職希望も高い傾向が見える。

そうした意味で、入学時から卒業時まで、将来の進路をある程度明確に意識させること、また、仕事内容など卒業してから大きなギャップを感じないように、職場環境や仕事内容を具体的にイメージできるように在学中からの進路支援も必要であると考えられる。

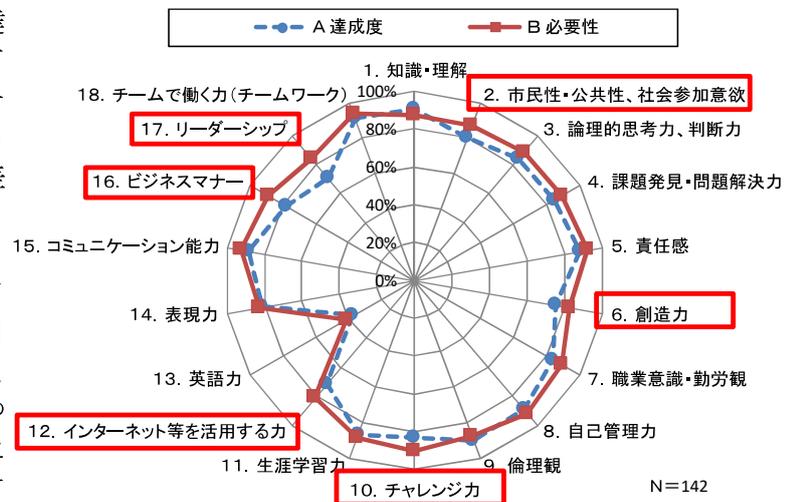
また、転職したと回答した卒業生は前回調査(15.7%)から今回調査(26.1%)では増加しており、転職理由を踏まえるとより安定した職場での勤務を望む人が増えたと考えられる。

▶大学・短期大学部で受けた教育について【大学・短期大学部での達成度と仕事上における必要性】

＜達成度と必要性＞

大学・短期大学部で得た力やスキルを【達成度】（「身につけている」+「ほぼ身につけている」）、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「役に立つ」+「やや役に立つ」）として分析した。なお、達成度と必要性の差が大きい上位6項目には枠を付けている。

達成度は、「18. チームで働く力（チームワーク）」「1. 知識・理解」、「9. 倫理観」、「8. 自己管理能力」、「15. コミュニケーション能力」、「5. 責任感」の順に高く、これらの項目については必要性より達成度の方が高いか、または差が小さく、大学・短期大学部で身につけた力が仕事上において大いに役立っていると考えられる。



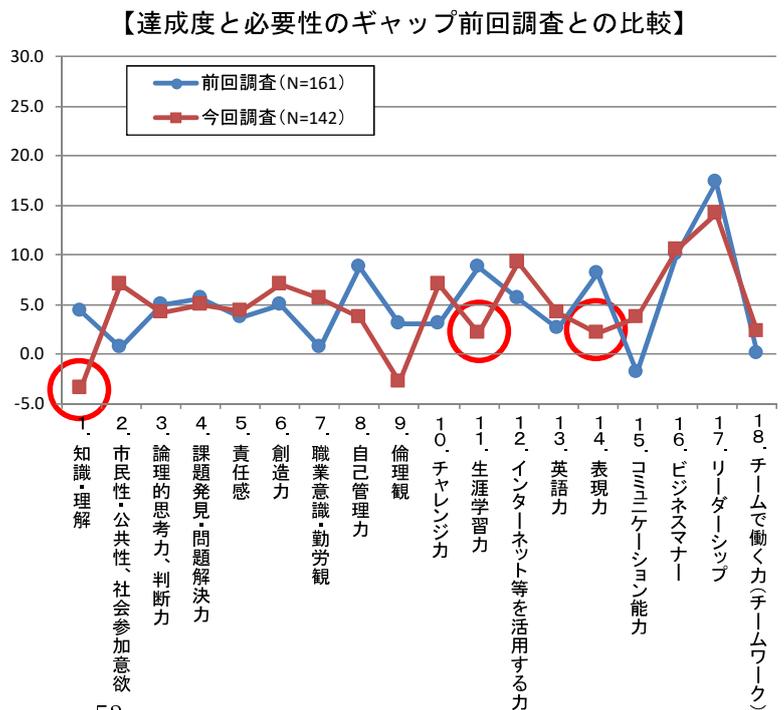
一方、必要性が高いのに対し、達成度が低い項目は「17. リーダーシップ」で 14.1 ポイント必要性の方が高く、最も差が大きい。また、「16. ビジネスマナー」、「12. インターネット等を活用する力」、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「6. 創造力」、「10. チャレンジ力」も差が見受けられ、社会に出てから必要となる「16. ビジネスマナー」を除くと、主体性が求められる分野や ICT に関する分野の達成度が低いと感じている卒業生が多い。

学科別に達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）をみると、看護学科、栄養学科、観光文化学科では「17. リーダーシップ」、福祉学科では「4. 課題発見・問題解決力」、英語学科では「12. コンピュータやインターネットを活用する力」、助産別科では「13. 英語力」、「14. 表現力」、「16. ビジネスマナー」、保育科では「6. 創造力」でギャップが大きい。

＜達成度と必要性のギャップ（前回調査との比較）＞

達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）について前回調査と比較を行った。

項目によってバラツキがあるが、特にギャップが小さくなっているのは、「1. 知識・理解」（7.8 ポイント差）、「11. 生涯学習力」（6.6 ポイント差）、「14. 表現力」（6.0 ポイント差）である。



<能力やスキルを身につけるために役立ったこと>

能力やスキルを身につけるにあたり、多くの卒業生が大学での講義が役立ったと回答している。特に「1. 知識・理解」、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」については大学での講義を挙げる人が多く70%を超えている。

一方、「5. 責任感」、「7. 職業意識・勤労観」については実習、インターンシップで役立ったと感じている。このように、大学の講義だけでなく、研究室、ゼミ活動や実習、インターンシップなどを通じて必要な能力やスキルを習得している様子が見えてくる。

また、社会で必要とされる能力やスキルに対し、卒業生が特に達成度が低いと感じている「インターネット等を活用する力」、「ビジネスマナー」、「リーダーシップ」については、大学での講義や研究室、ゼミ活動での習得率が高いため、今後はこうした社会で必要とされる能力やスキルの習得を意識した在学中からの指導が必要だと言える。

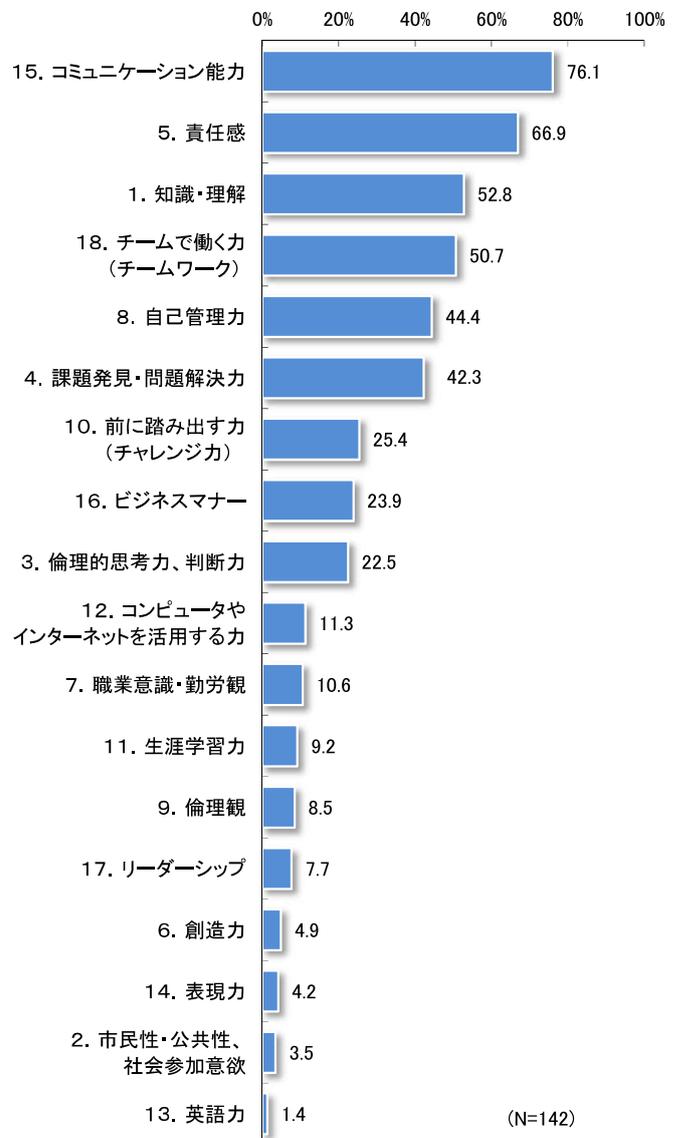
<仕事をする上で重要だと思う事>

仕事をする上で重要だと思う事については、「15. コミュニケーション能力」や「5. 責任感」、「1. 知識・理解」が上位に挙げられた。

これは、大学・短期大学部で身につけた力やスキルにおける達成度が高い項目とも一致しており、大学・短期大学部で学んだことや経験したことが仕事をする上でも役立っていると考えられる。

また、前回調査においても概ね同様の結果となっており、「15. コミュニケーション能力」と「5. 責任感」、「1. 知識・理解」は業種や職種に関わらず仕事をする上で特に重要視されていることが分かる。

【仕事をする上で重要だと思う事】



※回答のなかった項目は省略

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

1. 調査の概要

調査対象者	2022年3月卒業生 就職受け入れ事業所
調査方法	郵送配布・回収、FAX回収
回収数	162事業所
調査時期	2022年12月14日～2023年3月14日
回収率	下表の通り

	依頼事業所数	回答事業所数	回収率
看護学科	48	16	33.3% (40.4%)
福祉学科	65	31	47.7% (43.1%)
栄養学科	70	31	44.3% (50.0%)
英語学科	37	14	37.8% (42.9%)
観光文化学科	53	28	52.8% (47.1%)
助産別科	19	2	10.5% (60.0%)
全体	292	122	41.8% (45.6%)

()内の前年度回収率

	依頼事業所数	回答事業所数	回収率
保育科	62	40	64.5% (59.6%)
全体	62	40	64.5% (59.6%)

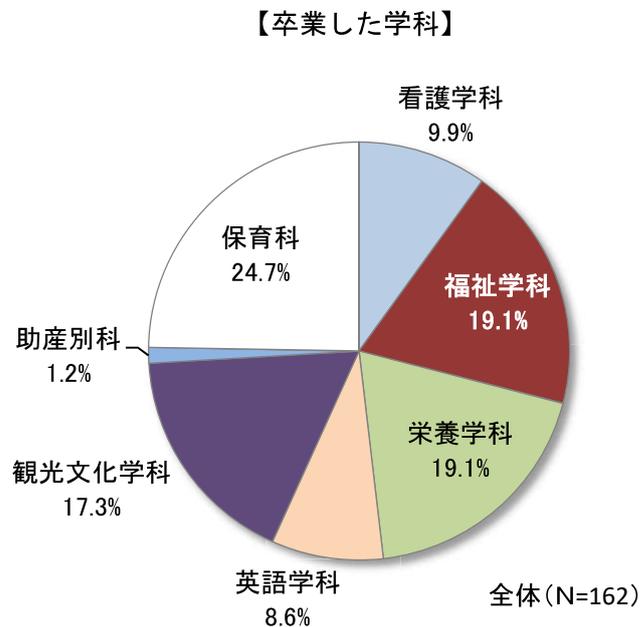
()内の前年度回収率

【調査結果の見方】

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。
- 報告書中の図表では一部、回答のなかった項目を省略している。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。

2. 調査結果

〔1〕回答者について



〔2〕仕事に必要な能力

① 必要性和達成度（全体）

問 下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。

就職受け入れ先からみた、現在の仕事においてのスキルや能力について、全体的にほとんどの項目は『必要である』（必要である＋やや必要である）とされており、なかでも「5. 責任感」（98.1%）、「4. 課題発見・問題解決力」、「9. 倫理観」、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」、「15. コミュニケーション能力」、「16. ビジネスマナー」、「18. チームで働く力（チームワーク）」（いずれも97.5%）、「3. 論理的思考力、判断力」、「7. 職業意識・勤労観」、「8. 自己管理能力」（いずれも96.9%）、「6. 創造力」（96.3%）が96%を超え上位に挙げられている。また、「必要である」の割合に着目した場合、「15. コミュニケーション能力」（93.8%）や「5. 責任感」（92.6%）が特に必要視されている様子が見える。

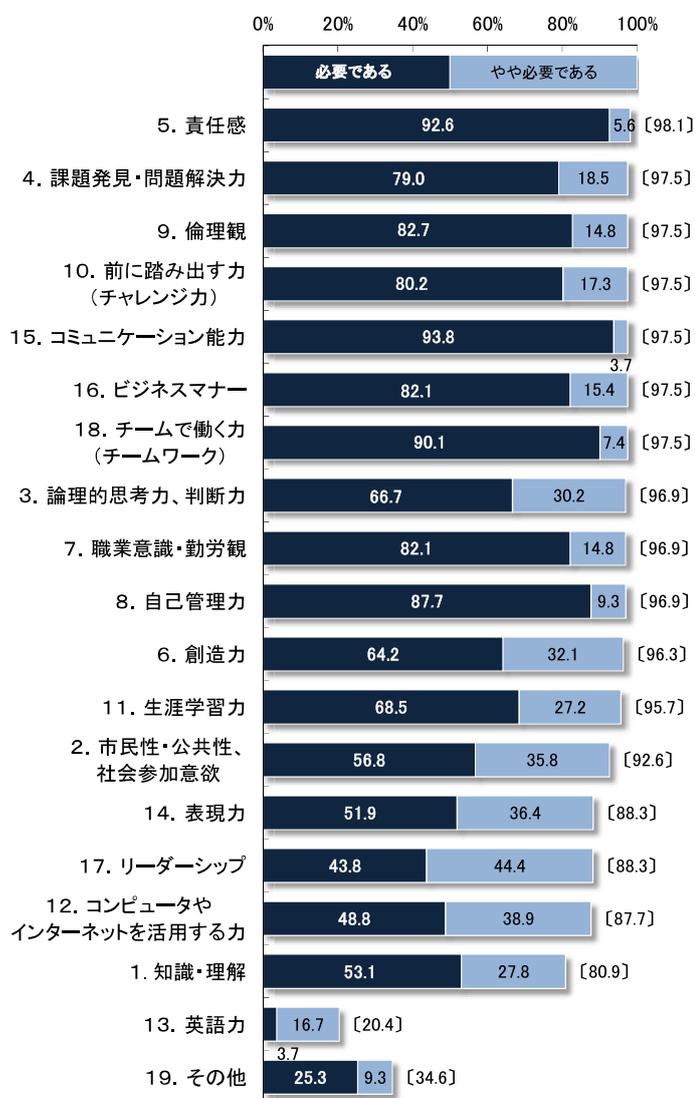
一方、卒業生が力やスキルを『身につけている』（身につけている＋ほぼ身につけている）と評価されている項目をみると、「9. 倫理観」（82.7%）が最も多く、次いで「5. 責任感」（82.1%）、「8. 自己管理能力」（78.4%）である。しかし、求められる能力に対し、卒業生の達成度は総じて低い傾向にある。

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【仕事に必要な能力】

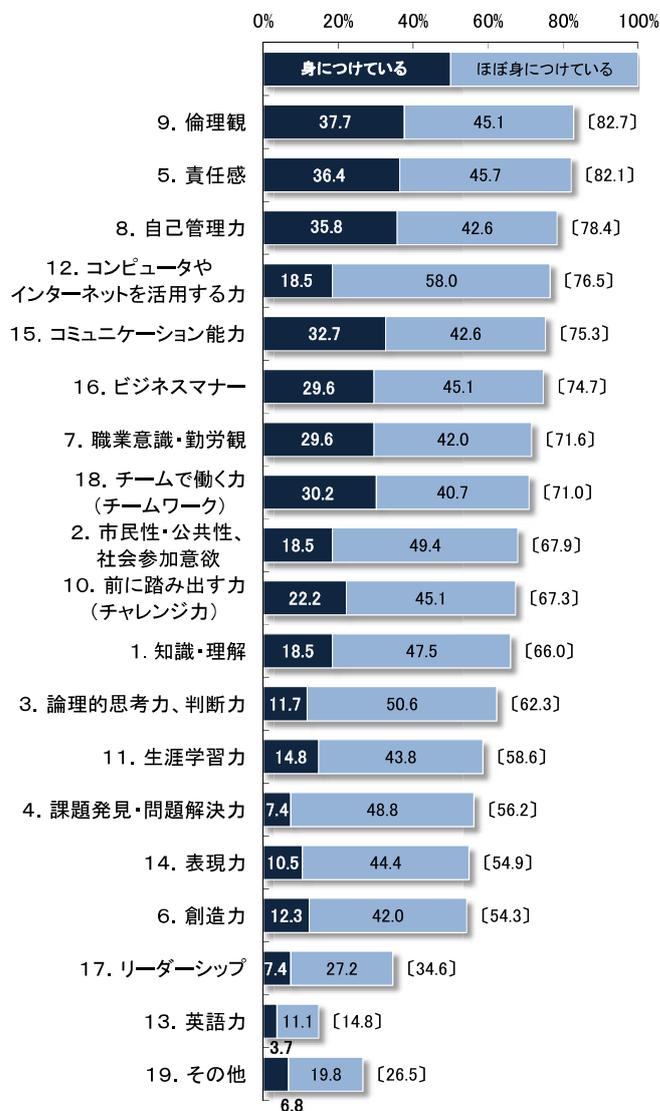
必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
(各項目ともN=162)



達成度

西南女学院大学卒業生の力やスキル
(各項目ともN=162)



注1) 必要性の選択肢は「必要である」、「やや必要である」、「あまり必要でない」、「必要でない」の4段階。

注2) 必要性の〔 〕は「必要である」+「やや必要である」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

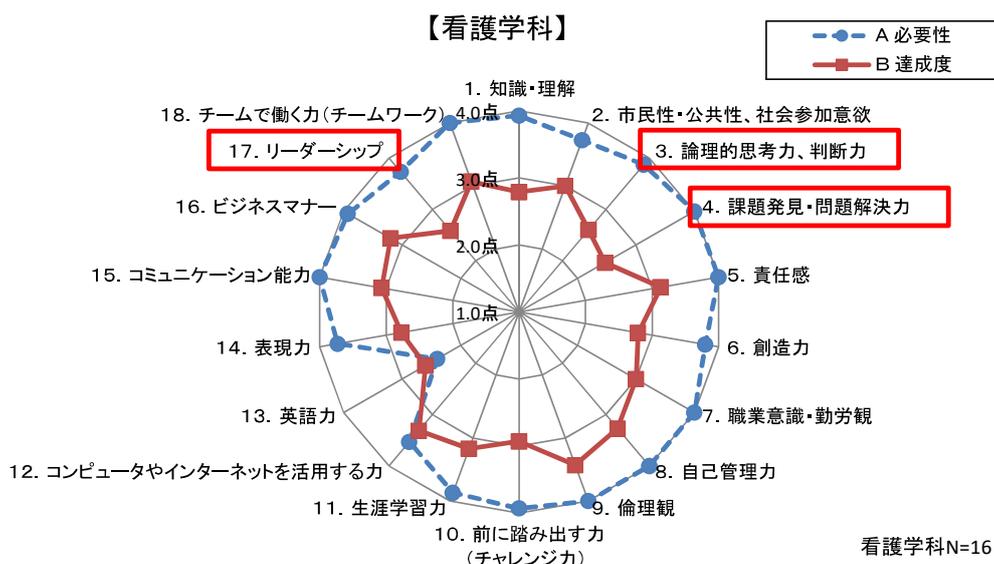
注3) 達成感の選択肢は「身につけている」、「ほぼ身につけている」、「あまり身につけていない」、「身につけていない」、「わからない」の5段階。

注4) 達成感の〔 〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

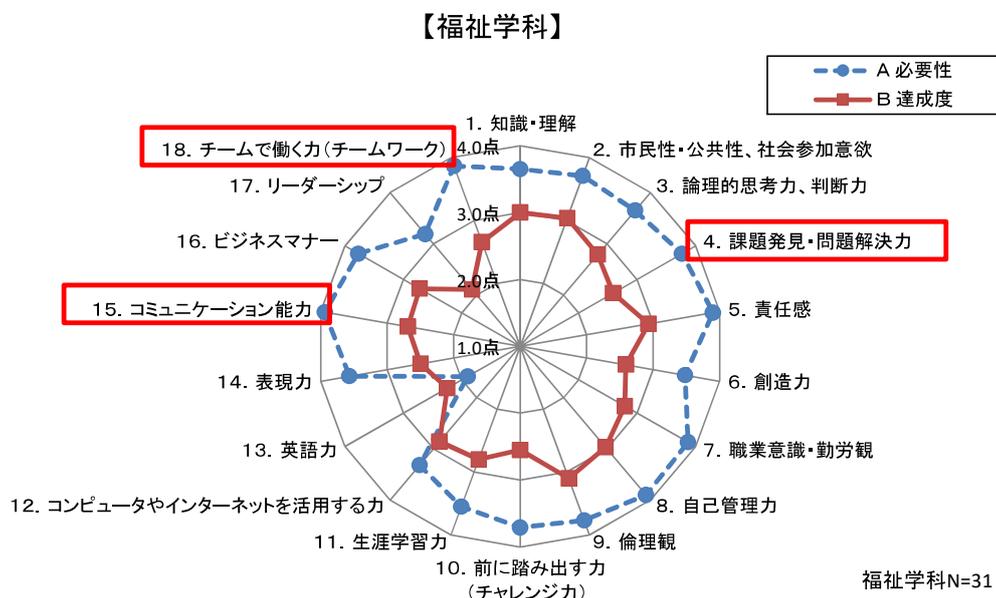
② 必要性と達成度（学科別）

必要性と達成度について、「必要である」、「身につけている」=4点、「やや必要である」、「ほぼ身につけている」=3点、「あまり必要でない」、「あまり身につけていない」=2点、「必要でない」、「身につけていない」=1点として配点し、必要性と達成度の各項目の平均点を算出した。必要性と達成度を比較し、仕事に必要な能力がどの程度達成されているのかの確認を行った。達成度と必要性の差が大きい上位3項目には枠を付けている。

看護学科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも1.53ポイント高くなっており、次いで、「3. 論理的思考力、判断力」が1.27ポイント、「17. リーダーシップ」が1.15ポイント高くなっている。

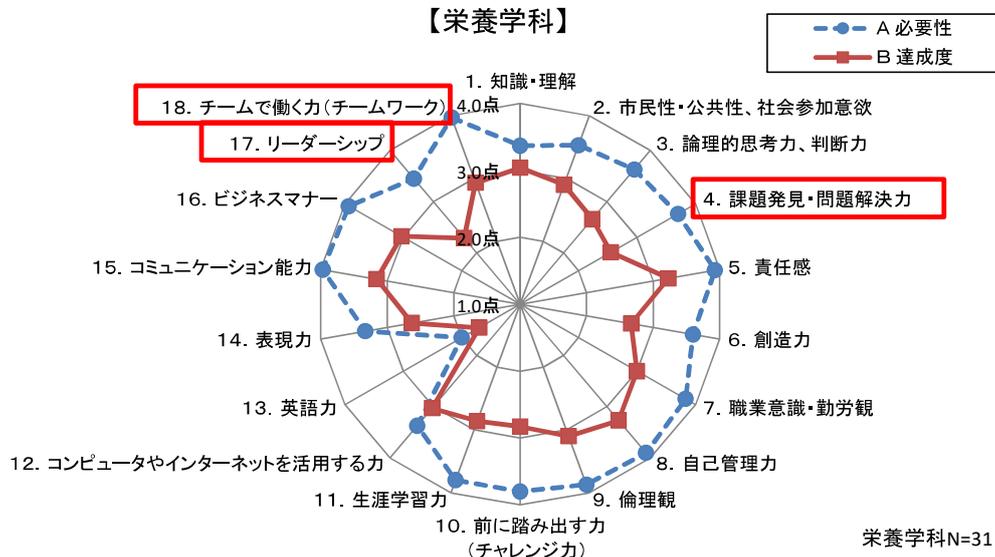


福祉学科では、「15. コミュニケーション能力」の必要性が達成度よりも1.25ポイント高くなっており、次いで、「18. チームで働く力 (チームワーク)」が1.21ポイント、「4. 課題発見・問題解決力」が1.18ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも0.35ポイント高くなっていることから「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。

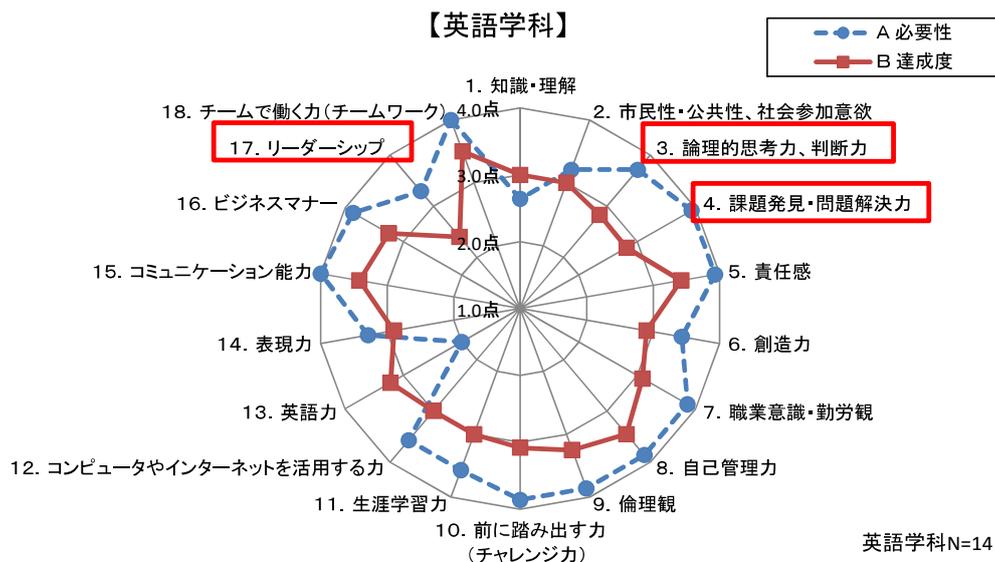


第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

栄養学科では、「17. リーダーシップ」で必要性が達成度よりも 1.16 ポイント高くなっている。次いで、「4. 課題発見・問題解決力」が 1.15 ポイント、「18. チームで働く力（チームワーク）」が 1.04 ポイント高くなっている。

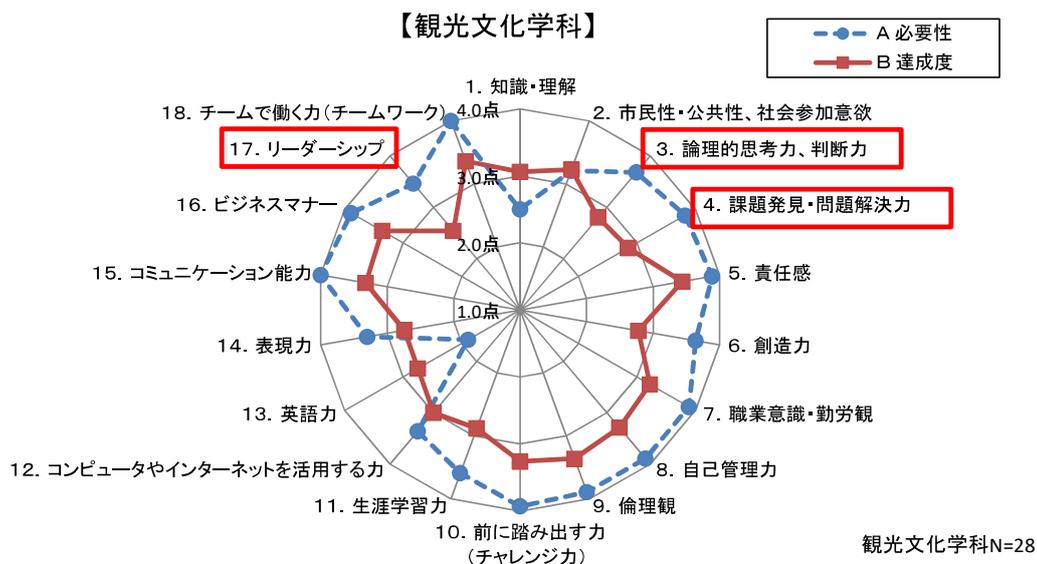


英語学科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも 1.11 ポイント高くなっており、次いで、「17. リーダーシップ」が 0.89 ポイント、「3. 論理的思考力、判断力」が 0.88 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも 1.22 ポイント、「1. 知識・理解」は 0.36 ポイント高くなっていることから「13. 英語力」と「1. 知識・理解」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。

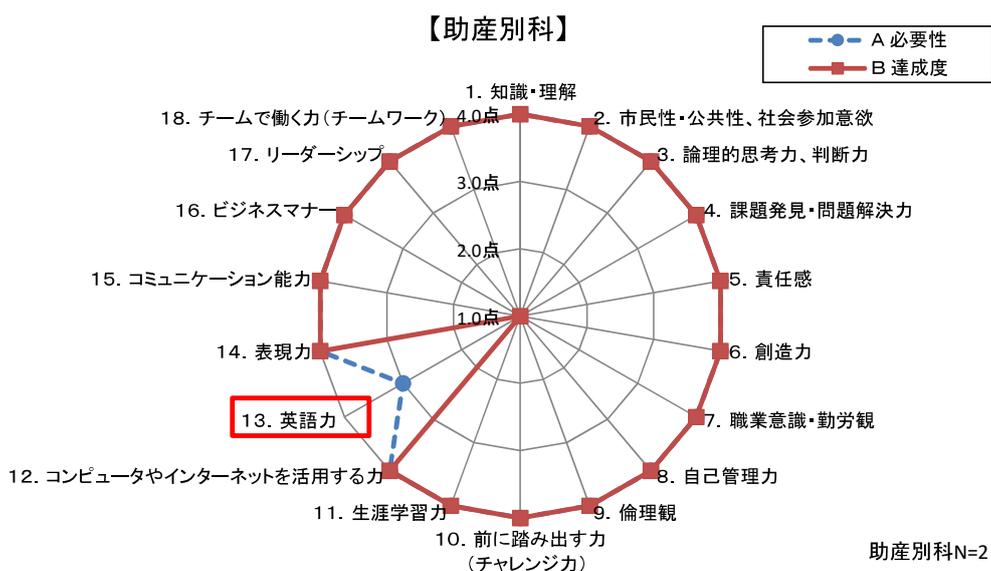


第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

観光文化学科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも 0.97 ポイント高くなっており、次いで、「17. リーダーシップ」が 0.92 ポイント、「3. 論理的思考力、判断力」が 0.88 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも 0.86 ポイント、「1. 知識・理解」が 0.56 ポイント、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」が 0.02 ポイント高くなっていることから「13. 英語力」と「1. 知識・理解」、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。

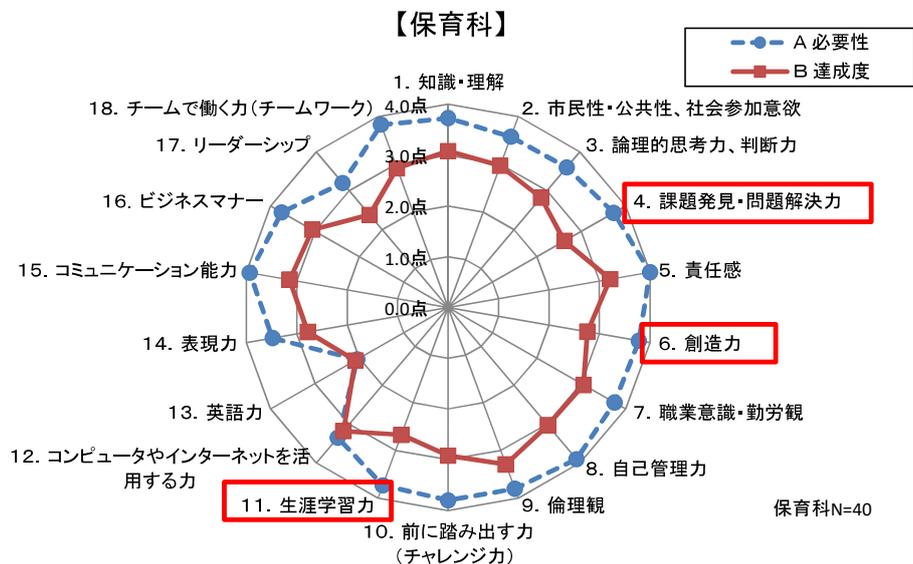


助産別科では回答が少数のため、傾向をみる程度にとどめるが、「13. 英語力」以外の項目において必要性、達成度ともに等しくなっている。また、「13. 英語力」では必要性が達成度よりも 2.0 ポイント高くなっている。



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

保育科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも1.11ポイント高くなっており、次いで、「11. 生涯学習力」が1.06ポイント、「6. 創造力」が1.02ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも0.04ポイント高くなっていることから「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。



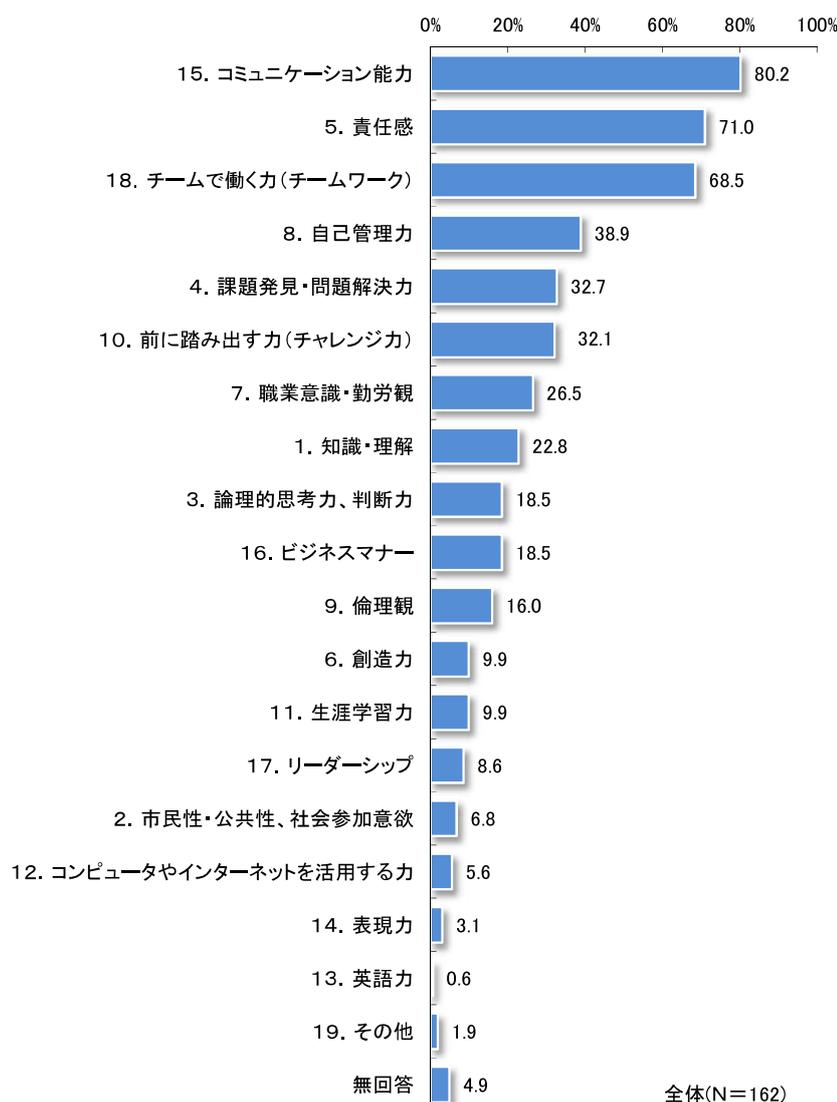
③ 採用の際に重要視する能力

問 採用の際、重要視する能力上位5つに○をつけてください。

採用の際、重要視する能力は、「15. コミュニケーション能力」(80.2%)が最も多く、次いで、「5. 責任感」(71.0%)、「18. チームで働く力(チームワーク)」(68.5%)が6割以上で高くなっている。

また、学科別にみると最も重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「15. コミュニケーション能力」、「5. 責任感」、「18. チームで働く力(チームワーク)」の有無が重要とされていることがわかる。それ以外の項目では、看護学科では「1. 知識・理解」、「8. 自己管理能力」、「9. 倫理観」、福祉学科では「7. 職業意識・勤労観」、英語学科では「4. 課題発見・問題解決力」、「10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)」、「16. ビジネスマナー」、観光文化学科では「10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)」、「17. リーダーシップ」、保育科では「7. 職業意識・勤労観」、「8. 自己管理能力」が、他学科と比べて高くなっている。

【採用の際に重要視する能力】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 採用の際に重要視する能力 (1/2)】 (%)

全体 (人)	15 コミュニケーション能力	5 責任感	18 (チームワーク) チームで働く力	8 自己管理能力	4 課題発見・問題解決力	10 (チャレンジ力) 前に踏み出す力	7 職業意識・勤労観	1 知識・理解	3 論理的思考力、判断力	16 ビジネスマナー	
全体	162	80.2	71.0	68.5	38.9	32.7	32.1	26.5	22.8	18.5	18.5
看護学科	16	68.8	75.0	81.3	62.5	18.8	12.5	18.8	43.8	18.8	12.5
福祉学科	31	83.9	67.7	64.5	32.3	29.0	22.6	35.5	32.3	22.6	19.4
栄養学科	31	74.2	74.2	61.3	35.5	38.7	29.0	25.8	19.4	12.9	32.3
英語学科	14	85.7	57.1	78.6	21.4	57.1	57.1	21.4	-	35.7	42.9
観光文化学科	28	82.1	57.1	64.3	28.6	35.7	57.1	17.9	-	17.9	14.3
助産別科	2	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-
保育科	40	85.0	85.0	72.5	52.5	25.0	25.0	32.5	35.0	15.0	5.0

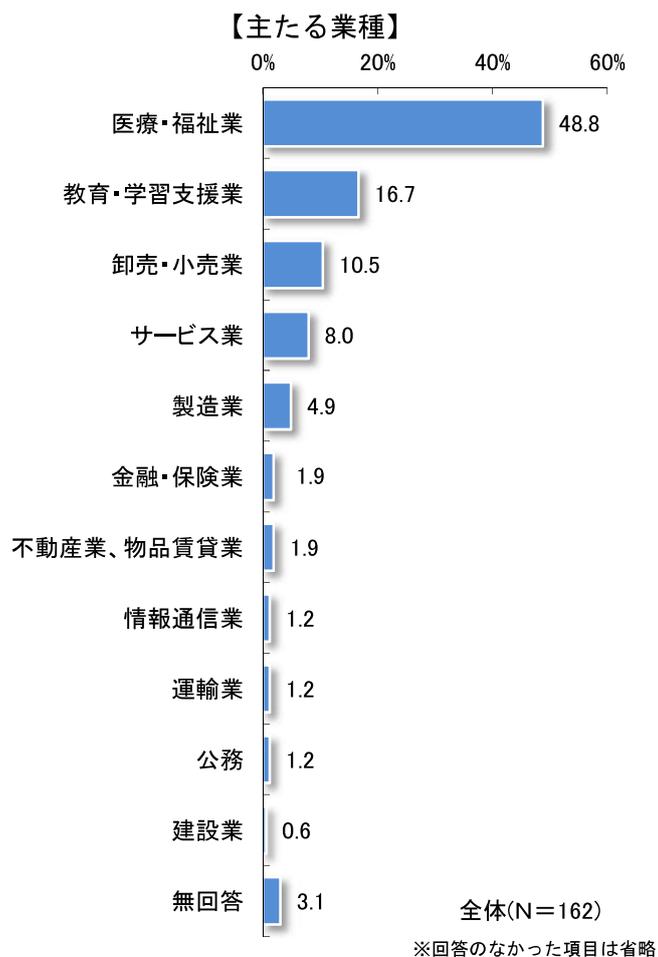
【学科別 採用の際に重要視する能力 (2/2)】 (%)

全体 (人)	9 倫理観	6 創造力	11 生涯学習力	17 リーダーシップ	2 社会参加意欲	12 市民性・公共性、社会参加意欲	1 インターネットを活用する能力	14 表現力	13 英語力	19 その他	無回答
全体	162	16.0	9.9	9.9	8.6	6.8	5.6	3.1	0.6	1.9	4.9
看護学科	16	43.8	6.3	-	-	-	-	6.3	-	-	6.3
福祉学科	31	22.6	3.2	16.1	3.2	12.9	3.2	3.2	-	-	3.2
栄養学科	31	16.1	12.9	9.7	6.5	6.5	9.7	3.2	-	-	6.5
英語学科	14	-	-	-	14.3	7.1	14.3	-	7.1	-	-
観光文化学科	28	-	14.3	10.7	28.6	3.6	3.6	3.6	-	-	10.7
助産別科	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
保育科	40	15.0	15.0	12.5	2.5	7.5	5.0	2.5	-	7.5	-

〔3〕事業所の概要

問 主たる業種に○をつけてください。

事業所の主たる業種は「医療・福祉業」(48.8%)が最も多く、次いで「教育・学習支援業」(16.7%)、「卸売・小売業」(10.5%)となっている。



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 主たる業種 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	医療・ 福祉業	教育・ 学習支援業	卸売・ 小売業	サー ビス業	製 造業	金 融・ 保 険業
全 体	162	48.8	16.7	10.5	8.0	4.9	1.9
看護学科	16	68.8	12.5	-	12.5	-	-
福祉学科	31	64.5	25.8	3.2	3.2	-	-
栄養学科	31	54.8	6.5	9.7	9.7	3.2	-
英語学科	14	28.6	7.1	21.4	-	14.3	7.1
観光文化学科	28	-	3.6	35.7	25.0	17.9	7.1
助産別科	2	50.0	-	-	-	-	-
保育科	40	65.0	32.5	-	-	-	-

【学科別 主たる業種 (2/2)】 (%)

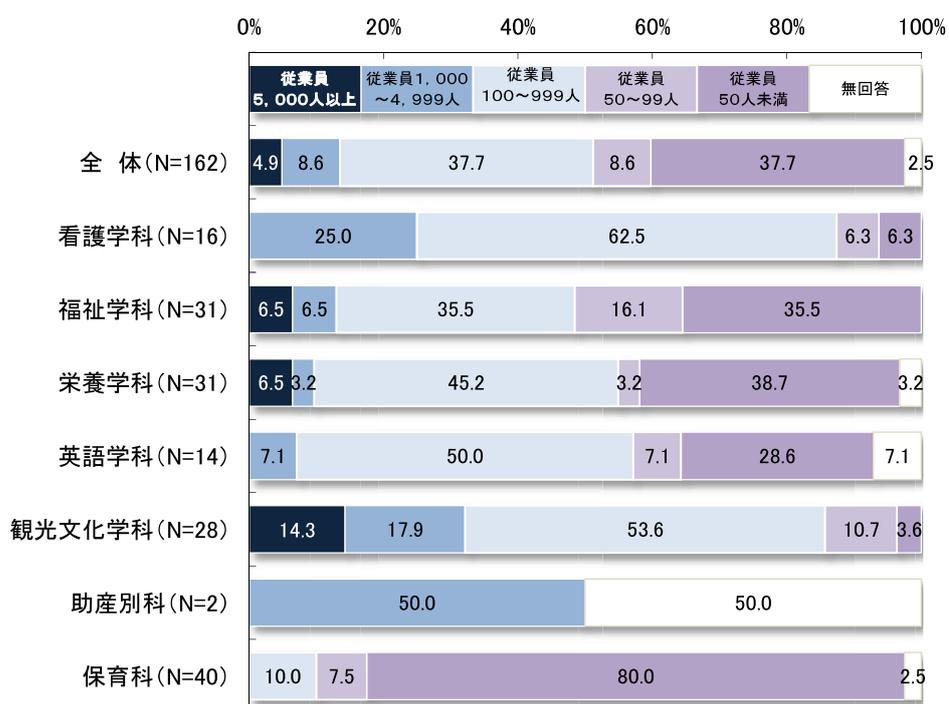
	全体 (人)	不 動 産 業、 物 品 賃 貸 業	情 報 通 信 業	運 輸 業	公 務	建 設 業	無 回 答
全 体	162	1.9	1.2	1.2	1.2	0.6	3.1
看護学科	16	-	-	-	6.3	-	-
福祉学科	31	-	-	-	3.2	-	-
栄養学科	31	-	-	3.2	-	3.2	9.7
英語学科	14	7.1	14.3	-	-	-	-
観光文化学科	28	7.1	-	3.6	-	-	-
助産別科	2	-	-	-	-	-	50.0
保育科	40	-	-	-	-	-	2.5

問 従業員数に○をつけてください。

従業員数は、就職先全体では「従業員 100～999 人」、「従業員 50 人未満」（いずれも 37.7%）が最も多く、次いで、「従業員 1,000～4,999 人」、「従業員 50～99 人」（いずれも 8.6%）、「従業員 5,000 人以上」（4.9%）となっている。

学科別の従業員数をみると、他と比べて「従業員 5,000 人以上」では観光文化学科（14.3%）が高く、「従業員 50 人未満」では、保育科（80.0%）が高くなっている。

【従業員数】



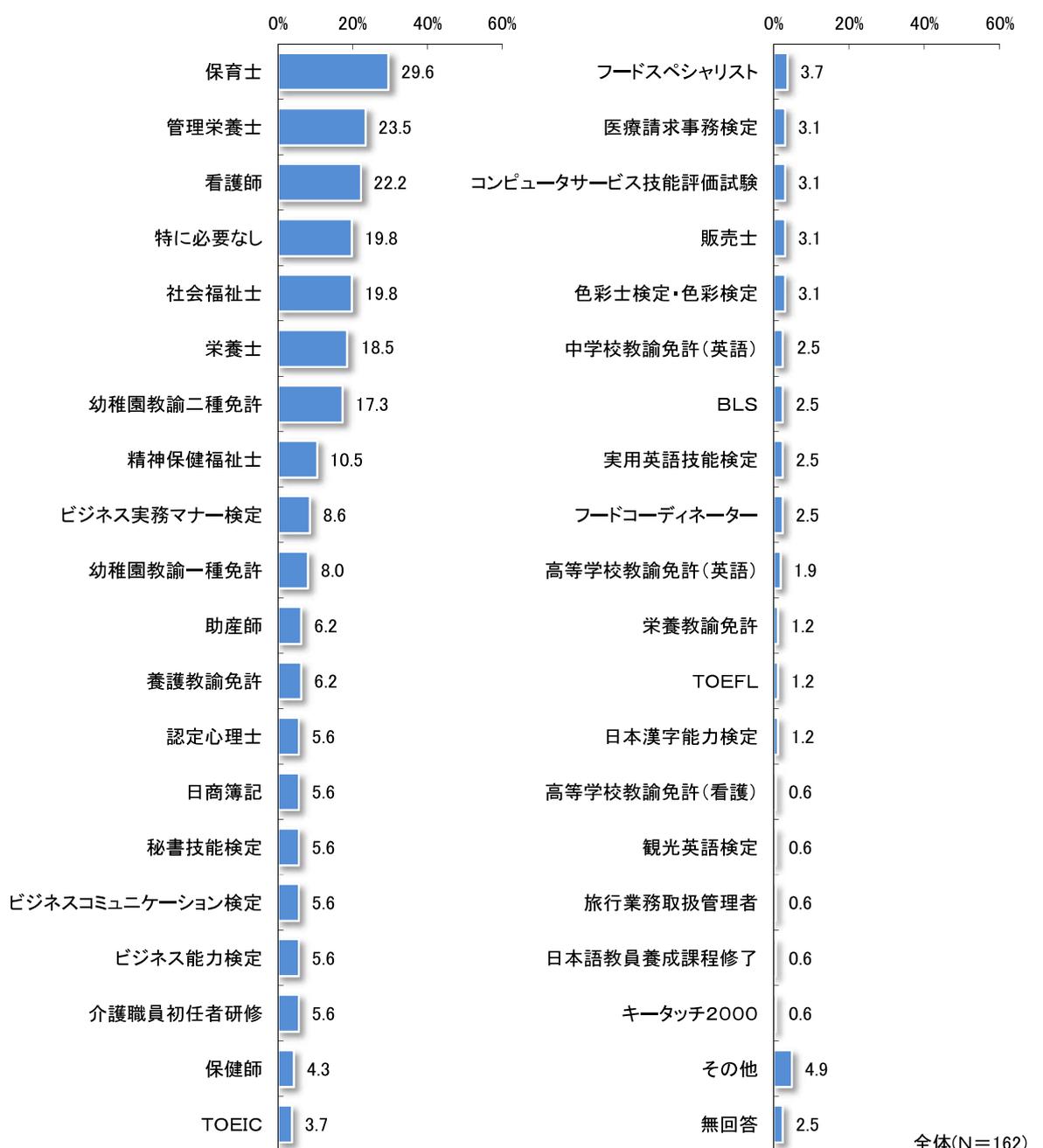
〔4〕 学生に希望する資格や検定

問 貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

学生に希望する資格や検定は、「保育士」(29.6%)が最も多く、次いで、「管理栄養士」(23.5%)、「看護師」(22.2%)となっている。一方で、「特に必要なし」は19.8%である。

また、学科別にみると、看護学科と助産別科で「看護師」、栄養学科で「管理栄養士」、保育科で「保育士」等、卒業学科に応じた専門性が求められている。

【学生に希望する資格や検定】



全体(N=162)

※回答のなかった選択肢は省略

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 学生に希望する資格や検定 (1/3)】 (%)

	全体 (人)	保育士	管理栄養士	看護師	特に必要なし	社会福祉士	栄養士	幼稚園教諭二種免許	精神保健福祉士	ビジネス実務マナー検定	幼稚園教諭一種免許	助産師	養護教諭免許	認定心理士	日商簿記
全体	162	29.6	23.5	22.2	19.8	19.8	18.5	17.3	10.5	8.6	8.0	6.2	6.2	5.6	5.6
看護学科	16	6.3	25.0	87.5	-	31.3	12.5	-	-	-	-	43.8	12.5	-	-
福祉学科	31	22.6	12.9	22.6	9.7	54.8	6.5	9.7	32.3	9.7	6.5	-	22.6	9.7	6.5
栄養学科	31	12.9	71.0	25.8	16.1	12.9	45.2	-	9.7	6.5	-	3.2	-	12.9	6.5
英語学科	14	-	7.1	7.1	35.7	7.1	7.1	-	-	21.4	-	-	-	-	14.3
観光文化学科	28	-	-	-	64.3	-	-	-	-	17.9	-	-	-	-	10.7
助産別科	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
保育科	40	90.0	17.5	12.5	2.5	12.5	27.5	62.5	10.0	2.5	27.5	2.5	2.5	5.0	-

【学科別 学生に希望する資格や検定 (2/3)】 (%)

	全体 (人)	秘書技能検定	ビジネスコミュニケーション検定	ビジネス能力検定	介護職員初任者研修	保健師	TOEIC	フードスペシャリスト	医療請求事務検定	評価試験	コンピュータサービス技能	販売士	色彩士検定・色彩検定	中学校教諭免許(英語)	BLS	実用英語技能検定
全体	162	5.6	5.6	5.6	5.6	4.3	3.7	3.7	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	2.5	2.5	2.5
看護学科	16	6.3	6.3	6.3	6.3	25.0	-	-	6.3	-	-	-	-	-	12.5	-
福祉学科	31	3.2	6.5	6.5	12.9	6.5	3.2	3.2	3.2	6.5	-	3.2	9.7	3.2	3.2	
栄養学科	31	6.5	3.2	3.2	9.7	-	3.2	16.1	6.5	-	3.2	-	-	3.2	3.2	
英語学科	14	21.4	14.3	7.1	-	-	21.4	-	7.1	7.1	7.1	-	7.1	-	14.3	
観光文化学科	28	3.6	10.7	14.3	-	-	3.6	-	-	7.1	10.7	14.3	-	-	-	
助産別科	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
保育科	40	2.5	-	-	2.5	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

【学科別 学生に希望する資格や検定 (3/3)】 (%)

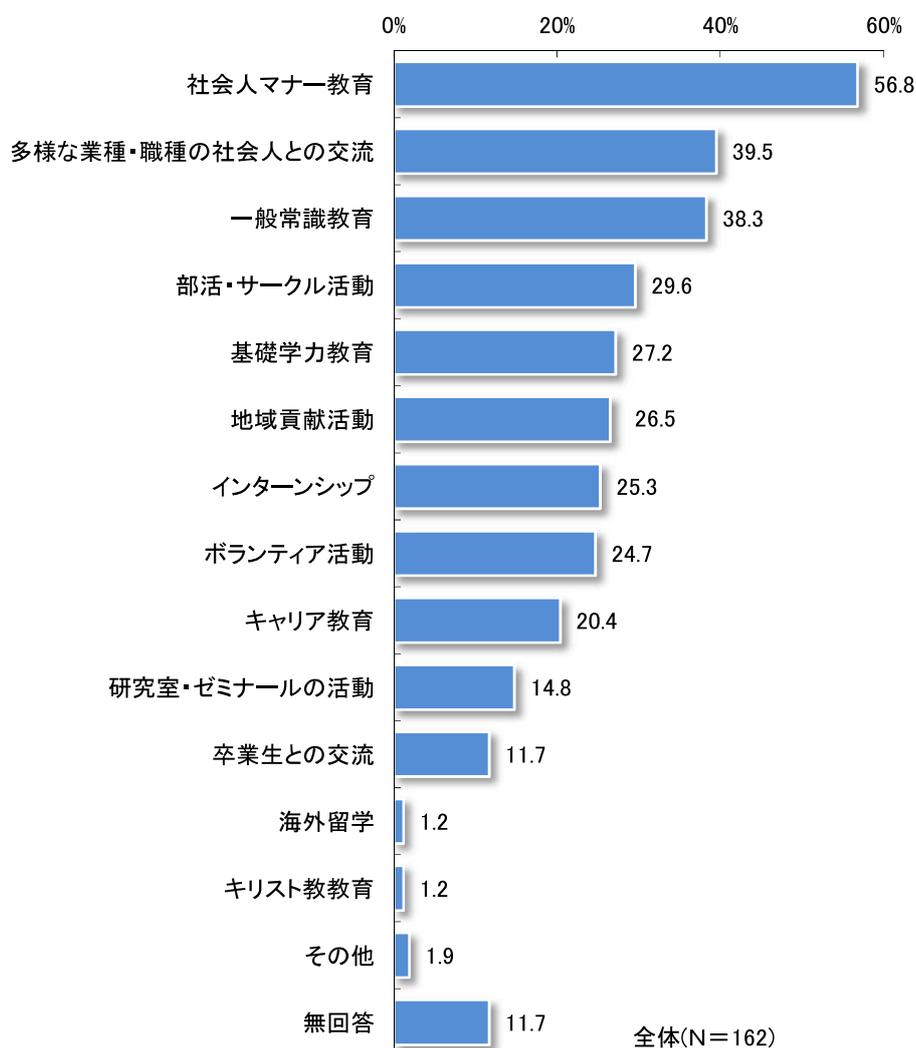
	全体 (人)	フードコーディネーター	高等学校教諭免許(英語)	栄養教諭免許	TOEFL	日本漢字能力検定	高等学校教諭免許(看護)	観光英語検定	旅行業務取扱管理者	日本語教員養成課程修了	キータッチ2000	その他	無回答
全体	162	2.5	1.9	1.2	1.2	1.2	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	4.9	2.5
看護学科	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉学科	31	-	9.7	-	3.2	-	3.2	-	-	3.2	-	-	-
栄養学科	31	12.9	-	6.5	-	-	-	3.2	-	-	-	3.2	6.5
英語学科	14	-	-	-	7.1	-	-	-	-	-	-	28.6	-
観光文化学科	28	-	-	-	-	3.6	-	-	3.6	-	3.6	10.7	-
助産別科	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
保育科	40	-	-	-	-	2.5	-	-	-	-	-	-	2.5

〔5〕大学生の人間形成に必要な支援

問 大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

大学の人間形成に必要な支援は、「社会人マナー教育」(56.8%)が最も多く、次いで、「多様な業種・職種の社会人との交流」(39.5%)、「一般常識教育」(38.3%)となっている。

【大学生の人間形成に必要な支援】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 大学生の人間形成に必要な支援 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	社会人マナー教育	多様な業種・職種との交流	一般常識教育	部活・サークル活動	基礎学力教育	地域貢献活動	インターンシップ	ボランティア活動
全体	162	56.8	39.5	38.3	29.6	27.2	26.5	25.3	24.7
看護学科	16	43.8	25.0	43.8	12.5	31.3	31.3	31.3	18.8
福祉学科	31	64.5	51.6	41.9	25.8	29.0	35.5	25.8	38.7
栄養学科	31	64.5	41.9	35.5	22.6	16.1	22.6	12.9	25.8
英語学科	14	57.1	35.7	42.9	42.9	28.6	28.6	21.4	21.4
観光文化学科	28	39.3	46.4	28.6	39.3	25.0	17.9	46.4	7.1
助産別科	2	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-
保育科	40	62.5	32.5	42.5	35.0	32.5	27.5	17.5	30.0

【学科別 大学生の人間形成に必要な支援 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	キャリア教育	研究室・ゼミナールの活動	卒業生との交流	海外留学	キリスト教教育	その他	無回答
全体	162	20.4	14.8	11.7	1.2	1.2	1.9	11.7
看護学科	16	18.8	12.5	25.0	-	-	-	18.8
福祉学科	31	19.4	19.4	19.4	-	-	3.2	3.2
栄養学科	31	25.8	9.7	6.5	3.2	-	-	16.1
英語学科	14	21.4	14.3	7.1	-	-	-	14.3
観光文化学科	28	32.1	14.3	10.7	3.6	-	3.6	14.3
助産別科	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0
保育科	40	7.5	17.5	7.5	-	5.0	2.5	7.5

〔6〕採用について

問 貴事業所において、過去5年間で採用の実績がある大学名を3校まで差し支えなければ、ご記入ください。

各事業所において、過去5年間で採用に実績がある大学名を3校まで自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

看護学科

大学名	記入数
日本赤十字九州国際看護大学	2
福岡女学院看護大学	2
山口県立大学	2
宇部フロンティア大学	1
大分県立看護大学	1
大分大学	1
活水女子大学	1
九州医療福祉大学	1
久留米大学	1
帝京大学	1
東京慈恵会医科大学	1
長崎大学	1
西九州大学	1
広島大学	1
福岡看護大学	1
福岡県立大学	1
福岡大学	1
名桜大学	1

栄養学科

大学名	記入数
九州栄養福祉大学	5
九州女子大学	5
中村学園大学	4
北九州市立大学	3
九州産業大学	2
九州大学	2
尚綱大学	2
西南女学院大学	2
福岡大学	2
大分大学	1
大阪教育大学	1
九州共立大学	1
九州国際大学	1
熊本県立大学	1
香蘭女子短期大学	1
純心女子大学	1
中京学院大学	1
東海大学	1
長崎国際大学	1
広島大学	1
福岡医療短期大学	1
福岡歯科大学	1
福岡女子大学	1

福祉学科

大学名	記入数
福岡県立大学	5
西南学院大学	3
北九州市立大学	2
九州共立大学	2
九州女子大学	2
下関市立大学	2
中村学園大学	2
東筑紫短期大学	2
山口県立大学	2
大分大学	1
鹿児島女子短期大学	1
川崎医療福祉大学	1
九州栄養福祉大学	1
九州産業大学	1
九州大学	1
埼玉大学	1
純真学園大学	1
城西国際大学	1
西南女学院大学	1
中央大学	1
帝京科学大学	1
東洋大学	1
西九州大学	1
日本社会事業大学	1
梅光学院大学	1
福岡教育大学	1

英語学科

大学名	記入数
九州女子大学	5
北九州市立大学	4
九州産業大学	3
下関市立大学	2
福岡女学院大学	2
福岡大学	2
関西大学	1
関西学院大学	1
九州栄養福祉大学	1
九州共立大学	1
九州工業大学	1
九州国際大学	1
近畿大学	1
佐賀大学	1
西南学院大学	1
福岡工業大学	1

観光文化学科

大学名	記入数
北九州市立大学	9
福岡大学	6
西南学院大学	5
九州女子大学	3
下関市立大学	3
中村学園大学	3
福岡女学院大学	3
九州国際大学	2
九州産業大学	2
梅光学院大学	2
山口大学	2
岩手大学	1
大分大学	1
大阪経済法科大学	1
九州共立大学	1
九州大学	1
熊本学園大学	1
熊本県立大学	1
久留米大学	1
甲南女子大学	1
筑波大学	1
東亜大学	1
東海大学	1
東京都立大学	1
同志社女子大学	1
徳山(周南公立)大学	1
長崎県立大学	1
西日本工業大学	1
山口県立大学	1

保育科

大学名	記入数
東筑紫短期大学	17
九州女子短期大学	8
西南女学院短期大学	4
九州女子大学	3
近畿大学九州短期大学	3
梅光学院大学	3
宇部フロンティア短期大学	2
西南学院大学	2
西南女学院大学	2
東九州短期大学	2
宮崎学園短期大学	2
山口芸術短期大学	2
山口短期大学	2
岩国短期大学	1
大分大学	1
北九州保育専門学校	1
北九州保育福祉専門学校	1
香蘭短期大学	1
下関短期大学	1
中村学園大学	1
中村学園短期大学	1
福岡教育大学	1
別府大学短期大学	1
別府短期大学	1
溝辺学園短期大学	1
山口学芸大学	1

助産別科

大学名	記入数
久留米大学	1
純真学園大学	1
福岡大学	1

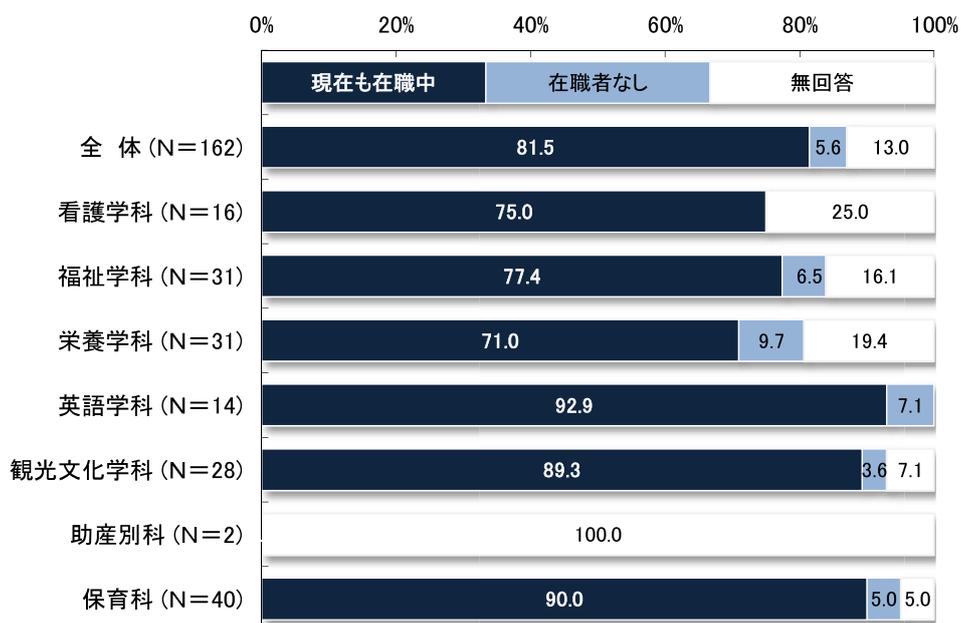
第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

問 本学卒業生の在職人数と最近5年以内に入職した本学卒業生のうち1年以内に退職した人数をご記入ください。

在職状況について、就業先全体では「現在も在職中」(81.5%)が最も多くなっている。

学科別にみると英語学科、保育科では「現在も在職中」(英語学科:92.9%、保育科:90.0%)が90%を超えて多くなっている。

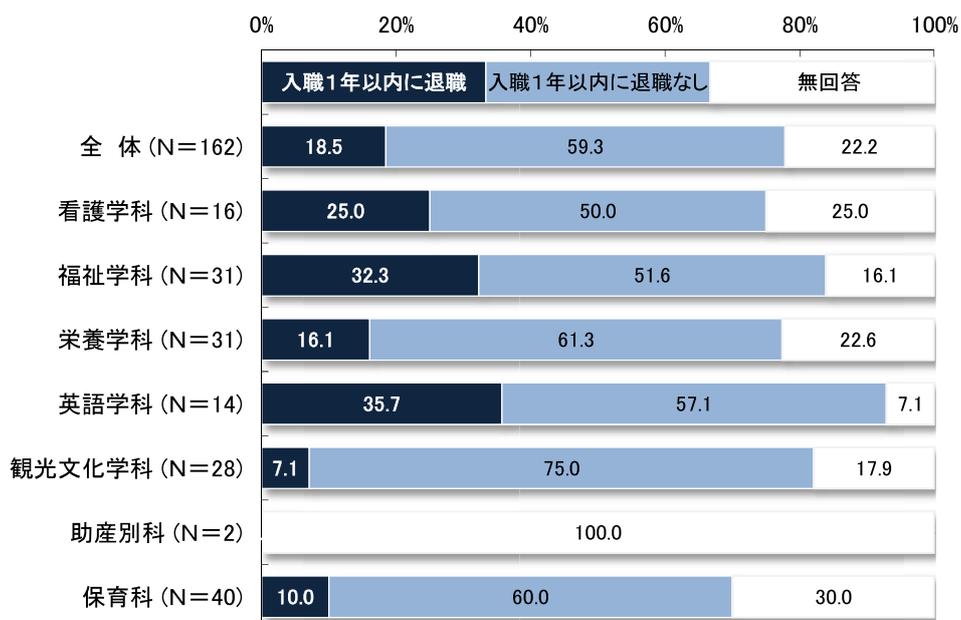
【在職状況】



退職状況について、就業先全体では、「入職1年以内に退職なし」(59.3%)が最も多くなっている。

学科別にみると、無回答の割合が高い学科もあるため、傾向をみる程度にとどめるが、福祉学科や英語学科では「入職1年以内に退職」の割合が他学科に比べ高い傾向にある。

【退職状況】

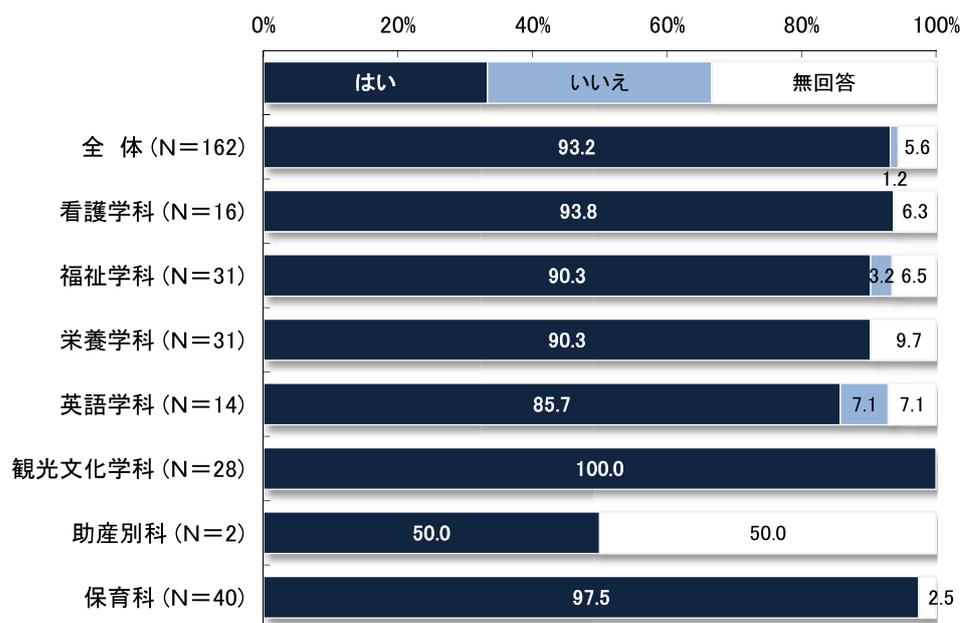


第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

問 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

今後の応募機会について、全体結果及び学科別ともに「はい」の割合が大半を占める結果となっている。

【応募機会】



〔7〕大学に対する意見・要望（自由意見）

問 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【採用・就職支援について】

(回答者数:63人/162人)

学科	内容
看護学科	新卒看護師さんを積極的に採用したいと思っていますので、学生さんへの案内よろしくお願ひします。 毎年、採用試験を行っていますので、学生のみなさまへ周知をお願いします。
福祉学科	職員募集しております。実習、インターシップ積極的に受け入れています。お気軽にご連絡下さい。よろしくお願ひ致します。 採用は県が行うため。本校では、採用後の人材育成を中心としています。ただ、どの大学の学生さんにもあてはまることですが、大学時代の経験値というのが、1年目の職務や業務に+に影響されると思います。 本県の場合、採用試験に合格して県内各地の小中学校等に配属されるので、全て実力主義で採用試験に合格することが大事であると思います。
栄養学科	事務部で採用の為、参考になるかわかりませんが、宜しくお願いします。 山口県ご出身の学生がおられましたら積極的に採用させて頂きたいと思ひます。 来年度も受付・助手の業務として募集いたします。今後とも、よろしくお願ひいたします。
英語学科	北九州を住みやすい、暮らしやすい街にしたい！地域を盛り上げたい！と共感して下さる学生さんの支援をさせてください！今後とも宜しくお願い致します。
観光文化学科	仕事に対して責任感があり後輩スタッフからも信頼される事からコミュニケーション能力が大切だと感じました。 北九州を住みやすい、暮らしやすい街にしたい！地域を盛り上げたい！と共感して下さる学生さん支援をさせてください！今後とも宜しくお願い致します。

【現在就業中の卒業生について】

学科	自由回答
看護学科	2022年4月1名入職(国家試験不合格にて看護補助者として採用)3ヶ月勤務 看護補助者の業務(覚えられない)についていけず7月より病気休職(メンタル)9月に自己退職しました。 4月に看任した看護師1名がおりましたが、6月にて退職されました。現場に確認しましたが在籍期間が非常に短かく、評価しにくいとことで白紙といたしました。ご理解いただきたくお詫び申し上げます。
福祉学科	昨年度に貴大学の卒業生を採用させて頂きました。とても優秀な学生で今後も当会社にて長く働いて頂き、育てていきたいと思ひます。 本校で勤務している卒業生は、とても誠実で熱心です。頼りにしています！！ 実践力を求められ、うまくいかず、離職率が高いので工夫が必要です。 基礎学力の向上と社会人マナー、コミュニケーション能力の向上を学生のうちにしっかり学んでほしいです。 管理栄養士が全く仕事を続けられない。実習等で実際の管理栄養士の業務内容をしっかり理解させた上で就業してほしい。
栄養学科	本年度採用しました貴大学卒業生のNさんの仕事に対する意欲・能力の高さは期待通りで、大変助かっております。今後も、このような素晴らしい人材との御縁をいただけることを願っております。どうぞ宜しくお願い致します。 本校に素晴らしい人材をいただき感謝しております。 貴校におかれましては、大変優秀な学生を御紹介いただきありがとうございます。今後営業職の求人も拡大していくかもしれませんので宜しくお願い致します。
英語学科	現在1年目の社員として働いているIさんと先日話す機会があり、仕事の大変さは感じつつも周りの先輩などにも教わりながら頑張っているようでした。是非今後ともご縁を繋いでいければ幸いです。

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

英語学科	<p>大卒のとても素敵な方を採用できたと喜んでいましたが、わずか2週間ほどで、LINEで退職を申し出て来ました・・残念でした・・。</p> <p>22卒、そして現在も就職活動の支援において、ご一緒させていただきありがとうございます。入社してくれた2名も、各現場で、期待されており、今後の成長をサポートして参ります。</p> <p>医療法人(事務)採用だったが、4か月後に医療法人(介護職)に人事異動した。</p>
観光文化学科	<p>非常に優秀なスタッフとして活躍しているので、また採用をプッシュして頂きたいと考えます。</p> <p>ご入社頂きました「Fさん」、周囲との交流も良好で活躍人材となっております。明るくハキハキした性格が大変評価できます。ありがとうございます。</p> <p>22卒、そして現在も就職活動の支援において、ご一緒させていただきありがとうございます。入社してくれた2名も、各現場で、期待されており、今後の成長をサポートして参ります。</p>
保育科	<p>R3年度に施設実習を受け入れてからのご縁です。R4. 4には2名の卒業生を採用させていただきました。順調に勤務しております。療育者として成長できる様しっかりと育てていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>途中入職で西南女学院大学卒の方も入職しました。(海外行為退職しましたが。)優しい学生が多く、職場内でのコミュニケーションもうまくとれるのでとてもいいです。</p> <p>大切に大事に育てしっかり大学との信頼関係を築いていきたいと思います。すばらしい卒業生ありがとうございます。</p> <p>将来の目標に向かって資格を取得し、それを生かして社会人として自立できる教育がなされていると思えます。貴学校の卒業生はとても頑張っております。</p> <p>今年度入職した貴校卒業生は、本当によく頑張ってくれています。貴校の育成に感謝いたします。</p> <p>令和3年度に雇用した職員は、コミュニケーション能力が低く保育者としての適性を欠くものであった。本人もこの職業には向いていないと判断し、令和4年3月末で退職した。</p> <p>近年採用した学生さんは全員素晴らしい。ここ3年は採用者全員が西南さんです。今後も西南女学院短大さんから採用させて頂きたい。</p> <p>結婚して退職した方もいましたが、どの人もとても良かったです。1年目の卒業生もとても頑張ってくれています。</p> <p>アンケートの返信が遅くなり申し訳ありませんでした。卒業生はしっかり仕事をしてきています。とても期待しております。今後も宜しくお願い致します。</p>

【大学への要望】

学科	自由回答
福祉学科	卒業生を対象とした大学でのセミナー等がありましたら、連絡頂けると幸いです。
	大学では、学生に色々な経験をさせて頂きたいです。
	実習期間が短い為、学びの場が必要だと感じています。
栄養学科	当法人で今後、採用を受け入れていくための資料として当アンケートの集計結果(特に表面)が公表できるのであればいただきたい。
	歯科に興味のある管理栄養士さんを紹介いただけると幸いです。
観光文化学科	いつも大変お世話になっております。採用については2023年1月現在の状況を記入しております。今後も何卒宜しく願い申し上げます。
	技術職にチャレンジしてみたい学生がいましたらご紹介頂ければ幸いです。
	責任感があり、明るく素直な方を希望します。
	今後とも、よろしくお願い致します。
	貴学には、日頃より大変お世話になっております。今後とも引き続きよろしくお願い致します。
	弊社採用活動におきましては、学生のご紹介等ご協力を賜り本当に感謝しております。今後共何卒よろしくお願い申し上げます。
	今後ともよろしくお願いいたします。
保育科	優秀な人材を採用させていただき、ありがとうございました。次年度以降も、弊社採用活動へのご協力をよろしくお願い致します。
	保育科を卒業し、保育士として働いてくれる人材が増えてくれるとうれしいです。
	お世話になります。近年様々な変化や事件が多い保育・教育業界ですが、仕事に対してのやりがいや楽しさ、一緒に成長できる嬉しさなど伝えていただきたいと思います。
	是非実習だけでなく、ボランティアでのぞいてみて下さい。
	社会に出る際、やり遂げることが可能かどうか、面談などして送り出してほしい。就職希望の学生についての情報を共有したい。

【その他】

学科	自由回答
看護学科	返信が大変遅くなり、ご迷惑をおかけしました。
福祉学科	大学の問題だとは思っていませんが、現在の20才前後の青年の精神的脆弱性と忍耐力の欠如は社会で検討すべき事案であると考えます。
保育科	積極性に欠けるように思います。

3. 調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、2021年度（令和3度）に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）、2022年度（令和4年度）に実施した在学生に対する学生生活に関する実態調査（以降、「学生調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケートの総括とする。

▶仕事に必要な能力

<必要性と達成度>

就職受け入れ先から見た、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「必要である」+「やや必要である」）、卒業生の力やスキルを【達成度】（「身につけている」+「ほぼ身につけている」）として分析し、必要性と達成度の差が最も大きい上位3つの項目には枠を付けた。

仕事上では、「13. 英語力」以外はどの項目も必要性が80%を超えている。

必要性に比べ、卒業生の達成度は総じて低い傾向にあるが、とりわけ「17. リーダーシップ」、「6. 創造力」、「4. 課題発見・問題解決力」でその差が大きい。

しかし、これらの力やスキルは、学生生活のうちに習得するというよりも、本来、社会経験を積むことで得られる要素が強いため、今後、卒業生の職場での成長に期待したい。

一方、「9. 倫理観」、「12. インターネットを活用する力」、「13. 英語力」などは、必要性に対する達成度のギャップが小さく、これらについては卒業生の評価が比較的高いと言える。

こうした達成度とのギャップについては、前回調査結果と同様の傾向を示していることから、在学生に対しては、リーダーシップや創造力、課題発見・問題解決力など自主性を育むような指導・取り組みを取り入れる必要があると言える。

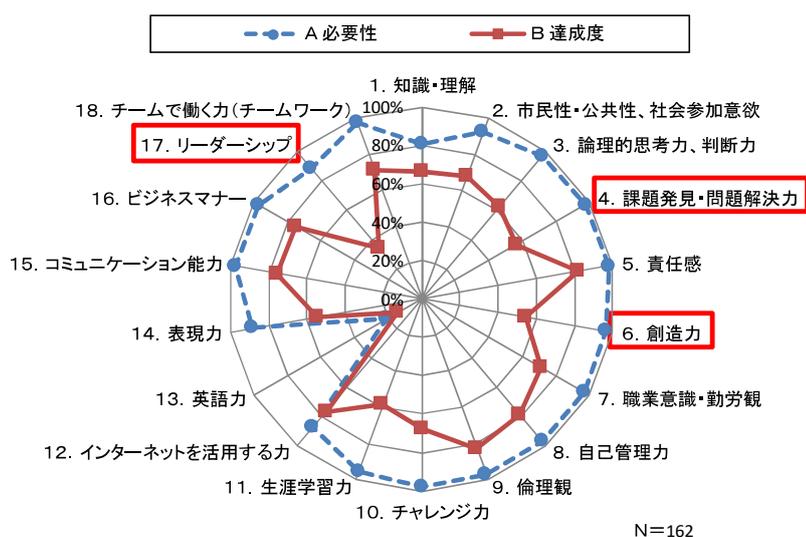
<達成度評価のギャップ（就職先と卒業生との比較）>

就職先が評価する卒業生の達成度と、卒業生本人が考える自身の達成度について比較を行った。

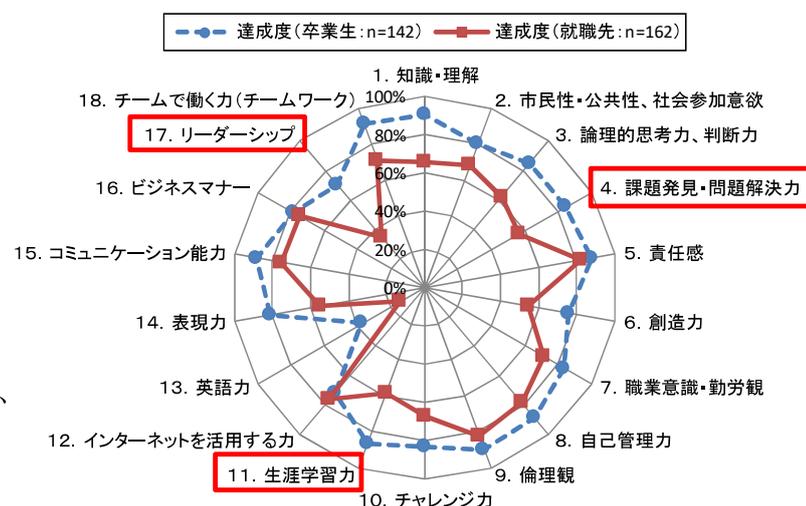
卒業生本人が考える自身の達成度に比べて、総じて就職先が評価する卒業生の達成度の方が低く、特に「17. リーダーシップ」、「4. 課題発見・問題解決力」、「11. 生涯学習力」についてはギャップが大きい。

しかしながら、就職先の評価対象であるのは2022年3月卒業生となり、卒業後1年未満と経験が浅いことを踏まえると、概ね妥当な評価とも考えられる。今後、経験を積んでいく中で、これらの能力を伸ばしてゆけるよう期待したい。

【仕事上での必要性と卒業生の達成度】



【就職先と卒業生の達成度評価の比較】



▶採用について

＜採用時に重要視する能力＞

学生調査における採用のあり方については、事業所が採用の際に重要視する能力として、「15. コミュニケーション能力」や「5. 責任感」、「18. チームで働く力（チームワーク）」が約7割～8割と他の項目より高くなっており、特に人と連携して働いていくスキルを重視している様子がうかがえる。これらは、前回調査結果でも上位に挙げられており、常に採用の判断基準となっていると言える。また、卒業生アンケートでも大学・短期大学部で得たスキルとして上位に挙げられており、就職先が重要視している能力と大学・短期大学部で得られたスキル（達成度）が一致する。

なお、学科別にみても最も重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「15. コミュニケーション能力」と「5. 責任感」、「18. チームで働く力（チームワーク）」の有無が重要とされていることがわかる。

また、就職先から学生に希望する資格や検定について学科別にみると、看護学科で「看護師」、福祉学科で「社会福祉士」、栄養学科で「管理栄養士」、助産別科で「助産師」、保育科で「保育士」、「幼稚園教諭二種免許」等、当然のことながら卒業学科に応じた専門性が求められており、資格の有無が採用に大きく影響すると言える。

▶大学・短期大学部で必要な支援

大学生の人間形成に必要な支援として、「社会人マナー教育」、「多様な業種・職種の社会人との交流」、「一般常識教育」が上位に挙げられた。「社会人マナー教育」、「多様な業種・職種の社会人との交流」は前回調査でも上位に挙げられており、「一般常識教育」も前回調査より8ポイント以上高くなっていることから、大学でも基礎的な社会人マナーや一般常識など社会に出て役立つ教育機会の充実や、社会人との交流、社会参加など、在学中に経験できるような環境づくりが必要とされている。

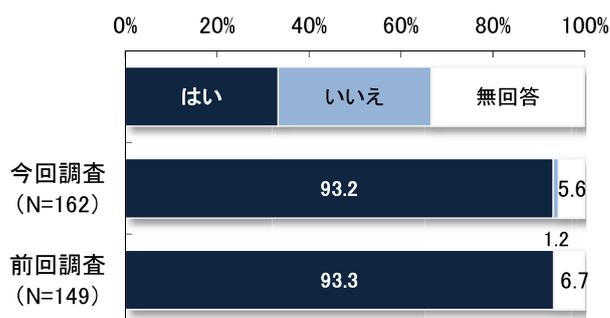
＜今後の採用について＞

今後の採用時に、本学の学生に応募機会を与えるか否かについては、9割を超える事業所が応募機会を与えると回答しており、前回調査から引き続き高い支持を得ている。

調査結果から、卒業生の仕事に必要な力やスキルに不十分な部分はあるものの、就職受け入れ先では今後も引き続き採用意向があることから、本学の学生は採用に値する一定の評価を得ているものと考えられる。

本学の卒業生が今後も事業所の期待に応え、社会に貢献できるよう、在学時からの人材育成に引き続き取り組む必要がある。

【今後の採用意向（前回調査との比較）】



▶大学に対する意見や要望

大学に対する意見や要望について自由記述形式にて回答を得たところ、本学の卒業生に対して好評価の事業所が多く、大学に対する意見としても、インターンシップや就職説明会（就職セミナー）などに参加する機会を設けてほしい等、採用に積極的な意見が多い。

総じて、就職先から見た本学卒業生の評価は高いものと考えられるが、就職受け入れ先では共通して、社会人としての基本的なマナーやコミュニケーション能力のある学生を求めており、大学・短期大学部においては、専門的な知識や経験、スキル等だけではなく、こうした人間形成の基礎を育む教育・指導が今後も求められていると言える。

第3章 調査票

2022(令和4)年12月

卒業生の皆さまへ

西南女学院大学
学長 浅野 嘉延

「西南女学院大学 卒業生アンケート調査」について (お願い)

拝啓 卒業生の皆様におかれましては、日々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、本学では、卒業生の皆様の現在の状況を確認するとともに、卒業生からの本学に対する率直なご意見やご要望をいただくことで、今後のより良い大学運営に役立てていきたいと考えております。

つきましては、年末のお忙しい時期に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、アンケート調査にご協力をくださいますようお願いいたします。 敬 具

1. 調査内容

西南女学院大学 卒業生アンケート調査

2. 対象者

2020年3月大学卒業生

3. アンケート用紙

別紙のとおり

4. 回答期限

2023年1月31日(火)

5. 回答方法：次のいずれかの方法でご回答ください。

- ① QRコード(本紙左下)又は下記URLより、WEBページで回答後、送信
<https://forms.gle/V3yjZo172M87Rad7A>
- ② 同封の返信用封筒によるアンケート票の返送
- ③ FAXによるアンケート票の返信

※このアンケート調査により得られた結果は統計的に集計し、皆様の個人的な情報が公表されることや他の目的に使用することは一切ありません。



【問い合わせ先・回答先】

〒803-0835

北九州市小倉北区井堀1-3-5

西南女学院大学 就職課

TEL (093)583-5777

FAX (093)583-4633

西南女学院大学 卒業生アンケート調査

I. あなたご自身のことについて該当するものに○をつけてください。

1. 卒業した学科を教えてください。
 1. 看護学科 2. 福祉学科 3. 栄養学科 4. 英語学科 5. 観光文化学科 6. 助産学科
2. 現在の状況を教えてください。
 1. 現在、仕事をしている → IIへ進んでください 2. 現在、仕事をしていない → IVへ進んでください

II. 現在仕事をしている方におたずねします。

1. 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →
2. 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →
3. 現在の勤務先について○をつけてください。
 1. 現在の勤務先は卒業時と変わっていない 2. 転職した → IIIに進んでください
4. 雇用形態について教えてください。
 ①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)
 1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()
- ②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)
 1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()
5. 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。
 1. 満足している 2. どちらでもない 3. 満足していない
- ↓
 Vに進んでください
6. II-5で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。
 1. 転職(退職)を考えている 2. 転職(退職)するまではない
- ↓
 Vに進んでください

III. II-3で「転職した」を選択した方におたずねします。

1. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →
2. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →
3. 卒業時の雇用形態について教えてください。
 ①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)
 1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()
- ②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)
 1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()
4. 転職された時期をご記入ください。(複数回転職された場合は最初の転職についてご記入ください。)
 入職後、年ヶ月目
5. 転職した理由に○をつけてください。(複数選択可)
 1. 仕事内容 2. 給与 3. 休日 4. 福利厚生
 5. 人間関係 6. 社風・職場の雰囲気 7. 勤務地 8. 将来性
 9. 家庭の事情 10. その他()
- ↓
 Vに進んでください

IV. 現在、仕事をされていない方におたずねします。

1. 現在の状況に○をつけてください。(複数選択可)
 1. 求職中 2. 学生 3. 家事、子育て 4. その他()
2. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →
3. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →
4. 卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)
 1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()
5. 退職した理由に○をつけてください。(複数選択可)
 1. 仕事内容 2. 給与 3. 休日 4. 福利厚生 5. 人間関係
 6. 社風・職場の雰囲気 7. 勤務地 8. 将来性 9. 家庭の事情
 10. その他()

V. 仕事をする中で感じたこと(苦労したことや成長したことなど)をご記入ください。

(裏面につづく)

【業種・職種区分表】

A 業種	
1	農業
2	林業
3	漁業
4	鉱業、採石業、砂利採取業
5	建設業
6	製造業
7	電気・ガス・熱供給・水道業
8	情報通信業
9	運輸業
10	卸売・小売業
11	金融・保険業
12	不動産業、物品賃貸業
13	飲食業
14	宿泊業
15	一般病院
16	精神科病院
17	クリニック
18	高齢者施設
19	障がい児・者施設
20	児童施設
21	保育園
22	教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)
23	幼稚園
24	学習支援業
25	サービス業
26	公務
27	その他()

B 職種	
1	事務(総務・企画・コールセンター・カウンター業務等)
2	販売
3	営業
4	接客
5	看護師
6	保健師
7	助産師
8	医療ソーシャルワーカー
9	相談員
10	精神保健福祉士
11	支援員・指導員
12	介護職
13	保育士
14	管理栄養士
15	栄養士
16	幼稚園教諭
17	養護教諭
18	英語教諭
19	公務員
20	その他()

第3章 調査票

VI. 西南女学院大学で受けた教育について教えてください。

①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。その他を選択した場合は、()内に具体的内容をご記入ください。

		A 達成度 西南女学院大学で 得た力やスキル				B 必要性 現在の仕事において 必要な力やスキル				C 能力やスキルを身につけるため役立つ事 (複数回答可)										
		身につけている	あまり身につけていない	ほとんど身につけていない	身につけていない	役に立たない	役に立たない	役に立たない	役に立たない	大学の講義	研究室・ゼミ活動	キャリア教育	実習・インターンシップ	留学	先輩や友人との交流	部活サークル	アルバイト	大学専門学校の	ボランティア・地域貢献活動	勤務先での研修
1	知識・理解	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2	市民性・公共性、社会参加意欲	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3	論理的思考力、判断力	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4	課題発見・問題解決力	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5	責任感	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
6	創造力	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
7	職業意識・勤労観	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8	自己管理能力	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9	倫理観	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
10	前に踏み出す力(チャレンジ力)	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	生涯学習力	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
12	コンピュータやインターネットを活用する力	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
13	英語力	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
14	表現力	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
15	コミュニケーション能力	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
16	ビジネスマナー	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
17	リーダーシップ	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
18	チームで働く力(チームワーク)	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
19	その他 (基礎学力・一般常識など)	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

②上記の表の1~19の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思われるものについて、5つまでその番号をご記入ください。➡

VII. 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。また、よろしければその理由をご記入ください。

VIII. どの様な授業があれば更によかったか具体案があればご記入ください。

IX. 大学に対して講義以外でもっと支援をしてもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください(5つまで選択可)。

また、具体的な内容があればご記入ください。

1. 部活、サークル活動	2. 研究室・ゼミの活動	3. キャリア教育	4. 実習、インターンシップ	5. ボランティア活動
6. 地域貢献活動	7. 海外留学	8. 卒業生との交流	9. 多様な業種・職種の人との交流	10. キリスト教教育
11. 一般常識教育	12. 基礎学力教育	13. 社会人マナー教育		

【具体的な内容】

X. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございます。
なお、今後、仕事のことで相談がありましたら、遠慮なくご連絡ください。

下記の項目は差し支えない範囲で記入してください。

氏名	住所	勤務先
	〒	
	携帯番号	

(個人情報保護について)ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

2022(令和4)年12月

採用ご担当者様

西南女学院大学
西南女学院大学短期大学部
学長 浅野 嘉延「就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の
評価に関するアンケート調査」について(お願い)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、本学学生の就職に関しましては、格別のご高配を賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、本学では、卒業生を受け入れていただいた事業者様から、本学の教育に関する評価を
いただくことで、更なる大学教育の質の向上を図り、より社会で活躍できる人材の育成に役立て
て参りたいと考えております。

つきましては、本学卒業生の評価に関するアンケート調査のご回答をお願いいたします。

ご多用中まことに恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。

敬 具

1. 調査内容

就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の
評価に関するアンケート調査

2. アンケート用紙

別紙のとおり

3. 回答期限

2023年1月31日(火)

4. 回答方法

同封の返信用封筒またはFAXにて返信をお願いいたします。

メールに添付していただいても結構です。

就職課アドレス syusyoku@seinan-jo.ac.jp

※件名を 就職先アンケート【企業名】 でご送付ください。

【問い合わせ先・回答先】

〒803-0835

北九州市小倉北区井堀1-3-5

西南女学院大学 就職課

TEL (093) 583-5777

FAX (093) 583-4633

就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査

I. 回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏名	

アンケート対象者：2022年4月就職者 卒業生 ※在職者複数の場合、総合的評価としてご記入ください。

II. 下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。
 その他を選択した場合は、()内に具体的内容を記入してください。

		A 必要性 現在の仕事において 必要な力やスキル				B 達成度 西南女学院大学 卒業生の力やスキル					C 採用の際、 重要視する能力 上位5つに○を つけてください	
		必要である	やや必要である	あまり必要でない	必要でない	身につけている	ほぼ身につけている	あまり身につけていない	身につけていない	わからない		
1	知識・理解 大学で学んだ学問分野や専門領域に関する知識を理解し、実践することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1
2	市民性・公共性、社会参加意欲 豊かな人間性を涵養し、福祉と文化の発展に貢献することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	2
3	論理的思考力、判断力 論理的に思考し、判断することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	3
4	課題発見・問題解決力 現状を把握し、情報を収集・分析して、課題や問題を計画的に解決できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	4
5	責任感 与えられた課題を最後までやり抜く粘り強さがある。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	5
6	創造力 柔軟で豊かな発想力・創造力を発揮できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
7	職業意識・勤労観 自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組むことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	7
8	自己管理能力 心身ともに健康で、自らを律して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	8
9	倫理観 自己の良心と社会のルールに従って行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	9
10	前に踏み出す力（チャレンジ力） 業務に積極的に取り組み、実行することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	10
11	生涯学習力 成長するために継続的に自己研鑽に努めている。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	11
12	コンピュータやインターネットを活用する力 情報通信技術（ICT）を用いて、多様な情報を収集・分析したり、基本的なビジネス系ソフト（エクセル・ワードなど）を使うことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	12
13	英語力 英語で書いたり話したりすることができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	13
14	表現力 記録、資料、報告書等を作成する力。効果的なプレゼン力。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	14
15	コミュニケーション能力 周囲の人と意思疎通ができ、協調性がある。また、適切な自己表現ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	15
16	ビジネスマナー 常識があり、気持ちのよい受け答えやマナーの良い対応ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	16
17	リーダーシップ 周囲を説得し巻き込んでいくリーダーシップがとれる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	17
18	チームで働く力（チームワーク） 自分の意見をわかりやすく伝えたり、相手の意見を丁寧に聞いたり、他者と協調・協働して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	18
19	その他 (基礎学力・一般常識など)	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	19

(裏面につづく)

貴事業所に関するアンケート調査

※本様式は一事業所につき
1枚ご回答ください。

I. 回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名		
担当部署・役職名	氏名	

II. 主たる業種に○をつけてください。(1つ選択)

1. 農業	2. 林業	3. 漁業	4. 鉱業、採石業、砂利採取業
5. 建設業	6. 製造業	7. 電気・ガス・熱供給・水道業	
8. 情報通信業	9. 運輸業	10. 卸売・小売業	11. 金融・保険業
12. 不動産業、物品賃貸業	13. 飲食・宿泊業	14. 医療・福祉業	15. 教育・学習支援業
16. サービス業	17. 公務		

III. 従業員数に○をつけてください。

1. 従業員 5,000 人以上	2. 従業員 1,000～4,999 人	3. 従業員 100～999 人
4. 従業員 50～99 人	5. 従業員 50 人未満	

IV. 貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

1. 特に必要なし			
<本学で取得可能な資格・免許等>			
2. 看護師	3. 保健師	4. 助産師	5. 管理栄養士
6. 栄養士	7. 社会福祉士	8. 精神保健福祉士	9. 認定心理士
10. 保育士	11. 幼稚園教諭一種免許	12. 幼稚園教諭二種免許	13. 高等学校教諭免許(看護)
14. 高等学校教諭免許(英語)	15. 中学校教諭免許(英語)	16. 養護教諭免許	17. 栄養教諭免許
<本学が取得支援している主な資格・検定等>			
18. BLS	19. TOEIC	20. 実用英語技能検定	21. TOEFL
22. 観光英語検定	23. 旅行業務取扱管理者	24. 通訳案内士	25. 旅行地理検定
26. 貿易実務検定	27. 外務員(金融商品)	28. 日本語教員養成課程修了	29. 日本漢字能力検定
30. 日商簿記	31. 秘書技能検定	32. 医療請求事務検定	
33. ビジネスコミュニケーション検定	34. ビジネス能力検定	35. ビジネス実務マナー検定	36. キータッチ 2000
37. 英語ビジネス文書作成技能検定		38. コンピュータサービス技能評価試験	
39. 販売士	40. 色彩士検定・色彩検定	41. フードコーディネーター	42. フードスペシャリスト
43. 介護職員初任者研修	44. ピアヘルパー資格	45. その他()	

V. 大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

1. 部活・サークル活動	2. 研究室・ゼミナールの活動	3. キャリア教育	4. インターンシップ
5. ボランティア活動	6. 地域貢献活動	7. 海外留学	8. 卒業生との交流
9. 多様な業種・職種の社会人との交流	10. キリスト教教育	11. 一般常識教育	
12. 基礎学力教育	13. 社会人マナー教育	14. その他()	

VI. 採用について

1. 貴事業所において、過去5年間で採用の実績がある大学名を3校まで差し支えなければ、ご記入ください。(本学卒業生と同職種の女子)

大学	大学	大学
----	----	----

2. 本学卒業生の在職人数と最近5年以内に入職した本学卒業生のうち1年以内に退職した人数をご記入ください。

現在も在職中	人	入職1年以内に退職	人
--------	---	-----------	---

3. 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

1. はい	2. いいえ(差し支えなければその理由:)
-------	------------------------

VII. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございました。
集計結果については後日、送付させていただきます。

(個人情報保護について)ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

2022年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査
【調査結果報告書】

2023年6月

発行 西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部
就職課
〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1-3-5
TEL: 093-583-5777
